

第十四回 貴族院議事速記録第二十七號

明治三十三年二月十七日(土曜日)

午前十時十七分開議

議事日程 第二十七號 明治三十三年二月十七日

午前十時開議

- 第一 産業組合法案(政府提出案) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 農工銀行法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 宗教法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)
- 第六 徵兵令中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員報告)
- 第七 明治三十年度歲入歳出總決算及明治三十年會 議(決算委員報告)
- 第八 教育所ニ在ル孤兒ノ後見職務ニ關スル法律案 第一讀會
- 第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十 舊斗南藩士族家祿處分法案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十二 酒造稅法中改正ノ請願 會 議
- 第十三 區裁判所出張所設置ノ請願 會 議
- 第十四 鐵道敷設第一期線路上ノ請願 會 議
- 第十五 蘇州居留地道路ノ請願 會 議
- 第十六 國字國語國文ノ改良ニ關スル請願 會 議
- 第十七 復族及復祿ノ請願 會 議
- 第十八 ベスト病ニ感染シタル醫師救助ニ關スル請願 會 議
- 第十九 下總國舊牧場開墾地ノ請願 會 議
- 第二十 定期郵便發航起點ヲ敦賀港ニ延長ノ請願 會 議
- 第二十一 燈明臺設置年度繰上ノ請願 會 議
- 第二十二 電信局設置ノ請願 會 議

○議長(公爵近衛篤磨君) 報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

貴族院議事速記録第二十七號 明治三十三年二月十七日 議長ノ報告

昨十六日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知セリ

明治三十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

在外國帝國專管居留地特別會計法案

商法施行前ニ登記ナキ株式會社ノ登記ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日衆議院ニ同付セリ

明治三十三年度歲入歳出總豫算追加案(第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

同日本院ニ於テ可決シタル名和昆蟲研究所國庫補助ニ關スル建議書ハ即日政府ニ呈出セリ

同日本院ニ於テ可決シタル擊劍ヲ各學校ノ正科ニ置クノ請願外十五件ノ請願ハ意見書ヲ附シテ即日政府ニ送付セリ

同日衆議院ヨリ左ノ諸案ヲ受領セリ

政府提出

明治三十年法律第三十九號中改正法律案

衆議院提出

市制中改正法律案

市制中改正法律案

市制中改正法律案

市制中改正法律案

市制中改正法律案

市制中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル政府提出法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル法律案ヲ可決シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

順德天皇御遺跡保存ニ關スル建議案特別委員會ニ於テ委員長ニ侯爵細川護成君、副委員長ニ子爵谷干城君當選セラレタリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、産業組合法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載録ス以下之ニ同シ〕

産業組合法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月十五日

衆議院議長片岡健吉

衆議院議長片岡健吉

衆議院議長片岡健吉

衆議院議長片岡健吉

衆議院議長片岡健吉

衆議院議長片岡健吉

衆議院議長片岡健吉

## 産業組合法

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

## 第一章 總則

第一條 本法ニ於テ産業組合トハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲メノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ

一 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合)

二 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合)

三 産業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト(購買組合)

四 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ組合員ヲシテ産業ニ必要ナル物ヲ使用セシムルコト(生産組合)

前項第一號ニ掲ケタル事業ハ他ノ各號ニ掲ケタル事業ト相兼マルコトヲ得ス

第二條 産業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス無限責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ、有限責任組合ニ在リテハ組合員ノ全員カ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第三條 産業組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用ウヘシ産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 産業組合ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

産業組合ニシテ登記ヲ受クルトキハ營利ヲ目的トセサル社團法人ト同一ノ登録稅ヲ納ムヘシ但シ組合員名簿ノ記載ニ付テハ登録稅ヲ課セス

## 第二章 設立

第七條 産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第八條 組合ノ設立者ハ定款ヲ作り之ヲ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ

第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ

一 目的

二 名稱

三 組織

四 事務所

五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

六 第一回拂込ノ金額

七 剩與金及損失分配ニ關スル規定

八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法

九 組合員タル資格ニ關スル規定

十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定

十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由信用組合ノ區域ハ市町村ノ區域以內ニ於テ之ヲ定メ定款中ニ記載スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ地方長官ノ認可ヲ得テ此ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス

第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ

第十二條 組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十三條 前條ノ拂込アリタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條 登記スヘキ事項左ノ如シ

一 第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項

二 設立許可ノ年月日

三 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 組合ハ其ノ設立ノ登記ノ申請ト共ニ組合員名簿ヲ其ノ主タル事務所在地ノ裁判所ニ差出スヘシ

組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 各組合員ノ氏名、住所

二 各組合員ノ出資口數

三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

四 出資各口ノ取得ノ年月日

五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第十四條 第二項ノ規定ハ組合員名簿ノ記載ニ之ヲ準用ス

裁判所ニ差出シタル組合員名簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十六條 民法第四十五條第二項、第三項、第四十七條及第四十八條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス但シ同規定中一週間トアルヲ二週間トス

### 第三章 組合員ノ權利義務

第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

組合員ノ有スヘキ出資口數ハ十口ヲ超ユルコトヲ得ス

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得

第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

## 第四章 管理

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議錄ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第三十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ

第三十六條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ決議權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項、及第六十六條ノ規定ハ產業組合ニ之ヲ準用ス

第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十條 組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目録及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其拂込ニ充ツヘシ

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ分配ヲ爲スコトヲ得ス

組合員ノ持分ニ對スル剩餘金分配ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十七條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス

第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

第五章 加入及脱退

第四十九條 無限責任組合ニ加入セムトスル者ハ總組合員ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハス組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但シ六箇月前ニ其ノ豫告ヲ爲ス

ヘシ

前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス

一 組合員タル資格ノ喪失

二 死亡

三 破産

四 禁治産

五 除名

第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退ヲ組合員名簿ニ記載シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第五十八條 無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脱退ヲ組合員名簿ニ記載シタル後二箇年間責任ヲ負擔ス

前項ノ規定ハ特別ノ契約ヲ以テ其ノ期間ヲ延長スルコトヲ妨ケス

前二項ノ規定ハ持分ヲ讓渡シタル組合員ニ之ヲ準用ス

第六章 監督

第五十九條 產業組合ハ主務大臣、地方長官及郡長之ヲ監督ス

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事ヲシテ組合ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ組合ノ事業及財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他必要ナル命令ヲ發シ及處分ヲ行フ

第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ、理事、監事若ハ清算人ノ改選ヲ命シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

#### 第七章 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 組合ノ合併

四 組合員カ七人未滿ニ減シタルトキ

五 組合ノ破産

第六十三條 組合ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合ノ合併ニ付テハ總會ノ同意アルコトヲ要ス

第六十四條 組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十五條 合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第六十六條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十七條 合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第六十八條 組合ハ總會ノ同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及第四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

#### 第八章 清算

第七十條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遅滞ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目録及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十四條 清算人ノ解任アリタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第七十五條 民法第七十三條乃至第八十三條ノ規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス但シ同規定中一週間トアルハ二週間トス

#### 第九章 罰則

第七十六條 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラル

一 本法ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ノ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閲覧ヲ拒ミタルトキ

四 第四十條、第四十一條、第四十三條乃至第四十六條、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ

五 第六十條ノ報告ヲ爲サス又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ

六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ

七 民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ

第七十七條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附則

第七十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十九條 産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第八十條 各登記所ニ産業組合登記簿ヲ備フ

第八十一條 組合設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一定款

二 地方長官ノ許可書又ハ其ノ認證アル謄本

三 第十五條第二號及第五號ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面

第八十二條 事務所ノ新設、移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且地方長官ノ認可ヲ要スルモノニ付テハ其ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

前二項ノ規定ハ組合員名簿ノ記載ノ申請ニ之ヲ準用ス

第八十三條 出資一口ノ金額又ハ組合員ノ責任ノ減少ノ登記ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 地方長官ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本

二 第四十條第二項ニ依ル催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者ノルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面

第八十四條 組合ノ解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且組合カ總會ノ決議ニ因リテ解散シタルトキハ總會ノ決議錄ヲ添附スヘシ

第八十五條 合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請書ニハ第八十三條ニ掲ケタル書面ヲ添附スヘシ

組合カ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ監督官廳ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第八十六條 第八十一條第一項ノ規定ハ出資一口ノ金額又ハ組合員ノ責任ノ減少、組合ノ解散及組合ノ合併ニ因ル變更、設立又ハ解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十七條 本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告

スヘシ但シ組合員名簿ニ記載シタル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
第八十八條 非訟事件手續法第三百三十六條乃至第三百三十八條、第四百一條乃至第五百五十一條、第五百五十四條乃至第五百五十八條、第六百六十三條乃至第六百六十五條及第七百七十五條乃至第七百七十七條ノ規定ハ産業組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

第八十九條 本法ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島ニ於テハ東京府知事、北海道ニ於テハ支廳長、沖繩縣ノ區ニ於テハ區長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司之ヲ行フ

第九十條 北海道ニ於ケル産業組合ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

〔政府委員和田彦次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(和田彦次郎君) 本案ヲ提出シマシタノハ主トシテ中産以下ノ農工業者ガ其生産ニ要シマス所ノ資本ニ對シマシテ低利ノ資金ヲ供給セシメタイト云フ是ガ第一ノ理由デゴザイマス、併セテ勤儉貯蓄ノ美風ヲ涵養致シタイト云フノガ第二ノ理由デゴザイマス、尙ホ且ツ當業者中ニ組合ヲ組織セシメマシテ、其組合員ノ共同一致ノ力ニ依リマシテ中農若クハ大農ノ働ナ漸次ニ得セシメタイト云フノガ第三ノ理由デゴザイマス、斯ノ如キ理由ニ依リマシテ本案ヲ提出致シマシタノデゴザイマシテ、要シマスルニ本案實施ノ後ハ産業發達ノ改良増殖ヲ冀圖致シマシテ、且ツ國家經濟ノ基礎ヲ鞏固ニシタイト云フ主意デ提出致シマシタノデアリマス、十分ノ御審議ヲ願ヒマス

○村田保君 此産業組合法ハ本員ハ唯今受取リマシテ始メテ此議場デ見ルヤウナ譯デアアル、然ル處是ハ一昨年此産業組合法ト云フモノハ本院ニ提出ニナリマシテ、本員杯ハ委員ニナリマシタガ、此事ニ附キマシテ本員杯ハ大分反對ノ意見ヲ持ッテ居リマシタガ、遂ニ議事ニ上ボラズニシマッタノデアリマス、然ルニ此度出マシタノハ唯今申ス通り議場デ披イタト云フヤウナ譯デゴザイマスガ、是ハ先年政府カラ提出ニナリマシタ産業組合法ト此度ノト多少變動ガアル所ガアラウト思ヒマスカラ、其變動ノアル所ヲ概略御述ヲ願ヒタイ

○政府委員(和田彦次郎君) 今村田サンカラ御尋デゴザイマシタガ、前年政府ヨリ提出致シマシタ案ハ御説ノ通り矢張り産業組合法案デアリマシタ、其際ノ案トハ大體ニ於キマシテ變リマセヌ、唯其中ニ於キマシテ前年出シマシタ案ノ中ニハ消費組合、或ハ使用組合トカ云フヤウナモノガ其際ノニハ加ッテ

居リマシタ、ソレハ本案ニ於キマシテハ使用組合ト云フノハ第一條ノ第四號  
ニゴザイマス生産組合ト云フ中ニ包含致スコトニ致シマシタ、ソレカラ消費  
組合ト申シマスル分ハ此購買組合ト云フ方ノ……第一條ノ第三號ニゴザイマ  
スル購買組合ノ中ニ之ヲ包含スルコトニ致シマシタノデゴザイマス、其當時  
ハ產業家ニ於テ消費スベキモノノ組合ヲ設ケルノ消費組合ト申シテアリマ  
シタガ、ソレハ此第三號ニゴザイマス通り「産業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購  
買シテ」ト云フ文字ニ依リマシテ之ニ包含スルコトニ改メマシタ、其他ノ點  
ニ於キマシテハ前年出シマシタノト甚シキ相違ハゴザイマセヌ積リデアリマ  
ス、尙ホ且ツ前年ノト對照致シマシタ所ノ其差等ハ何レ委員ヲ御設ニナルデ  
ゴザイマセウカラ其際ニ詳細ナ御答ヲ申シタイト思ヒマス

○村田保君 宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長  
指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 農工銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、  
第一讀會

農工銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付  
候也

明治三十三年二月十五日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

農工銀行法中左ノ通改正ス

第六條第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ「四」ヲ「五」ニ改ム

四 耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ參加土地所有者總  
員力連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ定期償還ノ方法ニ依リ無  
抵當貸付ヲ爲スコト

第七條ヲ第七條ノ一トシ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七條ノ二 産業組合法ニヨリ設立シタル無限責任ノ信用組合購買組合及  
生産組合ニハ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲ス

コトヲ得  
第二十四條第二項中「府縣」ノ下ニ「郡市」ヲ加ヘ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加  
フ

農工銀行ハ日本勸業銀行ノ貸付ヲ代理シタル場合ニ於テハ日本勸業銀行  
ニ對シ債務者ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第二十六條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

農工債券ヲ發行スル場合ニハ商法第九十九條ノ規定ヲ適用セス

〔政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル〕

○政府委員松尾臣善君 本案ヲ提出致シマシタ所ノ理由ハ農工銀行ノ營業  
科目ヲ擴張致シマスル必要ヲ認メマシテゴザイマス、即チ耕地整理法ニ依リ  
マシタ改其費用ヲ貸與致シマス途ヲ開キ、産業組合法ニ依リマシタ矢張り農  
工業ノ改良發達ニ伴ヒマスル經費ノ貸付ヲサシマスルコトノ途ヲ開キマスル  
爲ニ此案ヲ提出致シマシタ譯デゴザイマス、ドウカ御審議ノ上、御協贊アラ  
ムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御質問ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

〔高橋喜惣治君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 高橋君ハ何デスカ

○高橋喜惣治君 此農工銀行法改正法律案ノ委員ノ御選定ヲ願ヒタイ、ソレ  
デ希望致シマスノハ昨日ノ農工銀行補助法中改正案ト同シモノデ關連シタモ  
ノデアリマスカ同委員ニ付託スルコトヲ希望致シマス

○伯爵大原重朝君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長ニ委託シテ同一委員ニ付託スルト云フノハ少  
シ言葉ガ矛盾スルヤウデゴザイマス、昨日ノ農工銀行補助法中改正法律案ト  
同一委員ニ委託スルト云フコトニシテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 宗教法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長  
報告、チヨット此際御諮リヲ致シマスガ、此議案ノ會議ヲ秘密會議ニ致シタ  
イト云フ要求ガ出テ居リマス、是ハ規則ニ據リマスルト討論ヲ用ヒズシテ可  
否ヲ問フト云フコトニナッテ居リマスカラ採決ヲ致シマス

○男爵本田親雄君 チヨット分リ兼ネマシタカラ、モウ一遍

○議長(公爵近衛篤磨君) 宗教法案ノ會議ヲ祕密會デ開キタイト云フ要求デアリマス

○子爵曾我祐準君 此法案ノ全部ヲ祕密會議デ議スルト云フ要求デゴザイマスカ、又ハ或ル場合ノ所ヲ祕密會ニスルト云フノデゴザイマスカ、始カラ終マデ總テ祕密會ニスルト云フノデゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 書面ニハ宗教法案ノ議事ニ對シ祕密會ヲ開カレムコトヲ要求候ト云フノデスカラ全部ノコトト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 提出者ニ御尋ナシマスガ、對シト云フト全部ヤラ全部デナイヤラ分リマセヌガ、ドウ云フ意味デアリマスカ

○子爵岡部長職君 本員ハ要求者ノ一人デアリマスガ、無論全部ノ意味デゴザイマス

○村田保君 本員ナドハ此宗教法ノ會議ニ祕密會ヲ用キルト云フコトハ一向分リマセヌ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 討論ハナリマセヌ、規則ニ據ッテ討論ハ用キルコトが出来マセヌ、之ヲ祕密會ニスルト云フコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス

(特別委員修正案)

## 宗教法

### 第一章 總則

第一條 本法ニ於テ教派又ハ宗派ト稱スルハ宗教ヲ宣布シ又ハ宗教上ノ儀式ヲ執行スルヲ目的トシ教規、宗制ノ定ムル所ニ依リ教會又ハ寺ヲ包括スル宗教團體ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ教會又ハ寺ト稱スルハ教會所又ハ寺院ヲ備ヘ宗教ヲ宣布シ又ハ宗教上ノ儀式ヲ執行スルヲ目的トスル宗教團體ヲ謂フ

第三條 教派、宗派、教會又ハ寺ハ本法ニ定メタル目的ノ外教規、宗制、教會規則又ハ寺規則ノ定ムル所ニ依リ公益事業ヲ行フコトヲ得

第四條 教派、宗派、教會又ハ寺ニ非サル宗教上ノ結社ヲ組織セムトスル者ハ代表者ヲ定メ其ノ代表者ヨリ社員名簿ヲ添ヘ社名、社則、事務所及維持ノ方法ヲ具シ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ但シ教派又ハ宗派ニ屬スル信徒ノ組織セムトスル結社ニ付テハ其ノ派ノ管長又ハ代表者ヲ經由スヘシ前項認可ノ條件ヲ變更セムトスルトキ亦前項ニ同シ

第五條 慣例ノ許ス所ニ係ルモノヲ除クノ外宗教上ノ事項ニ關シ公衆ヲ會同スルトキハ發起人ハ開會二十四時間以前ニ會同ノ目的、場所及年月日時ヲ行政官廳ニ届出ヘシ

宗教上ノ事項ニ關シ會場ヲ豫定シ定期ニ公衆ヲ會同スル者ハ之ヲ初期ノ開會二十四時間以前ニ届出ルトキハ爾後ノ例會ハ届出ヲ要セス但シ届出事項ニ變更アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

主務官廳ノ認可又ハ許可ヲ得タル宗教團體ニ於テ公衆ヲ會同スル場合ハ前二項ノ規定ニ依ルノ限ニ在ラス

第六條 宗教ニ關スル社團又ハ財團ハ左ニ掲グルモノヲ除クノ外法人タルコトヲ得ス

### 一 教會

### 二 寺

三 教派又ハ宗派ニ屬スル財團

四 教派、宗教、教會又ハ寺ヲ維持スル社團又ハ財團

前項各號ノ社團又ハ財團ニシテ法人タラムトスルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ規則ヲ作り主務官廳ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 前條第二項ノ規則ハ民法第三十七條ノ定款又ハ民法第三十九條ノ寄附行為ト同一ノ效力ヲ有ス

第八條 民法第四十條、第五十六條及第五十七條ニ依リ裁判所ノ爲スヘキ事項ハ利害關係人ノ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ主務官廳之ヲ行フ

民法第四十條ノ場合ニ於テ前項ニ依リ主務官廳ノ爲スヘキ事項ハ教派又ハ宗派ニ屬スヘキ教會又ハ寺ニ付テハ管長又ハ代表者主務官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ行フ

第九條 教派、宗派、教會、寺、第四條ノ結社其ノ他宗教ニ關スル事項ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス

主務官廳ハ宗教ニ關スル事項ニ付其ノ狀況ヲ檢查シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行フコトヲ得

第十條 宗教ノ宣布、宗教上ノ儀式ノ執行其ノ他宗教上ノ事項ニ關シ安寧秩序ヲ妨ケ風俗ヲ壞リ又ハ臣民タルノ義務ニ背クモノアリト認ムルトキ

ハ主務官廳ハ其ノ變更若ハ取消ヲ命シ又ハ之ヲ禁止スルコトヲ得

第十一條 教派、宗派、教會、寺又ハ第四條ノ結社ヲ法律命令ニ背キ認可若ハ許可ノ條件ニ違反シタリト認ムルトキ又ハ公益ヲ害スルト認ムルトキ

ハ主務官廳ハ教規、宗制、教會規則、寺規則若ハ社則ノ變更ヲ命シ又ハ其ノ一部若ハ全部ノ效力ヲ停止シ又ハ其ノ與ヘタル認可若ハ許可ヲ取消スコトヲ得

前項認可ノ取消ハ宗教委員會ノ議ヲ經テ之ヲ行フ

第十二條 教派、宗派、教會又ハ寺ノ禮拜ノ專用ニ供スル土地建物ハ差押フルコトヲ得ス

第十三條 教派、宗派、教會又ハ寺ノ宗教ノ宣布又ハ宗教上ノ儀式執行ノ用ニ供スル建物並其ノ敷地ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ區域ヲ限リ租稅ヲ免除ス

前項ニ依ル地租ノ免除ニ付テハ地租條例第十三條公立學校地ノ規定ヲ準用ス

第一項ニ依リ租稅ヲ免除スル土地建物ニ係ル登記ニハ登録稅ヲ賦課セス

### 第二章 教派及宗派

第十四條 宗教團體ニシテ教派又ハ宗派タラムトスルトキハ教規又ハ宗制ヲ添ヘ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ

本法施行前許可ヲ得タル教派又ハ宗教ハ本法ニ依レル教派又ハ宗派トス

第十五條 教規、宗制ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 宗教、教派又ハ宗派ノ名稱

二 布教ノ方法

三 事務所ノ所在地

四 管長又ハ代表者其ノ他職員ノ資格、選任、職制、解職ニ關スル規定

五 教師ノ資格、任免、等級、稱號及僧侶ニ關スル規定

六 教會長又ハ住職ノ任免ニ關スル規定

七 本分教會、本山、本寺、末寺ノ關係其ノ他教會又ハ寺ニ關スル規定

八 懲戒ニ關スル規定

九 維持ノ方法

十 教區ヲ定メタルモノハ其ノ區域

十一 其ノ他重要ナル事項

第十八條 教規、宗制ノ變更ハ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ

### 第三章 教會及寺

第十九條 教會又ハ寺ヲ設立セムトスルトキハ教規、宗制ニ依リ教會規則又ハ寺規則ヲ作り管長若ハ代表者ヲ經由シテ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ其ノ規則ヲ變更セムトスルトキ亦同シ但シ教派又ハ宗派ニ屬セサル宗教團體ハ直ニ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ

本法施行前許可ヲ得タル教會又ハ寺ハ本法ニ依レル教會又ハ寺トス

第二十條 教會規則又ハ寺規則ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 宗教、所屬ノ教派又ハ宗派ノ名稱

二 教會又ハ寺ノ名稱

三 布教ノ方法

四 教會所又ハ寺院ノ所在地

五 教會長、住職其ノ他ノ職員ノ資格、選定、職務、解職ニ關スル規定

六 教會又ハ寺、社員、檀徒、信徒間ノ關係

七 維持ノ方法

八 其ノ他重要ナル事項

教派又ハ宗派ニ屬スル教會又ハ寺ノ規則ニハ其ノ教派又ハ宗派ノ教規、宗制中前項各號ニ掲グル事項ニ關スル規定アルトキハ其ノ部分ニ限リ之ヲ省略スルコトヲ得

第二十一條 社團タル教會ハ地域ヲ區劃シテ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ其ノ區域ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第二十二條 法人タル寺ニハ參助役ヲ置クヘシ但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ主務官廳ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 住職カ命令ノ定ムル所ニ依リ參助役ノ同意ヲ經ルコトヲ要スル場合ニ於テ其ノ同意ナクシテ爲シタル行為ハ寺ノ行為ト看做サス

第二十四條 教派又ハ宗派ノ認可消滅シタル場合ニ於テハ其ノ教派又ハ宗派ニ屬セシ教會又ハ寺ハ其ノ認可許可ヲ取消サレタルモノト看做ス

### 第四章 教師

第二十五條 本法ニ於テ教師ト稱スルハ教派、宗派、教會又ハ寺ニ屬シ宗教ノ宣布又ハ宗教上ノ儀式ノ執行ニ從事スル者ヲ謂フ

第二十六條 教師タル資格ニ關スル制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 教師ハ日本臣民タル者ニ限ル但シ特ニ認可ヲ得タル者ハ此ノ

限ニ在ラス

第二十八條 剝奪公權者及停止公權者ハ教師タルコトヲ得ス  
第二十九條 教師ハ政社ニ加入シ公然政事ニ關係シ其ノ他政治上ノ運動ヲ爲スコトヲ得ス

第三十條 主務官廳ハ安寧秩序ヲ妨ケ風俗ヲ壞リ又ハ臣民タルノ義務ニ背クト認ムル者ニ對シ教師タルコトヲ停止シ又ハ禁止スルコトヲ得

第三十一條 刑法第三百六十條ノ規定並刑事訴訟法第二百五條第一項第二號及民事訴訟法第二百九十八條第一項第二號ニ掲クル者ノ證言ニ關スル規定ハ之ヲ教師ニ準用ス

第三十二條 教師ニハ民事訴訟法第五百七十條第五號及第六號ノ規定ヲ準用ス

第三十三條 第四章及第六章中教師ニ關スル規定ハ教派又ハ宗派ノ管長又ハ代表者、教會長及任職ニ之ヲ準用ス

#### 第五章 宗教委員會

第三十四條 教派、宗派間ノ爭議及教規又ハ宗制ニ於テ定メタル事項ニ關スル爭議ニシテ勅令ノ定ムルモノハ宗教委員會之ヲ裁決ス

宗教委員會ノ組織權限及裁決ノ手續ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條 宗教委員會ノ裁決ハ行政上ノ執行方法ニ依リ之ヲ執行ス

#### 第六章 罰則

第三十六條 第四條ニ違フトキハ代表者ヲ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 第五條ニ違フトキハ發起人ヲ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條ノ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセサル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第九條ニ依ル主務官廳ノ検査ヲ拒ミ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第三十九條 第十條ノ命令又ハ禁止ニ違背シタル者ハ二年以下ノ輕禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條 第二十七條及第二十八條ニ違背シテ教師ノ職務ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四十一條 第二十九條ニ違背シタル者ハ一月以下ノ輕禁錮又ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條 宗教ノ宣布又ハ儀式ノ執行ニ詐僞又ハ誘惑ノ手段ヲ用キタル者又ハ第三十條ノ停止又ハ禁止ニ違背シテ教師ノ職務ヲ行ヒタル者ハ一

年以下ノ輕禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

#### 附則

第四十三條 第十四條第二項ノ教派又ハ宗派ハ其ノ教規又ハ宗制中本法ニ牴觸スルモノアルトキハ本法施行後一ケ年以内ニ之ヲ更正シ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十九條第二項ノ教會又ハ寺ハ本法施行後一ケ年以内ニ教會規則又ハ寺規則ヲ作り之ヲ届出テ且獨立ノ財産ヲ有スル寺ハ第六條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十四條 明治十四年内務省乙第三十三號達、同年内務省戊第三號達、同十五年内務省戊第一號達、同十七年太政官第十九號布達及従前ノ成規ニシテ本法ニ牴觸スルモノハ本法施行前ニ許可ヲ得タル教派、宗派、寺院及宗教ノ用ニ供スル建物ニ關シテハ其ノ效力ヲ失フ但シ本法施行後一ケ年以内ハ前條第一項ノ認可ヲ受ケサル教派又ハ宗派及同條第二項ノ手續ヲ爲ササル教會又ハ寺ニ對シ仍其ノ效力ヲ有ス

第四十五條 沖繩縣ノ寺ニ關シテハ別ニ勅令ヲ以テ規定ヲ設クル迄従前ノ例ニ依ル

第四十六條 民法施行法第二十八條ノ規定ハ寺院、祠宇及佛堂ニ關シテハ本法ニ依リ其ノ效力ヲ失フ

第四十七條 宗教ニ關スル社團又ハ財團ニシテ本法施行前民法又ハ民法施行法ニ依リ法人タルモノハ本法施行後一ケ年以内ニ第六條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ手續ヲ爲ササル者ハ解散シタルモノト看做ス

第四十八條 本法ハ明治三十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔侯爵黒田長成君演壇ニ登ル〕

○侯爵黒田長成君 宗教法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、我々委員ハ宗教法案外一件ノ審査ヲ付託サレマシテカラ今日議場ニ報告致シマスマデニハ前後十二回程ノ委員會ヲ開キマシテ漸ク報告スルコトニ相成ツタノデゴザイマス、其間委員諸君ハ非常ニ勉勵ニナリマシテ、時ニ依リマシテハ晩クマデ會議ヲ致シタコトモアリマス、一日ノ中ニ數回開イタコトモアリマシタ、此法案ハ昨年十二月中旬ニ委員ニ付託サレマシテ、其節カラ會議ヲ開キマシタノデアリマス、デ先ヅ政府委員ノ本案ニ對スル大體ノ説明ヲ承ッテ、ソレカラ其政府委員ノ述べタ所ニ附イテ種々大體ノ質問ガ委員中カラ起リマ

シタ、其實問が數日ノ長キニ互ッテ委シク此法案ニ附イテノ疑義ヲ質スコトニナリマシタ、ソレカラ第二回ノ委員會ノトキニハ本員ハ故障ガアリマシテ曾我副委員長ニ代理ヲ依頼致シマシタ、其節ノ評議ノ模様ヲ後ニ承リマシタ所ニ依リマス、午前ノ中ハ普通ノ質問會ヲ開イテ、午後ニ至ッテ或ル事項ヲ質問スル爲ニ祕密會議ニ付シタト云フコトデアリマス、ソレカラ大體ノ質問ナート通り終リマシテ逐條ニ就イテ尙ホ疑義ヲ質スコトニナリマシタ、此逐條ノ質問モ餘程時日ヲ要シタノデアリマス、從ッテ委シク辯明モアリ、又質問モアリマシタ、其逐條ノ質問ガ終ッテカラ大體ニ附イテ本案ノ可否ヲ論ズル場合ニナッタノデアリマス、然ル處諸君モ御一讀ニナッテ御承知デアリマセウガ、政府提出ノ原案ハ餘程意味ガ不明瞭ナ廉モ多イ、殆ド條ヲ追ッテ意味澁ト云フ嫌ガアリマス、ソレデ此大體論ノトキニモ餘程此法案ノ了解シ難キコトニ附キテモ議論ガアリマシタ、之ヲ今日作り直シテ相當ノ修正案ヲ出サウト云フニハ餘程又時日モ要スルコトデアリ、議會ノ會期モ段々迫ッテ來ルコトデアラカシテ容易ニ修正ナスルコトハ難イ、ソレデ委員中ニハ此修正ト云フモノハ唯政府案ノ意味ヲ明ニスルニ止ラズ神佛兩教及外國教ニ對スル所ノ取締ニ致シテモソレゾレ各別ニ規定ヲ致サナケレバナラヌト云フ說モアリマシタ、サウ云フ風ニ此法案ノ根本ニ斧ヲ入レテ改竄スルト云フコトニナレバ、僅ニ餘ル所ノ日子デハ到底十分ナ修正ハ出來ナイ、ソレ故ニ此議會ニ是非トモ是ハ通サナケレバ差支ヘルト云フ程ノコトガナケレバ次ノ議會マデ政府ニ於テ能ク審査シテサウシテ提出ニナッテモ晚カラヌコトデアアル、今日マデガ斯ノ如キ法案ガナクテモ差支モナク參ッタ次第デアラカシテ、唯或ル一種ノ宗教ニ對スル取締ダケノコトデアレバ今サウ急速ニ極メル必要モナカラウ、殊ニ或ル宗教ニ對スル取締ト云フモノハ政府原案ノ通りデ十分取締ガ附カト申シテ見レバ甚ダ不完全ナ所モアル、僅々二三箇條グラキシカ外教杯ニ對スル取締ノ附イテ居ラヌコトデアアル、ソレ德斯ウ云フ國家重大ノ法案ヲ作ルノハサウ急速ニ致サヌ方ガ宜シイト云フ說モアッタノデ、併ナガラ又一方ノ論者ハ宗教法ト斯様ニ題シテ見レバ何ノ宗教ノ教義ニデモ立入ッテ宗教ト云フモノノ可否ヲ論ズルヤウニ見エケレド、全體此法案ト云フモノハサウ云フ性質ノモノデハナク宗教ノ團體ヲ法人ニスルトカシナイトカ云フ法人組織ニ附イテ重ニ規定シテアルモノデアラカシテ、教義等ニ立入ルヤウナ宗教ノ根本ヲ動カスヤウナ法律デハナイ、ソレデ諸君ハ非常ニ此法案ヲムツカシイモノノヤウニ思ハレテ居ルケレドモ能ク之ヲ調査シタナラバソ

レ程ノ困難モナク相當ノ修正ガ出來得ルコトデアラウ、又或ル宗教等ニ對スル取締ガ餘程困難デアルト言ハル、ケレドモ、ソレハ論者ノ言フ如ク實際困難ノコトハナイ、ソレデ此大體ノ評議ハマダ其可否ヲ決シマセヌ内ニ一種ノ説ガ出マシテ、兎モ角モ此原案デハ餘程分リ惡イヤウナ箇條ガ多イカラシテ、特別委員十五名ノ中カラ五名ノ委員ヲ選ンデ、サウシテ修正起草ノコトヲ委託シタナラバ其上デ尙ホ議論モアラウ、可決スルモ否決スルモ兎モ角モ修正ノ出來タ上ノコトデアリシカラウト云フコトニナッタノデアリマス、ソレカラ無記名投票ヲ以テ五名ノ起草委員ヲ互選致シマシタ、ソレニハ松岡康毅君ニ曾我子爵、吉川男爵、都筑君、並ニ穗積君、此五名ノ諸君ガ起草委員ニ當選ニナリマシタ、サウシテ其五名中デ松岡君ガ委員長ニ互選セラレマシタ、ソレカラ此五名ノ諸君デ爾來一週間バカリノ間、夜ナリ日ニ繼イデ日曜モ休マズニ餘程ノ勉勵デ遂ニ修正案ガ出來ルコトニナッタノデアリマス、併ナガラ修正案ガ出來マシタケレドモ時ニ依ッテハ五名ノ中デ二三人闕席ニナッテ居ッタコトガアッテ、ドウモ五名ノ委員ノ修正案トシテ委員會ヘ報告スルコトハ出來難イコトニナッテ、サウ云フ行違ノ爲ニ一旦提出ニナリマシタケレドモソレヲ又撤回ニナッテ、サウシテ其五名ノ委員ニ於テ更ニ評議ガアリマシタ所ガ間モナク報告ガアリマシテ、五名デ評議シタケレドモ何分急速ニ議了スル見込ガ立タヌ、ソレデ修正起草ト云フコトハ出來ナイト云フ結局ノ報告ヲ得タノデアリマス、ソレカラ委員會ニ於キマシテハ其先キノ方針ハ如何致シタラバ宜シカラウカト云フコトヲ段々熟議ヲ致シタ、或ハ更ニ委員ヲ選ンデ起草セシムルトカ、或ハ今マデノ五名ノ委員ト云フモノノ職ヲ是デ解イテ特別委員會ニ於テ審議ヲ進行セシムルトカ種々評議ノ末、今マデノ五名ノ委員ノ職任ヲ解クコトニ致シテ、最早起草委員ト云フモノハ解ケテシマッテ本委員會ニ於テ審査ヲ經ルコトニ致シマシタ、ソレデ前ニ修正案ノヤウナモノガ出來タト申シマシタノハ、ソレハ重ニ松岡君、吉川男爵、ソレカラ穗積君、此三君ノ起草ニ係ル所ノ案デアアルノデ、都筑君ノ意見モ少シク其中ニ加ッテ居ル所モアッタカト思ヒマスケレドモ、重ニ松岡君外二君ノ案ガ元ニナリマシタ、ソレデ其案ヲ委員ノ案トセズシテ松岡君外二君ノ個人ノ修正案トシテ本委員會ニ提出ニナリマシタ、ソレカラ松岡君ガ其修正案ニ附イテ大體ノ説明サレテ、ソレニ對スル質問モアリ續イテ逐條ノ説明質問等モアリマシタ、ソレカラ都筑君カラモ一個ノ案ヲ提出ニナリマシタ、尤モソレハ修正案ト云フ程ノモノデハナイノデ、同君自カラモ言ハレマシタガ全ク委員ノ參考ニ提

出スル、未ダ修正案トシテ出スダケノ考デハナイ、若シ評議ノ都合ニ依ッテ先ニ寄ッテ修正案トシテ出スコトモアルカモ知レヌケレドモ先ヅ參考案トシテ唯諸君ノ前ニ提出スルト、ソレデ此松岡君ノ案ヲ元ニシテ審査スルカ或ハ此都筑君ノ案ニ附イテモ多少吟味スルカト云フコトニ附イテモ評議ガアツタノデ、丁度此際ハ私ハ差支ガアリマシテ曾我子爵ガ代理ヲセラレテ居リマシテ、ソレデ結局松岡君ノ案ヲ元ニシテサウシテ審査スルト云フコトニナツタ様子デアリマス、ソレデ此松岡君ノ案、即チ今日諸君ニ御報告致シマシタ所ノ修正案ト云フノハ重ニ松岡君外二君ノ起草ニ基イテ居ル案デアアルノデアリマス、ソレデ其案ノ第一條二條ト云フモノヲ可決致シテ三條ノ所カラ私ガ又委員會ニ出席スルヤウニナツタ、ソレデ即チ諸君ノ御手許ニ御同シ申シテアリマス所ノ此第一條ハ即チ原案ノ第五條ニ對スルモノ、ソレカラ第二條是ハ今マデ原案ノ主意デ見マス云フト、教會ニ致セ、ソレカラ寺ニ致セ、此法律ニ依ッテ支配スル所ノモノト法律ノ範圍外ニ屬スル所ノモノト兩様ニナツテ居ッタノデ、ソレナ此度ノ修正案ニ於テハ悉ク寺デモ皆宗教法ノ支配ヲ受ケルヤウニナツタ、原案デアリマスルト「寺院ハ佛教ノ本尊ヲ安置シ教法ヲ宣布シ法儀ヲ修行シ僧侶ノ止住スル建物トス」ト云フ第二條ノ二項デ、ソレカラ第三條ノ本條ノ中ニモ寺ト云フモノハ教法ヲ宣布シソレカラ寺院ヲ所有シ法儀ヲ修行スルト云フヤウナコトガ書イテアルノデ、是ダケノ條件ヲ具備シナケレバ寺ト云フ資格ガ此法律ニ依ッテ得ラレナイ、ソレデ若シ此中ノ一ツトカ或ハニツダケヲ備ヘテ居ルモノハ此法律デハドウ認メルカト云フ質問ニ對シテハ是ハ全ク此法律ノ支配スル限リデハナイ、サウシテ見ルト法律以外ノ寺ト法律ノ範圍内ノ寺、例ヘバ法内寺トカ法外寺トカ云フ妙ナ區別ガ立ツノデ、ソレデサウ云フコトノナイヤウニ今度ハ教派、宗派、教會、寺ト云フモノヲ今度ノ修正案ノヤウニ明瞭ニ修正ニナツタ譯デ、尙ホ此際諸君ニ申上ゲテ置キマスガ、此修正案ト云フモノハ先刻申シタヤウニ松岡君外二君ノ重ニ起草セラレタモノガ土臺ニナツテ居リマスカラ、詳シイ説明ハ松岡君カラ諸君ノ問ニ對シテ御答ガアラウト思ヒマスカラ、極ク大要ダケヲ報告致スコト致シマス、此第三條ニ「公益事業ヲ行フ」ト云フコトガアリマスガ、此事ニ附イテモ多少議論ガアツタノデ、一體寺ナリ教會ト云フモノノ本分ハ宗教ノ宣布等ヲ主トシテ居ルコトデ、其傍ラ公益事業モ行フト云フコトニ此總則ノ中ニ斯様ニ明記シテアルト何カ外ノ公益事業マデモ獎勵シテヤラセルヤウニ見エ、ソレデ學校ヲ立テルトカ病院ヲ立テルトカ云フヤウナコトガ獎勵セラレ

ルヤウニ見エルカラシテ、或ハ之ヲ終ノ附則アタリニ於テ公益事業ヲ行フトモ出來ルト云フ位ニ輕ク規定シタ方が宜カラウト云フ說モアリマシタ、ケレドモ結局是ハ多數デ此總則ニ設ケテ置クコトニナツタノデ、ソレカラ第四條ニ「宗教上ノ結社ヲ組織セムトスル者ハ」云々ト云フコトガアリマス、是ガ原案ニハ今マデナカッタノデアリマス、重ニ是ハ外教ニ附イテ斯ノ如キ規定ヲ設ケタノデ、濫ニ結社等ヲ設ケテ政府原案ノ主意ヲ外レルコトノナイヤウニ殊更ニ此結社ニ對スル規定ヲ玆ニ設ケタノデアリマス、ソレカラ第十條ニ「臣民タルノ義務ニ背クモノアリト認ムルトキハ」ト云フコトガゴザイマス、是ハ原案デハ「背ク行爲」ト云フコトニナツテ居ッタ、若シ是ガ「行爲」ト云フコトデアルト安寧秩序ヲ妨ケ風俗ヲ壞リ又ハ臣民タルノ義務ニ背クト云フコトガ、サウ云フ行爲ガ現レテ來ナケレバ此法律ニ依ッテ取締ルコトハ出來ナイト云フヤウニドウシテモナル、ソレナ其行爲ニ發スル前モ又後モ等シク取締ノ出來ルヤウニシタイト云フ說モ段々出マシタ、例ヘバ不穩ナ宗旨デアッテ、ソレガ我國ニ於テ宗教ノ宣布等ヲシヤウトスルモノヲ其事前ニ取締ルト云フコトガ原案デハ出來ナイト云フコトカラ、此行爲ト云フ字ナドウ云フ風ニ修正シタラ宜カラウト云フコトニ附イテハ餘程說モアリマシタガ、先「モノ」ト云フ位ニ致シテハドウカ、行爲ト云フヨリハ稍「事前事後ニ掛ルヤウニ見エルト云フ位ノコトカラシテ」モノ」ト修正ニナツタト覺エテ居リマス、ソレカラ此十三條デアリマスガ、此條ガ最モ委員中ニ於テ議論ノ多カッタ條デアアルノデ、是ハ即チ教派、教會、宗派、寺等ノ建物並ニ敷地ニ關スル所ノ免稅ノ規定デアリマスガ、初メ此原案ニ附イテ松岡君等ノ修正ニナリマシタノハ「左ニ記載スル所ノモノニハ租稅ヲ賦課セス」ト云フノ左ニ記載スル所ノモノニ對シテハ租稅ヲ免除スルコトヲ得ルト云フコトニシテ先キニズツト規定ヲ設ケタノデ、サウシテ此原案ノ十三條ニアル所ノ種々ナル制限又租稅ヲ賦課セザル所ノモノノ種類及區域ト云フモノハ命令デ以テ極メルト云フ此規定ヲ削除シテ、サウシテ十三條ノ中ニソレヲ含蓄スルコトニナツタ、租稅ヲ免除スルコトヲ得ト云フコトニシテ行政命令ノ運用ニ任セルト云フ說デアツタノデ、併ナガラ却ッテサウナルト云フト免租地ガ大變ニ大キクナルヤウナ嫌ヒガアル、ドノ位マデ免租ニナルカ分ラナイト云フ嫌ヒガアルト云フノデ、勅令ノ定ムル所ニ依ッテ一定ノ區域ヲ限ッテ租稅ヲ免除スルト云フコトニ又修正ニナツタノデ、併ナガラ此免租ノコトニ附イテハ餘程議論ガアリマシタ、委員中ニ於テ此條ハ全部削除スル方が宜シイト云フ說モ隨分アリマ

シタ、一體此租稅ノ性質トシテ成ルベク此必要ナラザルモノニハ濫ニ免租ス  
ルト云フコトハ宜クナイ、斯ノ如キモノヲ大ニ免租スルト云フコトニナレバ  
又他ノ稅源ヲ求メテサウシテ人民ノ負擔ヲ重クスルヤウニナル、成ルベク人  
民ノ負擔ト云フモノハ輕クサレルダケハシナケレバナラヌ、ソレニ斯様ナ寺、  
教會等ノ敷地建物等ニ附イテ一種ノ特典ヲ與ヘルト云フコトハ租稅ノ原則ニ  
モ背ク譯デアアル、殊ニ將來免租ニナル所ノ金額等モ測リ知ラヌ、程多額ニ  
ナルデアラウ、段々是カラ又教會ヤ寺ヲ新ニ起ルノモ此免租ノ特典ニ與ラ  
ムガ爲ニ隨分出來ナイトモ云ヘナイ、ソレデ此條文ノ中ニ「公立學校地ノ規  
定ヲ準用ス」ト云フコトガアルケレドモ、宗教ノコトト此教育上ノコトハ自  
ラ目的ヲ異ニシテ居ル、宗教上ノコトハ此十條ニモアリマス通り「安寧秩序  
ヲ妨ケ風俗ヲ壞リ又ハ臣民タルノ義務ニ背クモノアリト認ムルトキハ」トア  
リマシテ、隨分安寧秩序ニ關係ヲ及ボスコトモアル、併ナガラ教育上ノコト  
ハ決シテ安寧秩序ヲ壞ルト云フヤウナ慮ハナイ、ソレデ教育上ノコトト此宗  
教上ノコトヲ同一視スル譯ニハイカヌ、併ナガラ從來官有地ノ分デアッタ所  
ノモノハソレハ殆ド既得權ノ如キモノデアラカシテサウ云フ地所ニ限ッテ  
ハ將來モ免除スルト云フコトが宜シカラウ、今マデ宗教上段々歴史モアッテ  
發達シテ來タモノデアラカラ、サウ云フ歴史上ノコトニ對シテハ免除スルコ  
トガ相當デアラウ、併シソレハ例外トシテ大體ノ原則ハ免除ナシナイト云フ  
コトニ定メナケレバナルマイト云フノガ、之ヲ削除スル說ノ重モノ點デアッタ  
ノデ、併ナカラソレニ反對ノ說ハ此度宗教法ト云フモノヲ以テ段々宗教上ノ  
コトニ干涉又束縛等モ加ヘルコトニナッタニ附イテハ、ソレニ對シテハ相當  
ノ特典ヲ代リニ與ヘナケレバナラヌ、詰リ干涉ナスルト同時ニ保護モ適當ニ  
與ヘナケレバナラヌ、ソレ故ニ限リナク免稅スルト云フコトハ甚ダ宜シクア  
ルマイ、ケレドモ相當ノ制限ヲ以テ免稅スルト云フコトハ適當ノコトニ思フ  
ト云フ所カラ此勅令ノ定ムル所ニ依ッテ一定ノ區域ヲ限ッテ租稅ヲ免除スルト  
云フコトニナッタノデ、ソレカラ此第二章ノ「宗派及教派」ト云フ所デアリマ  
スガ、第十五條ニ「教規宗制ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ」ト云フヤウナコト  
ガアリマス、是モ原案ニハナイノデゴザイマシテ、教規宗制ニハドウ云フコ  
トヲ記載スルノデアアルカ其事ハ法律ニ明ニシテナイト大ニ宗教社會ニ於テモ  
藏フ所デアアルカラシテ、十五條ニ於テ斯ノ如ク列記シテ置ク方宜シカラウ、  
ソレデ此五號ニモ教師ノ資格任免等級稱號等ノコトモアリマス、ソレカラ僧  
侶ニ關スル規定モ故ラニ此所ニ掲ゲデアリマス、ソレカラ本教會分教會ノコ

トモ規定スルヤウニト云フコトが明記シテアリマス、ソレカラ本山末寺ノ關  
係ニ附イテモ種々議論ガアリマシタガ、是ハ原案ノ意思モ政府委員ノ云フ所  
ニ據レバ決シテ本山末寺ノ關係ヲ絶ツヤウナ破ルヤウナ考デハナイト云フコ  
トデアリマスカラシテ、ソレナラバ此教規宗制ニ斯ウ云フコトヲ規定スルヤ  
ウニト云フノチ此法律ニ明ニシテ置ク方宜シカラウト云フノデ本山末寺ノ  
關係ト云フモノモ之ニ規定セラルルヤウニナリ、ソレカラシテ終ヒニ其他重  
要ナル事項ト云フ中ニハ寺ナリ教會ナリガ、自ラ重要ト認メルヤウナ事項ヲ  
記載シテ、サウシテ主務官廳ニ申出ヅルト云フ餘地ナシニ與ヘラレテ居ル、  
ソレカラ二十條モ矢張り教規宗制ト對スルヤウナ工合ニ教會、寺ハ教會規則  
ナリ寺規則ト云フモノヲ設ケル、ソレニ附イテハ「左ノ事項ヲ記載スヘシ」  
ト云フコトガアリマス、第一號ノ「宗教」ト云フノモ是ハ如何ナル宗旨デア  
ルカト云フ宗教ノ名稱ヲ掲ゲルト云フ主意デアリマスカラ宗教ノ名稱ト是  
ハ下ニ續ク意味デアリマス、ソレカラ第四章ノ「教師」ト云フコトノ定議  
ニ附イテハ種々政府ニ確メマシタガ今マデノ案デハ教師ト云フノハ餘程廣  
イ意味デ何モカモ教師ノ中ニ含蓄シテ居ル、此法案デ支配スル所ハ寺院ニ屬  
スル者モ又法律以外ノモノモ皆此教師ト云フコトハ原案デハ總テ網羅スルコ  
トニナッテ居ッタ、ソレチ今度ハ意味ヲ狹ク致シテ教師ノ定義ヲ茲ニ教師ノ章  
ニ於テ列舉スルコトニナッタ、ソレカラ又日本臣民ニ限ルト云フ條項モ今度新  
タニ設ケタ、併ナガラ特ニ認可ヲ得タ者ハ此限リデハナイト云フコトデ、外國  
人ニ對スル規程モ是デ明ニナッテ居リマス、ソレカラ教師ガ此政治ニ關係スル  
コトハ、第二十九條ニ依ッテ原案デハ政治上ノ意見ヲ發表シ、其他政治上ノ運  
動ヲシテハナラヌト云フコトニナッテ居リマス、尙ホドウモ其政治上ノ意見ヲ  
發表スルト云フダケデハ餘程漠然トシタコトデ、ドノ位マデノ程度ヲ指スノ  
デアリマスカ分リ兼ねマスガ、第一政社ニ加入スルコトガ宜シクナイ、ソレ  
カラ「公然」ト云フ字ヲ入レテ「公然政事ニ關係シ」ト云フコトニナレバ餘程其  
範圍モ前ヨリハ明ニナラウト云フコトデ斯ウ云フコトニ修正ニナリマシタ、  
ソレカラ三十三條ニ「教師ニ關スル規定ハ教派又ハ宗派ノ管長又ハ代表者、  
教會長及住職ニ之ヲ準用ス」ト云フコトニナッテ居リマセヌト、此管長、代表  
者、教會長、住職ト此教師トノ區別等ガ不明瞭デアリマスカラ、傍ラ教師ノ  
意義ヲ明ニスルトテ斯ウ云フ條ガ設ケラレタ、ソレカラ終ニ此宗教委員會ノ  
コトニ附イテ一言致シテ置キマス、即チ此第五章ノ所デアリマスガ、原案デ  
ハ斯ウ云フ項ガアリマシタノデアリマス、此初ノ條ハ變リハアリマセヌガ、

第二項ニ「前項ニ依リ宗教委員會ニ於テ裁決スヘキ爭議ハ民事裁判所ニ於テ受理スルノ限ニ在ラス」ト、ソレカラ「宗教委員會ノ審理裁決スヘキ事項カ訴訟ノ全部又ハ一部ノ裁決ノ原由タルヘキ場合ニ於テハ裁判所ハ宗教委員會ノ裁決アル迄訴訟ノ辯論ヲ中止スヘシ」ト云フコトガアツテ、其先キニ「宗教委員會ノ組織權限及裁決ノ手續ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニ原案ハナツテ居ッタデアリマス、デ此眞ン中ノ項ヲ二ツダケ削除スルコトニナツタデアリマス、第一、此宗教委員會ト云フモノハ如何ナルモノカト云フコトヲ實シマシタ所ガ、是ハ決シテ主務官廳ノ、例ヘバ内務大臣ナラ大臣ノ諮問會ノ如キ性質ノモノデハナイ、單獨ノ裁決ナスル場所デアアル、ソレデ此二項三項ノ民事裁判所ニモ關係ハナイ、又行政裁判所ニモ持ッテ行クモノデナイト云フコトデアアルカラ、獨立ノモノデアルト云フコトヲ明ニスル爲ニ、政府案ニ於テハ二項三項ヲ設ケタノデアルト、ソレデ若シ事柄ニ依ッテ或ハ民事ニ行クカ、或ハ行政裁判所ヘ行クヤウナコトモアルカモ知レヌケレドモ併ナガラ此宗教委員會デ此所ニ定メテアルヤウナコトハ、宗教委員會ノ方デ必ズ裁決サスルコトニスル、デ此二ツノ項ガナイト云フト、ドウカシテ衝突ノ虞ガアル爲ニ、宗教委員會ト民事裁判所ト或ハ行政裁判所ト衝突ノ虞ガアルカラ、此所ニ明ニシテ置クノデアアル、ソレデ斯ノ如キ委員會ト云フヤウナ名稱デ、斯ウ云フ裁決ナスルコトガ他ニ例ガアラウカト云フコトニ對シテハ、高等文官ノ懲戒委員會ト云フモノモ既ニ今アル、サウ云フ例ハ決シテナイコトハナイ、ソレデ詰リ行政裁判所ナリ民事裁判所ノ權能ヲ割イテ、サウシテ更ニ斯ウ云フモノヲ設ケルノデハナイ全ク別物デアアル、全ク行政上ノ監督ニ屬シテ、サウシテ唯裁決ナスル所デアアル、ソレカラ此委員會ノ裁決ニ對シテハ、内務大臣ハソレヲ翻スコトガ出來ルカドウカト云フ問ニ對シテハ是ハモウ最上ノ判決デアアルカラシテ内務大臣ト雖モ之ヲ動かカスコトハ出來ナイ、斯ウ云フ委員會ナ別ニ設ケル譯ハ、宗教上ノコトハ行政裁判所ナリ民事裁判所ト云フ所デハ、其事情ニ通ジ兼ヌル所モアリ、能ク分リ兼ネテ居ルカラシテ、斯ウ云フ單獨ノモノヲ設ケタ譯デアアル、所ガ又一方ニハドウモ此一種ノ獨立ノ裁判所ノ如キモノヲ委員會ノ名義ヲ以テ設ケテ置クコトハ如何デアラウカ、ソレヨリハ普通ノ諮問會ニ止メテ置イテ内務大臣ハ其決議ヲ採用スルトモ、シナイトモ、ソレハ内務大臣ノ考ニ任セルト云フ方ガ却ッテ運用宜シキヲ得ハシマイカト云フ説ガアリマシタ、特ニ外教杯ニ對スル説ニ附イテハ隨分重大ノ點モアリマスカラ、此委員會ノ裁決ハ動かカスベカラザルモノトスル

ヨリハ普通ノ諮問會ノヤウナモノニシテ、ソレヲ採ルベキモノハ内務大臣ガ採ルヤウニスレバ、矢張り結果ガ同ジヤウニナルト云フ説モアリマシタ、ケレドモ此宗教委員會ニ於テハソレゾレ専門ノ知識ヲ集メテ、サウシテ組織スルモノデアアルカラシテ内務大臣一個デ決定スルヨリハ、此委員會デ裁決スル方ガ穩當デモアリ、適當デアラウト云フコトデ、宗教委員會ト云フモノヲ認メルコトニナツタ、併ナガラ此政府案ノ二項三項ト云フモノハ最早民事行政裁判所ニ關係ナイ以上ハ、却ッテ斯ウ云フコトガアル爲ニ多少關係ノアルヤウナ疑モ見エルカラ、寧ロ此二ツノ項ハ削除シテ仕舞ッタ方が尙ホ一層宜シカラウト、ソレデ將來民事裁判所ナリ行政裁判所ト權限ノ爭執ガ起ル場合ガアツテモ、到底先キニナツテハ權限爭議ノ裁判所ノ如キモノハ設ケラレル必要モアルカラ、サウ云フモノガ出來サヘスレバ、決シテ衝突ノ憂モナイ譯デアアル、旁、此不必要ノ項デアアルカラ此眞ン中ノ二ツノ項ハ削除シタ方が宜シカラウ、ソレカラ此委員ハ勅令デ定ムルコトニナツテ居ル、デ此勅令ニハドウ云フ精神ヲ以テ委員ノ組織等ヲ定ムルカト云フコトデアリマシタガ、重ニ行政部内ノ官吏カラ宗教委員會ト云フモノヲ組織スル、ソレカラ其外ハ臨時ニ相當ノ宗教上ニ明ルイ者ヲ選ンデ或ハ委員ニスルトカ、或ハ參考ノ爲ニ召喚スルトカ、マダ其邊ノ所ハ政府デモハッキリ極ッテ居ラヌヤウデアリマスガ、大體サウ云フ有様デアアル、ソレデ松岡君外二君ノ此案ヲ逐條審議致シテ此修正案ノ如ク確定致シタノデアリマス、是ハ大體政府ノ原案ノ續キ惡イ所ヲ明ニシ又章ナリ條項ヲ大分アツコッチニ變ヘタ所ガアリマス、宗教委員會ノ如キ別ノ章ニナツテ居ルトカ、其他ハ御對照ニナレバ自ラ分ルコトト思ヒマスカラ説明ハ省キマス、ソレデ一通リ逐條審議シテ此通り議了致シタ跡デ直チニソレヲ確定議ニスルカ、ドウカト云フコトニ附イテ委員會デ説ガアリマシテ、今日御報告致シテ居ル此通りニハ其當時マダ整頓シテ居ナカッタデアアル、唯斯ウ云フ主意ヲ此所ニ加ヘルトカ何所チドウ云フ風ニ變ヘルトカ云フコトハ餘程錯雜シテ居ッタ、ソレデ字句、ソレカラ意味ノ整理等ハマダ其時ハ出來テ居ラナカッタ、ソレデ整理ガ出來次第ニ更ニ三讀會ノ如キモノヲ開イテ大體ノ可否ヲ論ジテ全部之ヲ採ルカ探ラナイカト云フコトヲ決シヤウト云フコトニナリマシタ、ソレカラ一昨日午後四時カラシテ今ノ三讀會ノ議事ニ移ッテ、サウシテ大體ノ可否ヲ論ズルコトニナツタ、其時ハ委員中カラシテ先刻申シタ所ノ免租ノ一條デス、此事ハ隨分外教ノ取締ニモ關係ノアルコトトシテ政府ガ認メテ居ル、隨分此法案ノ中ニ於テ政府ガ最モ重キヲ置イテ居ル點デアアル、然

ルニ其點ニ已ムヲ得ズ反對ナシナケレバナラヌカラ松岡君其他ノ御盡力デ大變原案ヨリハ面目ヲ改メテ讀ミ宜イ案ニハナツタケレドモ、マダ其他ニモ多少不明ナ所モアルカラシテ餘儀ナク本案全部ヲ否決スベキモノト云フ説ガアツタ、併ナガラ多數ヲ以テ此報告致シタ通りニ可決スルコトニナリマシタ、ソレデ先刻申シマシタ通り此報告致シテ居ル所ノ案ハ主トシテ松岡君外兩名カラノ起草サレタモノデアリマス、ソレデ私其時ニ闕席致シタコトモアリマスカラシテ、尙ホ御質問等ガゴザイマスナラバ松岡君其他委員諸君ノ中カラ答ヘラル、コトト思ヒマス、又政府委員カラモ大體政府ノ意味ガ取ッテアルコトデアリマスカラ答ヘラレルデアラウト思ヒマス、是ダケ御報告致シマス

〔加藤弘之君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 加藤君ハ何デスカ、質問デスカ  
○加藤弘之君 委員長ニデモ、ドナタカラデモ……質問ヲ致シタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○加藤弘之君 唯今委員長ノ御説明デ大分分リマシタガ、而シテ原案ト大ナル違ノナイモノデアルト云フコトモ分リマシタ、併シ原案モ餘程分リ惡イ文章デアリマシタ、辭等モ分ラヌコトガ往々アリマスガ、今度ノ修正ノ中ニモ随分分ラヌコトガ多クアリマスカラ、或ハ今度ノ修正案バカリニ附イテ質問チスルト云フ譯ニハナリマセヌカラ御答ハドナタカラデモ宜シウゴザイマス、政府委員デモ宜シ、委員長デモ宜シ、其他ノ委員ノ御方デモ宜シウゴザイマス、細カイコトデアルケレドモ少シ御尋申シテ置カヌト分リマセヌカラ、此委員ノ修正案ニ依ッテ箇條ヲ逐ウテ御尋致シマスルガ、第一章ノ第一條「教派又ハ宗派」是ハ教派ト宗派ト云フコトノ差別ト云フコトハ何處ニモナイヤウデアリマスガ、大方宗派ト云フハ佛教デ言フコト、教派ト云フハ神道ノ方デ言フコトトカ云フコトデアラウト思ヒマスガ、或ハ耶蘇教ト云フ方ハドノ方デゴザイマス、教派ト云フカ、或ハ宗派ト云フカ、其差別ガアラウト思ヒマサガ、是ハ如何、ソレカラ同ジ所ニ「本法ニ於テ教派又ハ宗派ト稱スルハ宗教ヲ宣布シ」是ハ分リマシタガ「又ハ宗教上ノ儀式ヲ執行スルチ目的トシ」トアル「又ハ」カラ下ハ宗教ヲ宣布スルコトハセヌ、唯宗教上ノ儀式ヲ執行スルダケチ目的ニスルモノデアル、「又ハ」ト云フノチ見レバ宗教ヲ宣布ト云フコトハセヌ、唯儀式ヲ執行スルダケチ目的トスルヤウニ思ハレマスガ、サウ云フ

モノデアリマセウカ、ソレハ如何デアルカ、ソレカラ第二條ニ同ジコトデ「教會又ハ寺ト稱スルハ教會所」教會ノ方デハ教會所、寺ノ方デハ寺院、寺院ヲ備ヘテ宗教ヲ宣布スル又ハ宗教上ノ儀式ヲ執行スル……チットモ宗教ノ宣布ハセズ宗教上ノ儀式バカリナスル宗旨トホカ見エナイヤウニ思ハレマスガ「又ハ」ト書イテアル下ノ方ハ儀式ヲスルバカリチ目的トシテ、チットモ宗教上ノ宣布ハ目的トシナイヤウニ見エマスガ其通りノコトデアリマスガ、ソレカラ第十五條、第十五條ノ「二二」トアッテ十ノ所ニ「教區ヲ定メタルモノハ其ノ區域」トアル「教區」ト云フノハ自分ガ宗教ヲ宣布スルト云フ其區域ヲ定メタコトデアリマスガ、是ダケノ或ハ縣ニ且ッテ宗教ヲ宣布スルトカ、是ダケノ郡ダケノ間ヲ宣布スルトカ斯ウ云フコトガ教區ト云フノデスカ、或ハ其教會或ハ寺ノ中デ別ニ組合デモアッテ、サウシテ其組合ノ先ヅ教區ヲ定メタコトデアリマスガ、ドウモ是ハ明ニ分ラヌヤウニ思ヒマス、ソレカラ二十七條「教師ハ日本臣民タル者ニ限ル但シ特ニ認可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス」是ハ先刻ノ委員長ノ御説明デ分リマシタガ、外國人ニシテ特別ニ認可ヲ得タル者ハ此限リデナイ、此事ニ附イテ大分疑ガアリマスルガ、今日ハ外國人デ教會所ヲ立ッテ居ルノガ大分アラウケレドモ、日本人ト云フモノハ殆ド其中ニ加ラズ外國人ガ教會所ヲ立テテ居ル、マア其最モ大ナルモノハ駿河臺ノにこらい會堂、ソレカラ神田ノ三崎町ニ佛蘭西ノ教會堂ト云フヤウナモノガアリマスガ、アレモ多分サウデアラウト思フ、アレハ佛蘭西ノ宣教師ガ寄ッテサウシテ立ッテ居ル所ノ教會所デアル、サウ云フヤウナモノガ外ニモマダアラウト思ヒマサガ、私ハ詳シク知リマセヌガ、ソナモノハ此法律デハドウナルノデアリマス、ソナモノハ此後ハ組織ヲ變ヘサセテ、サウシテ教師ト云フ者ハ日本臣民デナケレバナラヌト云フノガ通則ニシデ、或ハ併シ特ニ認可ヲ與ヘテ外國人デモ許スト云フヤウナコトニスル積リデアリマスガ、ドウ云フコトデアリマスガ、又ハ今日ノ治外法權ヲ撤去シタ今日ニ至ッテモ外國人ガ立テテ居ル所ノ教會堂ト云フヤウナモノハ別ニ此法律ノ外ニ置イテ此法律ヲ以テ監督シナイト云フ味意デアリマスガ伺ヒマス、是ハ餘程大キナコトデアッテ、私ニハ先刻ノ御説明デハ少シク分リ兼ネル、ソレカラ二十九條、二十九條ハ是ハ先刻御説明モアリマシタガ「教師ハ政社ニ加入シ公然」云々はハマア宜イト思ヒマサガ、公然政事ニ關係スト云フト隱然政事ニ關係スルコトハ許スノデアルカドウカ、隱然政事ニ關係シテモ宜イカドウデアルカ、公然ト云フ字ガ分リマセヌ、マダ細ニ見マスニアリマセウケレドモ、先ヅ私ガ氣ガ附キマシタ大キナコ

トハ唯今マデニ舉ゲマシタコトデアリマスカラ、之ヲドナタカラデモ宜シウ  
ゴザリマスカラ、ドソゾ御答辯ヲ願ヒタイデアリマスガ、其中最モ大キナコト  
ハ第二十七條ノ先刻申シタ今日外國人バカリデ設立シテ居ル教會所ト云フヤ  
ウナモノニ附イテノコトデアッテ、ソレガドウモ分ラヌカラ、ドウゾ御答辯ヲ  
願ヒタイノデス

## 〔村田保君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君何デスガ

○村田保君 本員モ質問ヲ併セテ致シタイ、本員ハ松岡君ニ質問致シタイ、  
其實問ヲ致シマスル前ニ先程委員長カラ致シマシテ御報告ニナリマシテ詳シ  
イ御報告ヲ承リマシタガ、此案ト申シマスルモノハ丁度委員會ヲ最初開キマ  
シタノハ昨年十二月十六日ニ開キマシタガ、其後段々御調査ニナリマシタ結  
果、何分ニモドウモ委員デハ容易ニ之ヲ修正モ出來ヌニ附イテ委員中カラ  
更ニ五名ヲ互選ヲ以テ選ンデ其五人ノ委員ニ此修正ノ事ヲ託シタ、其五人  
ノ御方ハ孰モ御歴々ノ御方デアリマシテ、其五人ノ御方ガ數日夜ナリニ繼イ  
デ御調査ニナリマシタ結果、何分此案ト云フモノハ此會期モ切迫スルシ到底是  
ハ其修正等ハ出來ヌ、ソレ故ニ是ハドウモ報告ハ出來ヌト云フコトデ遂ニ其  
五人ノ委員ノ御方ハ解散ノヤウナ譯ニナッテ、ソレカラ立消ニナッテシマッタヤ  
ウナコトデアアル、然ル處ガ其後松岡君ノ御力ニ依リマシテ此案ガ出來マシタ  
趣ノヤウニ委員長カラ承リマスル、中ニ此十五名ノ御方デハ容易ニ出來ズ、又  
其五人ノ御方デモ出來ズ、言ハバ松岡君ガ之ヲ其御修正ヲ爲サレタト云フコ  
トハ實ニ松岡君ニ於カレテハ成ル程宗教上ノ事ニ附イテハ御委シイカラ容易  
ニ出來タヤウニ存ジマスガ、本員ハ尙ホ松岡君ガソレマデ御盡力ニナッテ出來  
マシタ案デアリマスカラ即チ松岡案ト言ッテ宜シイモノト存ジマスカラ松岡  
君ニ御尋ナシタイ、元ト本員ハ此各條ニ附テ細カイコトハ御尋シナイ、大體ニ  
附イテ先ツ質問ヲ致シタイ、諸君モ御存ジノ通り此法案ガ議會ニ上ボリマシ  
テカラ此宗教會社ノ騷擾ト云フモノハ實ニ一ト方ナラヌ騷ヲ起シマシタ、御  
同様ニ日々殆ド毎日ノヤウニ書翰トカ或ハ雜誌ノヤウナモノ或ハ新聞ノヤウ  
ナモノヲ數十通御手許ニモ定メテ來テ居リマセウ、委員杯ノ手ニモ參ッテ居リ  
マスカラ委員諸君ニハ尙ホ一層澤山ナル意見書等モ諸所カラ參ッテ居ルニ相  
違ナイト本員ハ信ジデ居リマスガ、松岡君ニ於カレマシテハ各宗ノ宗門社會  
ガ一般ニ希望シテ居リマス所ノ點杯ハ一々御覽ニナリマシテ其採用スベキモ  
ノハ御採用ニナッテ居リマセウカ、ナッテ居リマセヌデセウカ、其邊チ一ツ伺ヒ

タイ、ソレカラ松岡君ガ修正ヲセラレマシタガ、此點ノ最モ要點ナリト云フモ  
ノハドウ云フ點ガ要點デゴザイマセウカ、ソレチ一ツ伺ヒタイ、此案ヲ御修正  
ニナリマシタ要點チ……本員ガ見マスル所ガ此徵兵ノコト杯ハチヨットマダ  
見エマセヌガ、ソレ等ハ此事ハ如何御調査ニナリマシタモノデゴザイマセウ  
カ、又此斯ノ如ク御修正ニナリマシタガ之ニ政府ガ同意ヲ致シテ居リマスカ、  
居リマセヌカ、ソレモ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ兎角ドウモ此宗教法杯ト云フモ  
ノガ出マシテ見マスルト云フト、日本ノ此宗教社會ノ者ハ此取締ノ爲ニ嚴ナ  
ル罰等ヲ受ケマセウガ、外國人ノ此教師トカ云フ者ハ却ッテ其方ハ寛カニナル  
ヤウナコトニナルヤウニドウモ成行キハシナイカト本員ハ少シク杞憂ヲ懷イ  
テ居ルコトガゴザイマスガ、其邊ハ此取締ノコトハ日本人或ハ外國人ニ公平  
ニ出來ルト云フ御案ニナッテ居リマセウカ、先ツ是ダケノ點チ伺ッテ置キタイ  
○兒玉淳一郎君 本員モ唯今村田君カラ質問ガアリマシタカラ、序ナガラ松  
岡君ニ質問致シタイ、松岡君ニ質問シテモ宜シウゴザイマセウカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、松岡君ハ今ノ質問ニ附イテ東ネ  
テ御答ニナリマスカ

○松岡康毅君 ドツチデモ宜ウゴザイマス

○子爵板倉勝達君 別々ニ御答ナシテ貰ヒマセウ

○議長(公爵近衛篤磨君) 兒玉君、ソレデハ暫ク御待チ願ヒマス

○松岡康毅君 御答ヲ致シマスガ、第一番ニ加藤君ノ御質問デゴザマスガ、  
是ハ教派ト云フ中ニハ耶穌教モ這入ッテ居ルカト云フ御主意ニ聞取リマシタ  
ガ、御解釋ノ通り耶穌教モ無論這入ッテ居リマスル積リデゴザイマスル、ソレ  
カラ「宣布シ又ハ」ト云フ字ハ片方バカリデ宜イカト云フ御尋デゴザイマス  
ガ、矢張り片一方バカリデモ重タルモノハ片一方ノミデ宜イト云フ考デゴザ  
イマス、ソレカラ教區ト云フモノハドウ云フモノカト云フコトデゴザイマス  
ガ、唯今ノ各宗ノ宗制ノ中ニモ大小區ヲ別ケテゴザイマスカラ、即チ淨土宗杯  
ハサウナッテ居リマス、サウ云フモノガアレバサウ云フモノヲ書イテ宜イト云  
フ積リノコトデゴザイマスソレカラにこらい堂トカ又ハ神田ノ何處トカニ在  
ル教會堂ノヤウナモノハドウカト云フ御尋デゴザイマスガ、にこらい堂ノコ  
トハチヨット覺エマセヌガ、アレハドウ云フ唯今持チニナッテ居リマスカ私ハ  
存ジマセヌガ、多分外國人ノ持ッテ居リマス教會杯ハ家屋ヤ何ノ方ハ皆日本人  
ノ名前ニナッテ居ルト存ジテ居リマス、ケレドモ其中ニ來テ説教ナシタイ何  
カシテ居リマスノハ外國ノ宣教師ガ無論澤山居ルトト思ッテ居リマス、ソ

レカラ右等ノモノガ外國ノ宗教モ總テ此法律デ取締ナスル積リカ、此法律ニ入レラレル積リカト云フ御尋デゴザイマスガ、此法律ハ外國ノ宗教ヲト云フモノハ一切見ナイノデアリマス、日本デ宗教ヲヤリマスモノハ即チ此法律デ支配ナスル、斯ウ云フ積リデアリマス、ソレカラ公然ト云フハ隱然ノ反對デ隱然政事ニ關與スルノハ宜イカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ唯今デモ裁判所構成法ニモ此通りノ文字ガ出テ居リマス、或ハ裁判官ハ隱然政治ニ關與シテ宜イト云フコトハ許可シテナイノデアリマスカラ、是ハ既定ノ法律ト同ジ意味デアリマス、以上デ加藤君ノ御尋ハ濟ンダト思ヒマス、次ニ村田君ノ御尋ノ大體ノ所ニ附イテ……

〔加藤弘之君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 少シ加藤君、御待下サイ

○松岡康毅君 御答ヲ致シマス、此事ニ附イテハ既ニ數十通ノ書類ダノ新聞等ヲ持ッテ希望致シテ來ル者ガ、種々アルガ松岡ハ一々其希望ヲ聞イテ、サウシテ各々満足ヲ與フルコトニナッタデアラウカト云フ御尋デゴザイマスガ、私モ隨分書類モ澤山受取り又多クノ人ニ面會ヲ致シマシテ聞クコトモ多ク聞キ、書類モ多ク見マシタ、併シ今村田君ノ仰ッシャル通り何分多數ノモノデゴザイマシテ一々ト云フ譯ニハ決シテ參リマセヌ、其中デ大略ハ略シタ方ガ多イ位デゴザイマスカラ、目ヲ通サヌ書類ハ澤山アリマス、澤山ゴザイマスガ重ナルモノハ各宗管長ノ總代杯ト申スノハ是ハドウシテモ各宗管長ノ總代デゴザイマスル以上ハ餘程重イコトト思ヒマシタカラ、ソレヲノ書類ハ十分閱讀致シマシテ、サウシテ其希望ヲ然ルベキト思フダケノモノハ務メテ修正ヲ致シマスル時分ニ加ヘテゴザイマスル積リデゴザイマス、ソレハ此逐條ノ中デ大體御覽下サイマスレバ御分リニナルダラウト思ヒマス、ソレカラ徵兵ノ如キハドウカト云フ御質問デゴザイマスガ、タシカアレハ法案ガ別ニナッテ居リマシテ、サウシテ此宗教法案トハ別ナモノト考ヘテ居リマス、故ニ委員長ノ御報告ニモナカッタカノヤウニ存ジテ居リマス、是ハ唯今御答ナスル要ガアルカ知レマセヌガ、結局委員會ニ於テハ同一委員ニ付託サレマシタカラ其調査ノ末ハ否決ニナッテ居リマスノデゴザイマス、徵兵猶豫ノコトハ委員會デ否決ニナリマシタ、ソレカラ多クノ修正ニ政府ハ同意シタカト云フ御尋デゴザイマスガ、凡テ政府ハ同意シタノデアリマス、ソレカラ外國人ハ寛ニナルヤウナ虞ハナイカ、取締ハ公平ニ出來ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、外國人ハ寛ドコロデハナク唯今マデハ外國人ハ御承知ノ通り宗教ト云

フモノハ公然認メタ譯ニハナッテ居リマセヌ、又條約實施以後ノ日ガ短ウゴザイマスルノデ、且ツ制度ノ整ヒマセヌガ爲ニ現在ノ所ハ如何ナ有様ニナッテ居リマスカ、自ラ以前ノ黙許ノ姿デ其儘居ルカト想像シマスガ、此法律ヲ拵ヘマシタ以上ハ決シテ外國人ニ寛ニナル譯ハナイ筈デゴザイマス、即チ憲法ノ本文ニ照シ且ツ此法律ニ於テ規定シマシタ通り宗教ハ宗教ノ取扱方トシテ決シテ特別ニ寛大ニスルコトハナイ筈デゴザイマス、御尋ハ是ダケデゴザイマシタト思ヒマス

○兒玉淳一郎君 宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜ウゴザイマス

○兒玉淳一郎君 松岡君ニ質問ヲ致シマス、本員ガ松岡君ニ質問致シタイト申シマス事柄ハ此唯今松岡君ガ村田君其他各員ニ御答ニナッタノデ、此修正案ニ政府ガ同意シタ、依ッテ異議ハナイト仰ッシャイマスカラ、ソレニ依ッテ修正案ニ附イテ委シク御尋ヲ致シタイ積リデゴザイマス、第一ニ承リタイノハ我國民ハ憲法二十八條ニ明文ノアル通り其法律ノ明文ニ依ッテ安寧秩序ヲ妨ゲズ臣民タルノ義務ニ背ガザル限リニ於テハ信義ノ自由ヲ許サレテ居リマス、就キマシテハ何人ト雖モ當然ノ法律ノ結果トシテ宗教ニ屬スル所ノ自由トシテ法律ノ義務ヲ免ル、コトハ出來ナイ、ソレカラ法律ヲ以テ權利ノ侵害ト云フ行爲ヲ犯シテ其罪ヲ免ル、ト云フコトハ出來ナイノハ無論デアリマスカ、之ヲ取除ケマシテ各宗教家ガ國家ノ干涉監督ヲ受ケルコトガナクテ全ク獨立シテ宗教ノ組織ヲ自ラ治メテ行クトカ云フコトヲ許サレテ居ル精神デアルカナイカナ第一番ニ承リタイ、第二番ガ既ニ此通りトスレバ宗教ノ力ヲ藉リテ國家ノ政治ニ妨害ナスル者ヲ止メルダケデ、アトハ宗教社會ノ自治體ニ御委任ナサル御積リデアルカナイカナ承リタイ、第三番ハ此修正案ニ書イテアル所ノ主意ハ我國ガ各國ト條約ニナッテ居ッテ維新以來總テ明文ニ書イテアル所ノ條項ガ段々アリマスガ、此度ノ條約ニ附イテモ其意味ハ全ク此法文中ニ含マレテ條約通りノコトガ許サレテアルカナイカナ承ルノデアリマス、第四番ハ此法文中ニ於キマシテハ宗教ト云フ字ダケヲ書イアッテ耶蘇教トモ佛教トモ神道トモ猶太トモはめトモ書イテナイ、然レバ是マデ日本ニアル所ノ宗教ノミヲ指シテ云フノカ、或ハ又條約改正ノ結果トシテ外國人ガ内地ニ雜居スルニ相違ナイ、其際ニ於テハ我々耳ニ聞キ又目ニ見ヌ所ノ宗旨ノ人が這入ルダラウト思ヒマス、其宗旨ノ人が這入ッテ來テ宗教體ヲ組織スルコトニ於テハ之ヲ許スト云フコトガ此宗教ノ中ニ含マレテアルカナイカナ承リタ

イ、第五番ハ此中ニ「教師」ト云フ字ガ書イテアル、此教師ト云フ字ハ如何ナル宗教ノ人デアラウトモ此宗教ヲ宣布スル人ハ此中ニ含まレテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイ、第六番ハ此法文中ニ「財團」ト云フ字ガアル、其財團ガアル以上ハ之ヲ代表スル者ガアルニ相違ナイ、此代表ヲスル者ハ宗教ヲ宣布セズトモ矢張り代表スル中ニ含まレテ居ルヤ否ヤ承リタイ、第七番ハ是ハ宗教ヲ取締ルコトデアアルカラ即チ何レノ宗教ニ對シテモ一視同仁ノ御處置ガアルト信ジテ居リマスガ、決シテ此事ニ附イテハドノ宗旨ニ許スト云フコトニ附イテ權利ヲ保護スル上ニ差等ガナイコトト思ヒマスガ、果シテサウカト云フコトヲ承リタイ、第八番ハ此法文中ニ宗教上ノ結社ガ許サレテアルガ、唯結社トノミアッテ仕方ガ能ク分ラヌ、是カラ先キ内外人雜居ニナッタ時分ニ外國カラ這入ッテ來タ者ガ内國人ト相互ニ結社ヲスルコトガ出來ルカト云フコトナ此法文ノ何處デ極メテアルカト云フコトヲ承リタイ、第九番ハ御承知ノ通り此日本ノ中ニハ先ヅ宗教ヲ統轄スルモノハ本山トカ云フモノガアリマスガ、外教ニ至ッテハ外教ニモ本山ヲ括ガアル所デ内國ニ於テ内外人相合シテ宗教ノ結社ヲ爲シタ場合ニ、外教デ其外教ノ本山若クハ其宗教ノ最上權ヲ持ッテ居ル所ノ者ニ對シテ、コチヲノ内地デ結ンデ居ル所ノ社ヨリ社ノ名義ヲ以テ信書ノ往復スルコトヲ許ストモナケレバ許サヌトモナイ、此事柄ハ此法文ハドウ認メテ居ルカヲ承リタイ、唯今九箇條御尋ヲ致シマシタガ、之ヲ明ニ御答ニナッテ然ル後條項ニ至ッテ各條ニ附イテ御質問申ス積リデアアル、先ヅ以テ今ノ九箇條ダケノ御答ヲ願ヒタイ

○松岡康毅君 第一番ノ兒玉君ノ御尋ハ少シ私ハ聞落シマシタガ、憲法ノ御講釋デ、憲法ニ義務ヲ免レザルモノトシテアル、犯罪ハ罪ヲ免レヌモノトシテアルニ其……

○兒玉淳一郎君 モウ一遍言ヒマセウカ

○松岡康毅君 モウ一應其處ヲ仰シヤッテ下サイ

○兒玉淳一郎君 第一ノ御尋ハ憲法ニハ秩序安寧ヲ妨グズ臣民ノ義務ニ背カザル限リニ於テ信教ノ自由ヲ有スト云フ明文ガアリマス、ソレニ依リマシテ我我人民ガ此憲法ヲ尊崇シテヤルコトハ勿論ノコトデアアルガ其結果トシテ法律ニ於テ權利ヲ侵害スルト認メタ行爲ヲ爲シタ罪ヲ免ル、コトガ出來ナイノト、ソレカラ宗教ニ屬スル或ル事柄ヲ理由トシテ法律上ノ義務ヲ免カル、コトノ出來ナイノハ當リ前ノコトデアアル、併ナガラソレヲ除イテ外ノコトニ對シテハ各宗教ガ國家ノ干渉監督ヲ受ケズシテ獨立シテ宗教團體ヲ組織スル

コトナ此法律デ御許ニナルカナナイカヲ承リマス  
○松岡康毅君 分リマシタ、御尋ノ通り憲法二十八條ニ三ツノ要件ガ掲ゲテアリマスガ、ソレニ觸レザル外ノモノハ宗教内部ノ組織等ノコトハ自治ニ任セルノデアリマス、併シソレガ團體ヲ爲シ結合スルト云フモノハ認可ヲ受ケルト云フコトニナリマス、内部ノ組織ヲ政府ノ方カラ干渉シテ如何ヤウニセヨ、斯様ニセヨト申スコトハアリマセヌ、ソレハ自治ヲ許ス積リデアリマス、ソレカラ次ニハ宗教ノ力ヲ藉リテ國家ニ害ヲ爲スヤウナ、其害ヲ爲スト云フ所ノミヲ止メルニ過グズシテ其他ノコトハ構ハナイノカト云フ御尋デアッタト思ヒマスガ……

○兒玉淳一郎君 左様デゴザイマス

○松岡康毅君 其通り、苟モ宗教ト申シテ良心ノ自由カラ起ッテ信仰スルコトハ既ニ憲法デ許シタ通りデアリマスカラ、是ガ國家ニ害ヲ爲サナイ、所謂二十八條ノ件々ニ觸レザル限リハ十分ナル信仰ノ自由ヲ與ヘルト云フ主意デアリマス、ソレカラ第三番目ニハ條約ノ明文其者ガ此法文ニ於テハ如何見テ居ルカト云フ御尋デアラウト思ヒマスガ……

○兒玉淳一郎君 申シタノハ維新ノ初以來、内外人ノ間ニ於テ此宗教ノコトニ附イテ約條ガアル、其約條ニ許サレテ居ルコトハ悉ク此法文中ニ含まレテ居ルカト云フ御尋デアリマス

○松岡康毅君 維新以來宗教ノコトニ附イテハ一々無論此法律ニ包含モ何モシテ居リマセヌ、近イ所デハ各國ノ改正ニナリマシタ所ノ即チ獨佛等ノ條約ノ第二條デアリマシタカ第四條デアリマシタカ、大抵各國共ニ條約ノ二條カ三條ニアル通り兩國ノ人民ハ互ニ其マア早イ佛蘭西デ申シテ見マスレバ佛蘭西人ガ日本ヘ參ラウガ日本人ガ佛蘭西ヘ參ラウガ、ソコハ同ジデアリマシテ「其心ニ關シ完全ナル自由ヲ享有シ法令及規則ニ從テ堂宇ヲ建設及所有シ且公私ノ禮拜ヲ行フヲ得ヘシ」斯ウナッテ居リマスノデ、是ハ條約ノ本文、條約ノ通りノコトヲ爲シ得ラレト云フコトハ此法律ニ於テ別ニ書キモドウモ致シマセヌ、是ハ約條ノ上ニ於テ今御聞ノ通りニ日本ノ法律命令デ定メタ所ニ從ヘバ寺ヲ立テヤウガ、堂宇ヲ立テヤウガ、其堂宇ヲ所有シ禮拜ヲ行フト云フコトハ條約デ許サレテ居リマス、此法案ハ總テ宗教ヲ取締ル方ノコトノミデゴザイマシテ、殊更ニ外國ノ條約ノ明文ニ在ルコトヲ含ム含マヌト申スヤウナコトハ定メテゴザイマセヌ、ソレカラ宗教ト申スノニハ今日マデノ佛教神道ヲニハ止ラズ名モ知レナイ宗教モ追々來ルカモ知レヌガ、サウ云フモノモ矢張り

リ合ムカト云フ御尋ゴザイマスガ、サテ宗教ト云フ定義ニナリマスレバ隨分ムツカシイ、區別モ爲シ難イモノノヤウニ考ヘマスケレドモ、苟モ宗教ト指名サレルダケノモノデゴザイマスレバ此法律デ何レノモノデモ皆支配スル考デアリマス、ソレカラ教師ト申スノハモ何宗ニ拘ラズ總テ宗教ヲ宣布シ若クハ其儀式ヲ執行スルト云フ者ヲ指シテ教師ト總稱致シマスルノデ、教派宗旨ニ區別ハナイノデアリマス、ソレカラ財團ガアレバ代表者ガアルノデアラウ、代表者ハ宗教ヲ宣布スル人ガナルノカト云フ御尋デアリマスガ其通りデアリマス、唯今デモ殆ド其通り獨立シテカト申スノハ財産ヲ持ッテ居ル其寺ノ財産ト申スモノハ寺ノ住職ト云フ者ガ代表シテ居ルノデアリマシテ、其通りノコトデアリマス、ソレカラ各宗ノ取締ト云フモノハ何レノ宗教ニ拘ラズ一視同仁デアッテ權利ヲ與フルコトモ差別ハナイカト云フ御尋デアリマスルガ、元來此宗教ノ方ニ權利ヲ與ヘルト云フノハ主タル目的デハナイノデアリマス、前申述べマシタ通りニ憲法デアスコニ制限ガ附イテ居リマス、ソレカラ外ハ自由ヲ與ヘテ居ルノガ主意デゴザイマスカラ、格別佛教デアルカラ此度ドウ云フ權利ヲ與ヘルトカ、或ハ外教ガ來レバ如何ナル特權ヲヤルトカ、左様な區別ハナイノデアリマス、ソレカラ結社ノ出來ル時分ニハ内外人が共同シテヤッテモ宜シイカト云フ御尋デアリマスガ、モウ此宗教ノ上ニ於キマシテハ内國人外國人ノ區別ハゴザイマセヌカラ、共同スルコトハ少シモ差支ナイノデアリマス、ソレカラ外教ノ最上權ヲ持ッテ居ル者ト、ソレカラコッチデ其宗旨ヲ信ズル者トガ文書ノ往復等ヲ爲シテモ苦シクナイカト云フコトデアリマシガ、是ハ何モ本法ニ於テハ規定ハシテゴザイマセヌノデアリマス

○宮本小一君 委員長ニ三ツバカリ御尋ヲ致シタウゴザイマス 唯今委員長ノ御説明ノ中ニ此十三條ノ地租免除ノ所デ仰セラレマスニハ地租ハ免除スルト云フコトニ決シテアルガ、ソレト申スノハ此法令ニ依ッテ大分、寺ニハ政府カラシテ干涉ガ多クナル、多イノモ宜シイデゴザイマセウガ多クナル、多クナルニ依ッテハ又一方ニハ地租ヲ免除スルト云フダケノコトモ與ヘナケレバナラヌト云フコトデ、委員會ハ地租ヲ免除スル方ニ決シタ、斯様ニ仰ガゴザイマシタガ、サウシマスト現行ノ所ト此法令ガ成立ッタトキトノ干涉ノ點ハドウ云フ所ガ多クナリマスノデゴザイマスガ、概略ノ所ヲ伺ヒタウゴザイマス、ソレカラモウ一箇條ハ教會、寺、皆今ノ所デ免租地ニナッテ居リマスガ、教會マデモ免租地ニ是カラスルノデアリマスガ、物ヲ舉ゲテ御尋ヲ申シテハチト惡ルイカハ知リマセヌガ、マア鼻ノ先デ申スコトデゴザイマス

ガ、即チ唯今誰カカラ御尋ガゴザイマシタ駿河臺ノにこらいノ堂、或ハ番町ノ白蓮社トカ云フ島地黙雷杯ガ拵ヘタ、アレ等モ是カラ免租ノ恩典ニ俗シマス譯デゴザイマスガ、寺同様ニサウ云フコトガゴザイマスト隨分此教會ノ免租地ト云フモノガ日本中ニハ大變數ガ殖エマセウト存ジマスガ、其御積リハ前以テアッタコトデゴザイマスガ、ソレハ如何デ、ソレカラ寺ト云フモノハ私モハッキリハ存ジマセヌガ、現今デハモウ今日ノ何萬箇寺ト云フ數ノ外ハ寺トナッテハ許サレマセヌヤウナコトニ承知致シテ居リマスガ、此鹽梅デハ寺ニ無制限ニ數ヲ許サレルヤウニ見エマス、是モ新規ニ耶蘇ガ這入ッテ公認サレタ結果デ、致方ガナイト存ジマスガ、併ナガラ寺ト云フモノハ先ヅ日本ノ今日ノ習慣ニ依リマスト埋葬地ヲ附ケテアルノガ寺、埋葬地ノナイノハ即チ申サバ教會トカ或ハ何トカ云フ場所ニナリマスノデアラウト存ジマスガ、サウナリマスレバ寺ト云フモノハ何處ヘ出來マシテモ寺ニハ必ズ埋葬ヲ許スト云フ御主意デゴザイマスガ、是ハ一體埋葬地ハ共同埋葬地、東京ノヤウナコトニ致シテ何處デモ彼處デモ寺ヲ拵ヘテ謂ハバ埋葬ハ寺ノ中ヘサセヌト云フ御主意デゴザイマスガ、ソレハ勅令ヲ以テ定メルト云フコトカモ知レマセヌガ、是ハ隨分重イコトデゴザイマスガ、何トカソコニハ寺ト云フモノハ矢張り本尊ヲ置イテ坊樣ガ經ヲ讀ムダケノ場所デ埋葬ハサセナイト云フ規定ガアリサウナモノト存ジマスガ、ソレハドウ云フ譯デナイノデアリマスガ、ソコナツツ伺ヒタウ存ジマスガ、併ナガラソレ等ハ御吟味ガナカッタノデゴザイマスガ、アッタノデゴザイマスガ、先ヅ唯今ハ此案ハ政府ノ案デハナイ全ク貴族院ノ案ト申シテモ宜シイヤウデアルカラ先ヅ委員長ニ是ダケノコトヲ御尋申シマス、ソレデ寺ヲ際限モナク方々ニ立テルノト、ソレカラ免租ニ附イテハドウ位ノ干涉ヲ政府デナサルカ、即チ其唯今マデト異ナル所ヲ伺ヒタウゴザイマス

○侯爵黒田長成君 唯今ノ御質問ニ附イテ少シク述べテ置キマスガ、第一、私ハ此案全部ニ附イテハ反對ノ意思ヲ持ッテ居ル者デ、殊ニ此十三條ノ如キハ此修正案ハ削除スベキモノデアルト云フ者ヲ持ッテ居ル一人デアリマス、ソレデ若シ一讀會ガ通過致セバ二讀會ニ於テハ此削除ト云フコトヲ主張致シタイト思ッテ居ルノデゴザイマス、併シ唯今御問ノコトニ附イテ承知致シテ居ルダケハ序ニ御答致シテ置キマスガ、此免租ノ理由ハ先刻宗教ニハ一方デ干涉ナスルカラ又一方デハ斯ノ如ク特典ヲ與ヘル方ガ宜シイト云フコトヲ申シマシタノハ、決シテ干涉ト云フコトバカリニ重キヲ置イテ申シタ譯デハナイ

ノデ、此法文ノ中ニモ種々罰則其他取締等ノコトガアルノヲ指シテ干涉ト申シタノデ、却ツテ免租ノ理由トシテ委員諸君ノ唱ヘラル、點ハ教育上ノコトモ宗教上ノコトモ均シク公益ニ關スルコトデアアルカラ學校地ノ規定ヲ準用スルヤウニナツテ居ルノデ、其公益上カラシテ免租ヲスル必要ガアル、斯ウ云フ主意デアッタト記憶シテ居ルノデ、ソレカラ教會ニモハ適用スルカト云フコトゴザイマシタガ、矢張り此規定ニアリマスル通り無論教派、宗派、教會又ハ寺ト云フコトニナツテ居リマスカラ之ニ適用スル譯デアリマス、ソレデドウ云フ區域ヲ以テ免租スルカ例ヘバ門前ヨリ本堂マデノ間ハドウスルトカ、其構内ノ幾分ハドウスルトカ云フコトハ勅令ニ依ッテ定メル、サウシタナレバ無限ニ免租スルト云フ弊ヲ避ケテ一定ノ區域ヲ限ッテ免租スルコトニナレバ免租ノ額モ原案ヨリハ稍、少クナルデアラウト云フ所カラ斯様修正ニナッタト思ヒマス、ソレカラ埋葬地云々ト云フコトハ別段委員會デハ評議ハナカッタノデアリマスカラ、其邊ハ政府ニ向ッテ御質問ニナル方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレデ私一己トシテハ本案ニ反對デアルト云フコトヲ申シテ置キマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 時刻ニナリマシタカラ休憩致シマス

午後零時三分休憩

午後一時十一分開議

○議長(公爵近衛篤磨君) 今朝御委託ニナリマシタル特別委員ノ氏名ヲ御報道ニ及ビマス

〔太田書記官長朗讀〕

産業組合法案特別委員

|      |     |      |       |
|------|-----|------|-------|
| 子爵谷  | 干城君 | 子爵戸田 | 忠行君   |
| 男爵吉川 | 重吉君 | 富田   | 鐵之助君  |
| 都筑   | 馨六君 | 小幡   | 篤次郎君  |
|      |     | 瀧    | 兵右衛門君 |

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○子爵曾我祐準君 議事ノ進行ノ爲一言申述置キタイコトガゴザイマス、此委員ヨリ出マシタ所ノ案ト申シマシテモ大體ノ上ニ附イテハ政府案ト同ジ條項ガ澤山アリマスノミナラズ又政府モ之ニ全然賛成サレテ居ルト云フコトデアリマスニ依ッテ、ドウカ此説明ハ政府委員ヨリナサルガ宜シカラウト思ヒマス、其方ガ餘程議事ノ進行ニ便利ダラウト思フ、併ナガラ委員會デ改ッタ所ノ條項ニ附キマシテハ、提出者タル松岡君其他ヨリ御説明ニナルコ

トハ當然ノコトデアリマセウガ、諸君ノ御尋ノ原案ニ在ル所ノモノハ政府委員ニ就イテ御尋ニナッタ方ガ進行ノ都合ガ宜シカラウト思ヒマスカラ一言述べテ置キマス

○加藤弘之君 先刻私ノ質問ニ對シテ、松岡君ノ御答ハ大抵、外ハ分リマシタガ、二十七條ハ誠ニ要領ヲ得マセメデアリマス、ソレデ政府委員ニ質問ヲ致シタウゴザイマスガ政府委員ハ出テ居リマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 出テ居リマス

○加藤弘之君 此二十七條デアリマスガ「教師ハ日本臣民タル者ニ限ル但シ特ニ認可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス」ソレデ之ニ附イテ私ハ例トシテ駿河臺ノにこらい會堂或ハ神田ノ三崎町ニ在リマス佛蘭西ノ教會所ト云フヤウナモノハ唯今マデハ素ヨリ日本人モ這入ッテ居リマスガ、決シテ日本ノ品物ニハナツテ居ラズシテ或ハ露西亞ノ教會所、佛蘭西ノ教會所ト云フヤウニ信ジテ居リマスガ、其他ニモマデアラウト思ヒマスガ、サウ云フモノハ此法律ガ出タ上ドウナル、サウ云フ所ニモ日本臣民ニ限ルト云フ此法律ヲ持ッテ行クノデアルカ、但シ其分ハ此但書ニアル「特ニ認可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス」ト云フノデアルカ、ドウモ疑ハシイデアリマシタガ、ソレデ又斯ウ云フ類ハマルデ此法律ヲ以テ支配スルモノデナイノデアルカト云フコトノ間ヲ出シマシタ、其松岡サンノ答ハ少シ曖昧分リマセメデシタガ、ア、云フ類ノ外國人バカリデ立ッテ居ル教會所ト云フヤウナモノノ名目ハ日本人ニナツテ居ルトカ何トカ云フヤウナ御辭ガアッタヤウデアアルガ、其名目ヲ私ハ御聞申シタノデナイ、ソナナ類ハドウナルカ、ソナナ類ハ是カラモ出來ヤウト思ヒマスガ、外國人バカリデ日本人ハ其主タル地位ヲ持タズシテ教會所ヲ立テルト云フヤウナモノガアッタトキニハ、ソレハ此法律ノ全ク外デアアルカ松岡君ノ御答デハ是ハ外デアルト云フヤウニ承ツタ是等ハ何ノコトデアアルカ私ニハ分ラヌ、内地雜居ヲシタ今日ニ於テ外國人ノ立テル教會所ト云フモノハ此法律デハ支配セメト云フヤウナコトハドウ云フ理窟デアアルカ、ドウモ松岡君ノヤウナ御主意ハ間違ッテ居ルダラウト考ヘマス

〔子爵谷干城君然リ然リ其通りト呼フ〕

私ハ色々諸君ノ中ニ御考モアリマセウガ、此修正案ハ大體ニ於テ私ハ賛成シテ居ルノデアリマスガ、併シ此二十七條ハ餘程大切ナコトデアアルカラ萬一、外國人が立テル教會所ト云フモノハ此法律ノ外ノモノデアルト云フヤウナコトデアッタ大變ナコトト思フ、デアリマスカラソレヲ委シク政府委員カラ御

答辯ヲ願ヒタイ

○松岡康毅君 唯今加藤君カラ政府委員ノ御答辯ヲ御求テゴザイマシタガ、ソレハ政府委員カラ答辯ヲセラレドゴザイマセウガ、私ノ先刻御答致シマシタノハ成ル程加藤君ノ御問ノ意味ヲ聞達ヘタカモ分リマセヌガ、唯今能ク承テ見レバ、外國人が來テ宗教ヲ宣布シ御堂ヲ建テタリ何カスルト云フトキニハ此法律デ支配スルノデナイカト云フ御尋デ、其時分ニ私ハ然リト御答シタカノヤウニ唯今ノ御話デハ承リマシテゴザイマスガ、若シサウデゴザイマシタナラバ間違ッテ居リマスノデ、外國人が寺ヲ建テマセウガ日本内地デヤリマストキニハ總テ此法律デ取締リシ又相當ノ保護モスル、内國人ト變ラナイト云フ主意デゴザイマス、ソレダケヲ御答致シマス

○馬屋原彰君 本員モ質問ヲ致シタウゴザイマスガ、本員ガ質問ヲシタイト云フ箇條ハ最初ニ第四條ノ所デアリマスガ、此四條ハ政府提出ノ案ヲ御修正ニナッタヤウデアリマスカラ、是ハドウゾ委員ノ御方カラ御答辯ヲ願ヒタイ、デ此第四條ニ教派又ハ宗派ニ屬スル信徒ノ組織スル即チ結社ノ場合デアリマス、此場合デ管長又ハ代表者ヲ經由シナカタナラバ主務官廳ヘ願出スコトガ出來ナイ、斯ウ云フヤウニ四條ノ但書ニナッテ居ルノデ、是ハ如何ナルモノデアリマセウカ、信徒ノ結社ノ手續トシテハ少シク事理ニ適セナイカト云フ疑ガアリマス、ソレハ何ゼナラバ信徒、信徒ナルモノハ管長ノ信徒デナク、又代表者ノ信徒デナク即チ宗旨宗教ノ信徒デアル、然ラバ其信徒ニシテ宗教ヲ維持シ若クハ共同ノ利益ヲ圖ル等ノ目的ヲ以テ結社ヲ致シマスルニ當テ一ツノ事務員タル管長若クハ代表者ノ手ヲ經由シナクッテ書面ヲ出スコトガ出來ナイト云フノハ、ドウモ事理ニ當ラヌヤウニ思フ、或ハ信徒ガ結社スル場合ニ於テハ管長若クハ代表者ト利害相反スル場合モアラウト思ヒマス、斯ウ云フヤウニ行政官廳ノ長官ガ下僚ヲ統一スルヤウナ規定ヲ宗教團體ニ對シテ設ケルト云フヤウナコトハ如何デアラウカト云フ疑ヲ持ッテ居リマスノデアリマスガ、定メシハ委員ニ於テハ必要ナリト云フ御認メデアリマセウカラ、其必要ナル理由ヲ伺ヒタイノデアリマス

○加藤弘之君 政府委員カラ御答辯ヲ願ヒタイト思フ、先刻私ノ問ニ對シテ……

〔政府委員斯波淳六郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(斯波淳六郎君) 先刻加藤サンカラノ御尋カト存ジマシタガ、松岡サンカラ御答モアリマシテ、同様ノコトデアリマスルカラ別段此處カラ申

上ゲルダケノコトモナカラウカト存ジマスガ、外國人が此教會堂ヲ立テヤウガ日本臣民ガ教會堂ヲ立テヤウガ此事ハ此法案ノ上カラハ同一ニ取扱フ考デアリマス、シテ今一箇條、先刻休憩前ニ御尋ノアッタ箇條ニ附イテ御答ヲ致シマスガ、寺ト墓地トノ關係ニ附イテ御尋ガアリマシタ、此墓地ト云フモノハ別ニ墓地埋葬取締規則ト云フモノガアリマスカラ其方デ今日取扱ッテ居リマス、デ寺ノ境内地トハ別ニナッテ居リマスノデアリマス、ソレデ寺ガ出來マシテモ墓地ガ殖エルト云フモノデハナイノデアリマス、是ハマルデ別問題デアル、是ダケ御答ヲ致シテ置キマス

○加藤弘之君 マダ分リマセヌ、サウスルト先刻私が例ニ出シタにこらい會堂トカ三崎町ノ佛蘭西教會堂トカ云フモノハ此二十七條ニ對シテハドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(斯波淳六郎君) 此直接ノ事ニ附イテハ、其時ニ各個ノ事柄ニ附イテ取調ヲ致シマシテ、サウシテ處分ヲ致シマスル譯デアリマスルガ……

○加藤弘之君 ア、云フノハサセマセヌカ

○政府委員(斯波淳六郎君) 御話ノ全體、外國人ノ立テタ寺ト日本臣民ノ立テタ寺トノ間ニハ差別ガアルカ如何ト仰ッシャル所ニ附イテハ同様ノ話デア

ルノデ……

○加藤弘之君 チョット御待下サイ、サウスルトにこらい會堂デモ三崎町ノ佛蘭西ノ教會堂デモ其教師トナルモノハ日本臣民ニ限ルガ、勅令ヲ以テ外國人ニモ許スト云フ主義デアリマスカ

○政府委員(斯波淳六郎君) 「特ニ認可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス」ト云フノハ、元ト委員會ノ修正說デ出來タノデアリマスガ、二十七條ハ政府ノ考ヘ

ル所ニ於キマシテハ此「特ニ認可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス」ト云フ以上ハ各個ニ其時其事柄ノ次第ニ依ッテ政府ガ許可スルコトナルデアラウト存ジテ居リマス

○加藤弘之君 ソレデアレバ總テ日本臣民タル者ガ教師ニナルノガ正則デアリマスガにこらい教會堂デモ三崎町ノ教會デモ矢張り其通りデゴザイマスカ

○子爵谷干城君 ドウゾ明ニ御答辯ニナルコトヲ願ヒマス、ドウモ曖昧ナ答辯デハ困ル

○政府委員(斯波淳六郎君) ハイ、原則ハ第二十七條デ斯ウ掲ゲテアル以上ハ日本臣民ニ限ルノガ原則デアリマス、併ナガラ特ニ認可ヲ得タル者ハ別デア

ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ原則ハドコドコマデモ日本臣民ニ限

ルコトニナッテ居リマス、唯特別ノ場合ニ於テ特ニ認可ヲ得テ外國人デモ教師ニナルコトが出来ルト云フ譯デアリマス

○子爵谷干城君 少シ御尋シタイ、サウスルト「特ニ認可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス」ト云フコトデアルガ、若シ認可ヲ得テ來ズニ依然トシテヤッテ居ッタナラバドウシマスカ、にこらい教會堂ノ如キ三崎町ノ教會ノ如キモノガ即チ此日本ノ此法律ニ從フ必要ガナイ、我々ハ即チ一己ノ德義ヲ以テ感化スル者デアルカラシテ、租税ヲ免ジテ貰ハウト云フ希望モナシ、徴兵ヲ免ジテ貰ハウト云フ希望モナシ、唯自由ニ人民ヲ教化シテ行キサヘスレバソレデ満足デアルト云フノデ認可ヲ受ケズシテ依然トシテヤッテ居ッタラドウナリマスカ

○政府委員(斯波淳六郎君) 認可ヲ得ナイ者ハ即チ第二十五條ニ申ス所ノ教師トハ稱シナイノデアリマス、教師トハ認メナイノデアリマス

○子爵谷干城君 ソレナラ教師ト認ラレヌデ依然トシテヤッテ居ルノハ問ヘナイノデアリマスカ

○政府委員(斯波淳六郎君) 教師ト爲ラヌ者ガ……教師デナクシテ若シ宗教ヲ宣布スル者ガアルナラバ是ハ其脇ノ條ニ據リマシテ其宣布ノ方法等ガ惡ルイトキニハ之ヲ取消サセルト云フ箇條ガ別ニ第十條ニアルノデアリマス

○子爵谷干城君 ソレナラバ若シ許可ヲ得ズシテ、サウシテ教師トハ稱セズ耶蘇教ナラ耶蘇教ノ道徳ヲ以テ同胞ノ者ニ示スト云フ所デ之ヲ維持シテ行ケバドウシテ取締ヲシマスカ、格別惡ルイ事ナスルノデモナク依然トシテヤッテ行クノハ私ハ此法律ニ據テ許可ヲ受ケル必要ハナイト思ヒマス、是ハ矢張り許可ヲ受ケンデモ布教が出来ヤウト思ヒマス、ソレナドウシテモ取締ルニハ日本へ來テ道徳ヲ説ク以上ニハドウシテモ此法律ニ據ラネバナラヌ、此法律ニ據ラネバ道ヲ説クコトハ出來ヌト云フ制限ヲ置クコトハ是ハ無理デアラウト思ヒマス、無理ト思フノミナラズ到底實行シ得ルト云フコトが出来ルヤ否ヤ、是ハ出來ルト云フ御見込ガアルカ、ソレナ伺ヒタイ、唯法律ニ斯ウアルカヲト云ッテ一時免レノコトヲシテ置イデモ、ソレデハドウモ今日行カヌコトト思フ

○政府委員(斯波淳六郎君) 第二十七條ニ附キマシテソレハ前ニ取締ルノ方法モアルト申シマシタガ、第二十七條ニ附イデハ判然タル規定ガ即チ第四十條ニアッタノデアリマス、即チ此罰則ノ第四十條ニ依レバ十分ナ取締が出来ル譯デアラウト存ジテ居リマス

○子爵谷干城君 唯此法文ニ依ッテソレヲ取締ルコトが出来ル、ソレデ取締が出来ルト仰ッシャルガ、私ハ實際今アル所ノ證ヲ引イテ申スノデ、法文ト云フモノハ捨置ケバ空文ニナッテシマフ、ソレデ又假令法ヲ作ッテ置イテモ實行サレヌ以上ハ大變ナ害ニナル、私共ハ斯ウ云フコトヲシテモ行ハレヌト云フノニ唯條ヲ引イテ辯解ナサルケレドモ到底是マデノ外務省アタリノ間ヌルイコトデハ此案ノ如キ取締が出来ルモノデナイ

○政府委員(斯波淳六郎君) 御答致シマス、第二十七條ハ日本臣民ガ教師ニナルコトヲ原則トシテ特ニ認可ヲ得テ居ル者ハ此限リデナイ、ケレドモ認可ヲ得ナイデ此事ヲ致シマシタラバ第四十條ニ依ッテ「第二十七條……ニ違背シテ教師ノ職務ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」トアリマスカラ、此條ニ當テルヨリ外仕方ガナイト思ヒマス

○子爵谷干城君 教師教師ト仰ッシャルガ教師ノ名義ハ必要ハナイ、教師ト爲ッタ以上ハ……許可ヲ得テ教師ト爲ッタ以上ハソレハ取締が出来ルデアリマセウケレドモ、許可ヲ得ズシテ十分道ヲ講ズルコトハ出來ヤウト思フ

○政府委員(斯波淳六郎君) 第二十七條ニ違背シテ教師ノ職務ヲ行ヒタル者ハ此罰ニ處スト云フコトニナッテ居リマスカラ此法文通りニ行ハル、ヨリ外仕方ガナイノデアリマス

○子爵谷干城君 教師ノ職ト云ウタ所ガ教師ト云フ名ガ附イタラ行ハレルダラウガ教師ノ名ガ附カズニ谷ガ一個人トシテ道ヲ説ク、或ハ自分ノ家ナリ又人ノ家ヲ借りテナリシテサウシテ道ヲ説ク、教師デモ何デナイケレドモ其説ク所ノ道ハ耶蘇ナリ孔子ナリノ道デアル、ソレナドウシテ取締が出来マスカ教師ト云フ名ガ附クト取締モ出來ヤウガ教師ト云フ名ガ附カズニ……

○政府委員(斯波淳六郎君) 四十條ニ當テラヌモノハ第十條ニ依ッテ其行爲ヲ取締ルト云フコトニ此修正案ハナッテ居ルノデアリマス

○子爵曾我祐準君 今谷君ト政府委員トノ御問答ノ所デスガ、私ガ脇カラ横槍ヲ交セルノハ妙デスケレドモ谷君ノ言ガ政府委員ニ徹セズ政府委員ノ言ハレタ所モ谷君ニ徹セヌト云フ有様デアルカラ、私が改メテ問テ起シマスカラ改メテ御答ヘ下サイ、教師ニアラズシテ説教ヲ爲シ得ルヤ否ヤト云フ問ヲ出シタガ一番早ク分ルト思ヒマス、二十五條ハ本法ニ於テ教師ト稱スルハ是ニ屬シテ是ニ從事スル者トアリマスカラ教師ト云コトノ名義ハ極ッテ居ルケレドモ説教ナスルノハ必ズ教師デアルト云フ譯デハナイト思ヒマスカラ、政府ハソレニ附イテノ説明ナナサッタラ明ニ分ラウト思ヒマス

○政府委員(斯波淳六郎君) 此事ニ附キマシテハ曾我サンモ委員ノ一人デア  
リマシテ能ク御承知ト思ヒマスガ、私共モ其方ヘ出テ伺ッテ居リマシタノデ  
アリマス、政府ノ解釋ニスレバ教派、宗派、教會、寺ニ屬シテ宗教ヲ宣布ス  
ルモノヲ教師ト稱スル、其教師ト爲ルニハ二十七條ノ規定ニ依ルヨリ外ハナ  
イ、然ラザレバ二十七條ヲ犯シテ若シ教師ニナルナラバ第四十條ニ依ッテ罰  
セラル、若シ其以外ニ或ル教師ト爲ラズシテ若シヤ一時一遍宗教ヲ宣布ス  
ルト云フヤウナ者ハ……演説サスルト云フヤウナ者ガアルナラバ、其行爲ハ  
第十條取締ルト云フノガ即チ委員會ノ御考デアッタカト考ヘマス、政府ハ  
サウ云フコトニ解釋ナシテ居ルノデアリマス

○子爵曾我祐準君 マダ少シ分リマセヌ、教師ニアラザル者デ説教サスルコ  
トヲ得ルヤ否ヤ、許スヤ否ヤ、説教ノ仕振ガ惡ルケレバソレヲ取締ルノハ分ッ  
テ居ル、ソレカラ教師ニ屬シテ居ルノヲ取締ルノモ分ッテ居ルガ、教師ニア  
ラズシテ説教スルコトガ出來得ルト云フ御考デアリマスガ、一遍二遍ト仰ッシ  
ヤルガ、度數デハ分リマセヌ、一遍ガ出來レバ百遍モ出來ルデアリマセウ、  
ソレダカラ教師ニアラズシテ説教ヲ爲スコトガ出來得ルヤ否ヤ

○政府委員(斯波淳六郎君) 此事ハ委員會デモ御論ガアッタト思ヒマスガ  
「從事スル」ト云フ辭ハ……其爲ニ執行ト云フコトガ第二十五條ニ書イテアリ  
マス「儀式ノ執行」ト書イテアリマス、「執行スル者」ニアラズシテ「儀式ノ執行  
ニ從事スル者」ト原案ノ通り直サレタトキニ色々ノ御話モアッタ通りデ、一遍  
説教サスルノハ此中ニハ這入ラヌト云フ考デアッタ、ソレダケヲ御答致シマ  
ス

○子爵曾我祐準君 マダ分リマセヌ、教師ニアラザル者ハ説教スルコトハ出  
來マスカ、出來マセヌカ、出來ルトカ出來ナイトカ其一言デ分ル、出來ル出來  
ヌノ界ヲ御答ガアレバ皆サンニモ疑ハ起ラヌト思ヒマス、ソレガ分ラヌモノ  
ダカラ皆サンガ御惑ニナルノデ、是ハ斯ウ云フ風デ行ケバマダ三時位掛リマ  
スガ、ソレデ教師ニアラザル者デ宗教上ノ説教ヲ爲シ能フヤ否ヤノ御答ヲ願  
ヒマス

○政府委員(斯波淳六郎君) 一遍ハ出來ルト云フ考デアリマス  
○子爵曾我祐準君 二遍ハ……

○政府委員(斯波淳六郎君) 其度數ハ御答申スコトハ出來マセヌ、ソレハ從  
事ト云フコトノ解釋如何デアラウト思ヒマス

○馬屋原彰君 本員ガ政府委員ニ御尋シタイト云フノハ第二十四條ノ場合デ

第二十四條ノ場合ニ於キマス「教派又ハ宗派ノ認可消滅シタル場合ニ於テ  
ハ……教會又ハ寺ハ其認可、許可ヲ取消サレタルモノト看做ス」ト斯ウアリ  
マス、所デ元來宗派ト申スモノハ此寺トハ別物デアラウト思フ、例ヘテ申シ  
タナラバ眞宗デハ本願寺派、禪宗デハ黃蘗派ト云フ如キモノデアッテ、是ハ  
唯名稱ダケデアッテ從來一ノ團體ト云フモノハナイト思フノデアアル、尤モ近  
來ハ其事務所ノヤウナモノガ一ツ置イテアルト云フコトデアリマスガ、是ハ  
モウ誠ニ微々タルモノデ團體ト云フ程ノモノデハアルマイ、詰リ管長ノ部屋  
位ノモノデアラウト思ハレル、然ルニ此法案デ見マスルト云フト其宗派ノ認  
可許可ガ消滅シタル場合ニハ從ッテ其一派ニ屬スル所ノ數多ノ寺院ノ認可許  
可マデモ同時ニ消滅スルト云フコトニナッテ居リマスルガ、是ハ本員杯ガ考  
ヘルニハ隨分苛酷ナモノデハアルマイカ、唯宗派ト云フモノノ一事務所ニ於  
テ法令違反ノ廉ガアッタトモ其派ニ屬スル所ノ多クノ寺院ニハ何モ關係ハ  
ナカラウト思フ、是ハ隨分苛酷ナヤウナ感ジヲ持ッテ居リマスルガ、實際斯ノ  
如キ苛酷ナル規定ヲ設ケネバナラヌト云フ必要ハドウ云フ點デアリマセウ  
カ明解ヲ願ヒタイ

○森山茂君 今ノ馬屋原君ノ質問ニ附帶シタコトデチヨット質問致シタイ  
○議長(公爵近衛篤磨君) 今政府委員ガ説明シマス

(政府委員斯波淳六郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(斯波淳六郎君) 今ノ馬屋原君ノ御尋ニ御答致シマス譯デア  
リマスルガ、此二十四條ハ政府ノ原案ト主意ガ異ッテ修正ニナッテ居リマス  
ル條デゴザイマス、其教派宗派ガ消滅シタル場合ニハソレニ屬シタ教會、寺  
ハ認可ヲ取消サレタルモノト看做スト云フノデ、政府ノ原案デハ三箇月内ニ  
認可ヲ仕換ヘレバ出來ルト云フ方ニナッテ居リマス、此事ハ委員ノ方カラ御答  
ニナッタ方ガ却ッテ明デアラウト思ヒマスガ其方ニ願ヒタイ

○馬屋原彰君 唯今政府委員ノ答辯デ見ルト、是ハ委員會ノ方デ修正ニナッ  
テ居ルカラト云フ御答デアリマシタガ、先刻以來此案ハ政府ハ全然同意デア  
ル、即チ是ハ委員デ取調ベタモノデアルケレドモ即チ是ハ政府案ト見テ宜シ  
イ、就イテハ便宜ノ爲デアルカラ委員ヨリハ政府委員カラ説明ニナッタ宜  
カラウト云フコトヲ先刻曾我子爵ヨリ發言ニナッタ位ノ次第デアル、ノミナ  
ラズ此意味ハ元ノ案ニモ是ハアッタコトデアルカラ此説明ヲ政府委員ニ願  
ッタ譯デアリマスルガ、今ノ御答デハドウモ要領ヲ得ナイ、私ガ尋ネタ  
ノハ、ソレハ成ル程三年經ッタラ一旦取消サレタモノデモ其手續ヲ仕換ヘテ

來レバ何遍デモ、消滅シタ寺デモ復タ興セルト云フコトデアリマセウガ、私ハソコヲ御尋シタノデハナイ、此上ノ宗派ト云フモノガ認可ヲ取消サレタ場合ニハ之ニ皆ズツト附屬シテ居ル數多ノ寺院ガアル、ソレマデ御蔭ヲ蒙ッテ同時ニ消滅スルト云フコトハ甚ダ酷ナコトデヤナイカト云フ、御尋デアル、併シ其規定ガアル以上ハ定メシ是ハ必要ナリト政府ハ認メラレル所ガアラウ其必要ナリトスル所ノ要點ヲ承リタイト云フデアリマス、ドウカ之ニ對シテ御明解ヲ願ヒタイ、尙ホ先刻四條ノ所デ御尋致シマシタガ、マダ之ニ對スル御答辯ガナイヤウデゴザイマスガ、是ハ全ク委員デ修正ニナッタヤウデゴザイマスカラ、松岡君カラドウカ明瞭ナル御答ヲ與ヘラレタイ

○松岡康毅君 先刻馬屋原君ノ御尋ニナリマシタ四條ノ教派、宗派ニ屬スル所ノ信徒ガ組織セムトスル結社ニ附イテハ管長又ハ代表者ヲ經由スベシトアリマスルノハ信仰ノ自由デ結社ナスルノハ事務官見タヤウナ管長ノ手ヲ經サセルト云フノハ不當デハナイカト云フヤウナ御問ノ意味ノヤウデゴザイマシタガ、是ハ書イテアル通りニ派ニモ屬シナイ所ノモノナラバ本文ノ通りデゴザイマシテ、但書以下ト申スモノハ其教派ナリ其宗派ナリニ屬シテ居ル所ノ信徒ノ結社ナスルノデアリマスカラ、管長ト申スノハ唯俗事バカリデナク宗教ノ……佛デゴザイマスレバ一派ノ一番上ニナッテ居ル所ノ即チ教務モ總督スレバ庶務モ總理スルシ、ドツチカト申セバ本分ハ宗教ノコトヲ統轄スルノガ管長ノ本分デアリマスカラ、決シテ唯ノ事務官ノ手ヲ經テ全ク違フ所ノ宗教上ノ事ノ許可ヲ請ヒニ行ク道筋ノ關門ヲ設ケタト云フガ如キ有様ノモノデハナイノデアリマス之ヲ經由スルノハ當然ノ事柄ト認メタノデアリマス

○男爵尾崎三良君 私モ一ツ質問致シタウゴザイマスガ、政府委員デモ特別委員デモドチラデモ宜シウゴザイマスガ、私ハ唯此條項ノ分ヲヌ所ヲ分ルヤウニサヘシテ御賞申セバ宜イノデ、別ニ之ヲ攻撃スルノデモ何デモナイノデス、分ルヤウニナッテ然ル後贊否ヲ決シヤウト思フノデス、ソコデ澤山アリマスガ先ヅ第一ニ第四條ノ但書ノ所ニ「但教派又ハ宗派ニ屬スル信徒ノ組織セムトスル結社ニ付テハ其派ノ管長又ハ代表者ヲ經由スヘシ」其派ノ管長ト云フモノハ唯今松岡君カラモ述ベラレタ通り其宗教派ノ一番上ノ先ヅ主宰者トモ申スベキモノデアアルヤウニ認メラレル、サウ思ハレル、本願寺ノ宗派ナラバ大谷某ト云フ人デアラウ、ソコデ先刻カラ段々賛同ノヤウデアルト外國ノ宗教モ皆是デ取締ルノダト云フ、シテ見ルト此ろーまん、かどろつく、杯ト云フ宗教ノ管長ハ誰カト云フト即チ羅馬ノ法王デアアル、此規定デアルト羅

馬ノ法王ノ手ヲ經由シテ日本ノ政府ヘ願出ルノデアルト斯ウ云フヤウニ見エルガ、サウデアリマスガ、ソレカラ此第五條ノ所ニ「慣例ノ許ス所ニ係ルモノヲ除クノ外宗教上ノ事項ニ關シ公衆ヲ會同スルトキハ發起人ハ開會二十四時間以前ニ會同ノ目的、場所及年月日時ヲ行政官廳ニ届出ヘシ」此又第三項デハ「主務官廳ノ認可又ハ許可ヲ得タル宗教團體ニ於テ公衆ヲ會同スル場合ハ前二項ノ規定ニ依ルノ限ニ在ラス」サウスルト豫テ認可ヲ受ケテ居ル宗教團體ナラバ説教ナスルトカ何トカ云フ場合ニ一々届ケナクテモ宜イ、ソレデ見ルト第一項ハ主務官廳ノ認可ヲ受ケテ居ラナイ説教トカ何トカ云フモノナスルニハ二十四時間内ニ届ケナクチャナラヌ、届キシナケレバナラヌト斯ウ云フコトニ見エル、シテ見ルト此宗教上ノ事項ト云フモノハ此法律デハ必シモ届出デタモノバカリ宗教上ノ事項ト見ズシテ、届出デテモ届出デナクテモ宗教ハ宗教ト斯ウ認ムルト云フヤウニ見エマスガ、シテ見マスレバ教師ト云フモノモ矢張り別ニ認可ヲ受ケナクテモ此宗教ノ教師タル職分ナ今日務メテ居ル人ハ矢張り宗教上ノ教師ト看做スノデアリマスガ、此外マデアリマスケレドモ餘リ多クナリマスルト錯雜スルカラ此點ヲ承ッテ置キタイ

○馬屋原彰君 唯今第四條ノ所デ松岡君カラ御答ガアリマシタガ、少シク要領ヲ得マセヌデ、今一應御尋ヲ致スノデアリマスルガ、松岡君ハ是ハ宗派ニ屬スル、屬スル宗教デアアルカラ其宗派ノ管長ナリ代表者ヲ經由シナクチャナラヌノガ當然デアルト云フ御答デアリマシタガ、全體宗派ニ屬スルト云フコトハ一體ドウ云フコトデアリマスガ、所謂首領ノ權ヲ持ッテ居ル是ハ附屬スル人間ノヤウナ御解釋ノヤウニ思ッテ居ル、是ハ宗派ニ屬スルト云フコトハ全體少シ文字ガ弊ガアルト思ヒマス、宗派、一派ノ宗派、所謂本願寺派ナラ本願寺派ノ宗旨ヲ信仰スル所ノ信徒デアリマス、屬スルト云フ字ハ一向重ミノナイ話、是ハ何モ宗派ニ附屬シタト云フ話デハナイ宗派ノ信徒ト云フ意味ニ違ナイト思フ、ソレデモウ一ツ御尋致シタイト思フノハ教派又ハ宗派ニ屬スル信徒トアル、若シ何ノ派ニモ屬セナイ信徒ハソレハ勝手ニ組織シテ宜シイカ、斯ウ云フ疑ガアル、ソレハドウ云フ意味デアリマスガ

○松岡康毅君 馬屋原君ニ御答致シマスガ、何ニモ屬シナイト申スノハ即チ今ノ但書ヨリ上ノ方ニアルノガ其事ニ當ルノデアリマス、御分リニナリマシタカ……

〔馬屋原彰君「チヨット議長」ト述フ〕  
ソレカラ何ニモ屬セナイ、何教ニモ何宗ニモ何寺ニモ屬セナイモノハ上ニ書

イタ通りノコトデアリマス、御分リニナリマシタカ……

〔馬屋原彰君〕是ハ如何デゴザイマセウカ「ト述フ」

ソレカラ但書以下ハ屬シテ居ルノナ書イタノデアリマス「屬スル」ト申ス字ハ書イタ通りデ此團體ニ屬スルト云フコトデアリマス、格別裏ノ意味モ表ノ意味モアリマセヌ

○馬屋原彰君 モウ一ツ伺ヒタイ、但書以上ノ場合ガ即チ何ニモ屬セヌモノデアル、斯ウ云フ御説明デスナ

○松岡康毅君 ハイ

○馬屋原彰君 是ハ如何デゴザイマセウカ、此四條ノ第一項ノ場合ハ信徒デナイト見込デ居リマス、是ハ僧侶、専門ノ宗教家ノ結社デアッテ而シテ但書以下ハ素人デアル信者ト斯ウ區別シテ居ルヤウニ思フガ、松岡君ノ御答辯デハ矢張り第一項ガ信徒ナリト云フ御答辯デアリマスガ果シテサウデアリマスカ

○松岡康毅君 ソレハ少シ辯ジ違カ御聞違カ存ジマセヌガ、上ノ方ハ何處ヘモ屬シテ居ナイ人ガ宗教上ノコトデ結社シヤウト云フトキニハ結社ノ認可ヲ受ケイト云フデアリマス、併シ何レカノ宗、何レカノ派ト云フ方ノ人達ガスルトキニハ云々ト書イテゴザイマス、此派ニ屬スルトナッテ居リマスレバ信徒トカ云フコトガ出來マスケレドモ、是等ニ至デハ何ニモ屬シテ居マセヌカラハ信徒トモ何トモ申シテナイノデアリマス、詰リ宗教上デ結社ヲ組織シヤウト云フトキニハ何人ニ限ラズ今マデ甲ナリ乙ノコトヲ信ジテ居ル人デアラウガナカラウガ、ソレニ拘ラナイ、結社スル時分ニハ斯様ナ手續ヲセヌケレバナラヌ、ソレガ但書以下ニ參リマシテ判然ト屬シテ居ル所ノモノハ管長ノ手ヲ經ルヤウニシロト云フマデノコトデアリマス

○兒玉淳一郎君 本員モ少シ政府委員ニ承リタイコトガアリマス、幸ヒ社寺局長ガ出デ居ラレマスカタ伺ヒマスガ、先刻松岡君ヨリ本員ハ箇條ヲ舉ゲテ御尋致シマシタガ、其御答辯ハ先刻以來ノ御話デ見ルト松岡君ヨリ説カレル所ノ委員會ノ修正案ニハ政府ハ全然御賛成デアルト云ウテ居ル以上ハ松岡君ノ御答辯ハ政府ニ於テ御承諾デアリマスカ、先ヅ之ヲ確メテ置キタイ、アノ意味ガ確ニ政府ノ御主意デアルカナイカ、ソレヲ承ッタ上デ御尋チ申シタイノデアリマス

○政府委員(斯波淳六郎君) 御尋ノ通りデス

〔男爵尾崎三良君〕先刻質問シタノハ「ト述フ」

○兒玉淳一郎君 本員ガ伺イタイノハ此宗教法案ニ宗教委員會ト云フモノヲ拵ヘテ其委員會ノ中ノ明文ニ斯ウ云フコトガ書イデアリマス「教派、宗派間ノ爭議及教規」……爭議ガアルト、此處デ宗教委員會デ決定サレルト云フコトデアリマスルガ、本員ガ考ヘマスニハ此宗教委員會ハドウ云フ工合ニ組織サレルカ分リマセヌガ、此組織ノ工合ニ依ッテ此事ガ效果ヲ見ラレルヤ否ヤト云フコトニ本員疑ガアリマス、語ヲ換ヘテ言ヘバ即チ宗派間ノ爭デアルカラ宗規又ハ教規ノコトガ附クニ相違ナイ、若シ是ガアルナラバ外教ナラバセクモガ分レル、日本デモサウデアアル、淨土宗デモ何レノ宗デモ岐レル、何箇宗ニモ岐レル、本員ノ考ヘマスル所デハ是ガ一定セラレルナラバ岐レル氣遣ハナイ、然ルヲ宗教委員會ニ於テハソレヲドウ云フ工合ニ見ラレルカト云フ御見込ヲ先ヅ承リタイ、其次ニハ此宗教ト云フモノハ御承知ノ通り外教ニシタラバ、神學校ヲ立テテ即チ一定ノ事ヲ教ヘ大學マデモ立テテ其處ニ於テ數年間修業ヲサシタ者ヲ集メテサヘモ論ガ岐レル、日本デモ其通り即チ議論ガ幾ツニモ分レル、サウ云フヤウナ場合デアアルノヲ、此宗教委員會ハドウ云フ工合ニ組織シテ是ハ爭議ガ決定サレルカト云フコトデ、愈々其事ガ決定ト云フ譯ダラウガ、此效果ノ所ハドウ云フ工合ニナルカ、政府ノ御見込ヲ承リタイ

〔政府委員斯波淳六郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(斯波淳六郎君) 御答ヲ致シマス、先程尾崎サンノ御質問デ第五條ニ附イテノ御質問ガアリマシタガ……

〔男爵尾崎三良君〕第四條デアリマス「ト述フ」

四條ニ付イテノ御質問、此四條ハ全然委員會ノ方カラ修正ニナッテ這入ッタ所ノ修正デアリマスカラ、是ハ委員ノ諸君ノ中カラ御答ニナル方ガ却ッテ宜カラウト思ヒマス

〔男爵尾崎三良君〕ソレナラドウカ特別委員ノ御方カラ御答ヲ願ヒマスト「ト述フ」

ソレデ第五條ニ附イテ御尋ガアッタヤウニ伺ヒマス、五條ハ全ク御尋ノ通り認可許可ヲ得ナイ者ガ公衆ヲ會同スル場合ニハ届出ナケレバナラマト云フコトニナッテ居ルノデゴザリマス、即チ第三項ノ主務官廳ノ認可、又ハ許可ヲ得タル宗教團體ニ於テ、公衆ヲ會同スル場合ハ、此届出ハ要シナイ、斯ウ云フ五條ノ意味デゴザリマス、今兒玉サンカラノ御質問ノ宗教委員會ノ點ニ於キマシテ、教派宗派間ノ爭議杯ト云フモノヲ、此宗教委員會デ決スルノハ餘程ムツカシクハナイカト云フ御質問ノヤウニ承リマシタガ、此宗教委員會デ

裁決スルコトハ勅令ノ定ムル所ニ依ッテ、事項ヲ定ムル積リデアリマシテ、其勅令ノ定ムル事項ノ中ニハ、此教義ヲ裁決ス、此教義ニ立入ッテ裁決スルト云フコトハ此勅令ノ中デ極メナイ政府ノ考デアリマス、是ハ最モムツカシイ點デアアル、而シテ又政府ガ其事ニ附イテ裁決スルコトハ政府相當ノスベキ所デハナカラウト云フ考デアリマス、此勅令ノ事項ニハ其御尋ノヤウナ問題ハ這入ラヌ考デアリマス

○兒玉淳一郎君 尙ホ伺ヒマスガ、ソレナラ裁決セヌモノナ何ゼ法文ニ御書キナサル、之ヲ承リタイ、裁決スル必要ガアルカラ法文ガ出來ル、尙ホモウ一ツ伺ヒタイコトガアリマスルガ、是ハ序ニ伺ヒタイノハ、アスコニ司法省ノ政府委員ガ御出ナサルカラ序ニ御尋ナシタイ、此中ニ斯ウ云フコトガ書イテアル、第五條ニ「慣例ノ許ス所ニ係ルモノヲ除クノ外」トアル「慣例」ト云フ字ガアル、ソレカラ先キニ四十二條ニ宗教ノ宣布又ハ儀式ノ執行ニ詐僞又ハ誘惑ト云フコトガ設ケテアル、是ガ即チ裁判官ガ既ニ法ヲ受取ッテ裁判ナスルノ結果ヲ見ナケレバナラヌガ、此事ハ如何ニ處斷シテヤラル、カ、甚ダ本員ハ疑ッテ居ル、ソレデ此慣例杯ト云フコトハ法文ノ解釋ニ入ルコトデアアルカラ、中々法文ノ政府ノ御立テナサル方ノ思フ場合ニ行カヌ、詐僞誘惑、是等ハドウシテ此教義ノコトニ立入ラヌカ、詐僞誘惑、是ハドウシテ宜シイカト云フコトヲ後デ司法省ノ政府委員ニ承リタイ

○政府委員(斯波淳六郎君) 今ノ第一ノ點ニ附イテ御答ヲ致シマスルガ、此「裁決ス」ト書キマシタコトハ、勅令ノ定ムル所ノモノダケナ宗教委員會ガ裁決スルノデアリマシテ、總テノ宗派教派ノ裁決ヲシナイト云フコトヲ表ハスガ爲ニ勅令ノ定ムル所ニ依リ、第三十四條第一項ニ書表ハシタノデゴザリマス

○馬屋原彰君 此二十條ニ於テ質問致シタウゴザリマスガ、二十條ト此第五條ニ牽聯シテ御尋ナ申シマス、此二十條ノ第三項ノ所デ「布教ノ方法」ト云フコトガゴザリマスガ、是ハ寺規則ノ所ニモアルヤウデアリマス、前ノ寺規則デナク、オシマヒノ教派ノ所ニアル、ソレデ此布教ノ方法ト云フコトハ、是ハ隨分範圍ノ廣イモノデアアル、例ヘバ說教モ一ツノ方法デアアル、演說モ又一ツノ方法デアアル、ソレカラシマスルト云フト、或ル宗派ニ依ッテハ加持祈禱ノ如キモ一種ノ布教ノ方法デアルト思ハレマスガ、此布教ノ方法ト云フコトナ此規則ニ記載スルト云フコトハ隨分困難ナコトダラウト思フ、縦シヤ書カシタ所ガ逆モ其本當ノコトハ書ケナイト云フノハ、方法ハ一ツノ方便デアリ

マスカラ、其所ニ依リ、人ニ依リ、時ニ依リ、其方法ノ宜シキヲ得ルト否トニアラウト思ヒマス、ソレハ姑ク措キマシテ、此規則ニ方法ヲ掲グルノデアリマスルガ、其方法ヲ掲グルコトニ附イテハ或ハ演說、或ハ說教、或ハ加持祈禱、又ハ寺院デヤルト云フモノカ、或ル場合ニ依ッテハ在家デヤルト云フ場合モアラウ、サウ云フコトヲ併セ此方法トシテ之ヲ書イテアッタトキハ第五條ノ場合デハドウシヤウ、第五條ノ場合デハ是ハ「慣例ノ許ス所ニ係ルモノヲ除クノ外宗教上ノ事項ニ關シ」云々トアルガ、寺規則杯ニモ明ニ書イテアル事柄デモ、矢張り此五條ニ依ッテ公衆ヲ會同スルト云フヤウナ場合ニハ矢張り届ケネバナラヌデアリマスカ、如何デスカ、ソレヲ伺ヒタイ、尙ホ先刻モウ一箇條御尋シテ置キマシタガ、是ニ附イテハ御答辯ガナイヤウデゴザリマスガ、是モ相成ルコトナラ願ヒタイ、即チ此宗派ノ許可ノ消滅シタル場合ニ同時ニ總轄シテ居ル所ノ數個ノ寺院マデモ消エテシマフト云フヤウナ點ニ附イテ御尋ナシタイノデゴザリマスガ、ドウカ其邊ノ御答辯ヲ願ヒマス

〔政府委員斯波淳六郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(斯波淳六郎君) 唯今ノ第五條ニ附イテノ御質問ニ附イテ御答ヲ致サウト思ヒマスルガ、五條ニ附キマシテハ唯慣例ノ許ス所ニ係ルモノダケハ届出ヅルニ及バナ、此如何ナル方法ニ依ッテ布教スルカ、苟モ公衆ヲ會同シテ布教ナスルト云フヤウナ場合ニハ、即チ第五條ノ第一項ガ要ルノデアリマス、公衆ヲ會同シテ布教スルヤウナ場合ニハ第五條ノ第一項ガ適用サル、譯デアアル、唯「慣例ノ許ス所ニ係ルモノヲ除クノ外」トアリマスカラ、從前ヨリ慣例デ許サレテ居ル講社ガ集ッテ會合ナスル等ノコトハ即チ慣例デ今マデ別段届モ何モナシ認可モナシ何モナイ場合デアリマスカラ之ヲ許シテ差支ナイト云フノデ、ソレダケヲ取除ケレバ其外公衆ヲ會同スルト云フ方法ヲ以テ公衆ヲ會同スルト云ッテ布教スル場合ハ第五條ニ依ル譯デアリマス

○馬屋原彰君 ちヨットモウ一ツ煩ハシタウゴザリマスガ、今ノ御答デ少シマダ本員ハ其要領ヲ得マセヌデゴザリマス本員ノ尋ネマシタノハ、此布教ノ方法ト云フコトハ豫テ主務省ニ御届ガシテアル、是々ト云フモノガ皆方法ガ明ニ其寺規則即チ教會規則杯ニ掲ゲテ政府ノ方ニハ出シテアル、其方法ヲ以テ公衆ヲ集メタリ何カスル場合ガ必ズアル、一方ノ方デハ豫テ御届シテアルノデモ矢張り此五條ノ場合ノ如ク公衆ヲ集メル場合ニハ一々届ケナケレバナラヌカト云フコトヲ御尋シタノデ、是ハ若シ五條ノ方デ豫テ届ケテアル方法ヲ以テ届ケナケレバナラヌト云フコトハ隨分煩ニ堪ヘヌ話デアアル、モウ是ハ

ソレヨリハ餘程確ニ規則ニ掲ゲテ、サウシテ主務省ノ許可ヲ得テ認可ヲ得テ居ル、サウスレバ其豫テ認可ヲ得テ居ルダケノ布教ノ方法デヤレバ是ハ何モ届ナスルニハ及ブマイト云フ疑カラ御尋シタノデアリマス

○政府委員(斯波淳六郎君) 今ノ御尋ニ附イテ御答ヲ致シマス、五條ノ第三項ト申スノハ即チ今ノ御話ノヤウニ「認可又ハ許可ヲ得タル宗教團體ニ於テ公衆ヲ會同スル」ト云フトキ既ニ此邊ノコトハ判明シテアルカラ別段届出スルニハ及ブマイト云フ即チ「前二項ノ規定ニ依ルノ限ニ在ラス」ト茲ニ示シテアルノデゴザイマス

○森山茂君 私モ少々質問ガアル、政府委員ニ質問致シマス、先刻第二條ノ

「又ハ寺院ヲ備ヘ宗教ヲ宣布シ又ハ宗教上ノ儀式ヲ執行スル」ト云フコトニ附

イテ松岡君ノ御答ニ「又ハ」ト云フ下ニ係ッテ「宗教上ノ儀式ヲ執行スルヲ以

テ目的トスル宗教團體」トアル、又ハ宗教ヲ宣布スル宗教團體ト云フモノガアル、之ヲ「二見ルト云フコトヲ申サレマシタガ、成ル程寺ニハ斯ウ云フコトガ

アルカ知レマセヌ、然ルニ第一條ノ方ニハ教派又ハ宗派ト稱スルモノガアル、

教派、宗派ト云フモノハ宗教ヲ宣布スルノガ主意ダラウト思フ、然ルニ「宗教

上ノ儀式ヲ執行スルヲ目的」ト云フコトニナッテ居リマスカラ定メテ是モ宗

教上ノ儀式ヲ執行スルヲ目的トシテ此葬式ヲスルトカ何ト云フコトダケナ

專ニスルト云フ宗教ガアルト見エルノデアリマスガ、實際ソナモノガ何處

ニ在リマセウカ、其御答ヲ願ヒタイ、苟モ宗派ト云ヘバ宗教ヲ宣布スルコト

ガ主意デ、即チソレヨリ始メテ寺モ出來、財團モ出來テ來ルト云フモノデア

リマセウガ「又ハ宗教上ノ儀式ヲ執行スルヲ目的」トアル、ソレハ唯葬式

ヲ扱フトカ唯儀式ヲ扱フニ止ッテ居ル宗派ト云フモノハ創カアリマセウカ、

其實例ヲ舉ゲテ御答ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレカラモウツ御尋申シタイ

ノハ第二章デアリマス、第十五條ニ「教規、宗制ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ」ト

掲ゲテゴザイマスガ、是ハ讀ンデ見マスレバ先ッ斯ノ如キコトヲサセルト云

フモノハ委員會ニ於テモ御論ガアッタト見エテ此筆記ノ上ニ現レテ居ルノデ、

始メテ承知致シマシタ、然ルニ此「宗教、教派又ハ宗派ノ名稱」ト云フ第一項デ

アリマスガ、此中ニハ宗教ト云フモノヲ掲ゲテアルノデアリマスガ、アリマセ

ヌカ、此事ヲ確メテ置キタイ、彼ノ委員會ノ速記ノ第三號ニ掲ゲテアリマスノ

ハ「眞宗本願寺派宗制」ノ中ニ「第一章宗祖見眞大師大無量壽經ニ依ッテ一宗

ヲ開キ之ヲ淨土眞宗ト名ク」第二章云々、第三云々ト斯ウアル、宗教ガ掲ゲテ

アル、然ルニ此宗教ト云フモノハ此度ハ掲ゲンデ宜イト云フ御考デアリマス

カ、之ヲ掲ゲルト何ゾ差支ガアリマセウカ、或ハ他ニアル教派等ノ爲ニソレ等ノ宗教ヲ掲ゲサスノガ少シムツカシイトカ差支ヘルト云フノデ斯ウ云フコトハ掲ゲサセヌ積リデアリマセウカ、ソレ等ノ所ヲ明ニ承ッタ上デ後ニ彼ノヤカマシイ箇條デアリマスルガ、彼ノ宗教委員會ノ問題ヲ質問ヲ致サウト思ヒマスガ先ッ以此二ツヲ承リタイト思ヒマス

〔政府委員斯波淳六郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(斯波淳六郎君) 御答致シマス、今ノ御尋ノ第一條ニ教派、宗派トアルノニ宗教上ノ儀式ヲ執行スル……

〔森山茂君「モウ少々高聲デ頼ミマス」ト述フ〕

宗教上ノ儀式ヲ執行スルノヲ目的トシテ居ル教派、宗派ト云フモノガアルカ

ト云フ御尋デアリマスガ、此事ハ宗教ヲ宣布シ宗教上ノ儀式ヲ執行スルヲ目

的トスルト申シマシテ如何ナル教派、宗派ガ出來マシテモ此ドチラカノ目的

ヲ以テ、無論兩方ノ目的ノモノハ無論ノ話デアリマスガ、ドチラカノ目的ヲ

以テ來テ居ルモノデ尙ホ教派、宗派ト云フ中ヘ込メルト云フ考デ第一條ノ

法案ガ原案ニモアッタノデアリマス、ソレデ唯一ツ掲ゲマスルト云フト或ハ

教派宗派ト云フモノヲ全體網羅スルノニハ足りナイ所ガアラウカト云フ所デ

此教派宗派ノ所ニ「宗教ヲ宣布シ又ハ宗教上ノ儀式ヲ執行スル」ト書イタ次第

デアリマス、又第十五條ノ事柄ニ附キマシテ宗教ノコトヲ何ゼ入レナイカト

云フ御話ガアルノデアリマス、此事ハ委員會ノ修正案ニ宗教ノコトハ別段書

イテアリマセヌ、政府ニ於テハ宗教ノコトヲ別段書カンデモ差支モナカラウ

シ又宗教ノコトニマデ立入ルベキモノデナカラウト云フ考デ、宗教ノコトハ

別段十五條ノ方ニ入レナイノニ政府ハ賛成シタノデアリマス

○森山茂君 尙ホ重ネテ御尋シマスガ、唯今第一條ノ御説明ハ極ク分ラヌ、

宗教上ノ儀式ト云フモノヲ一方ニスル宗教團體ガアルヤ否ヤト云フコトヲ尋

ネマスルノデアリマスカラ、ドウカ持ッテ回ッテ辯明シテ戴カナイデモ簡

短ニ斯様ナ宗旨ガ今現ニアル、斯様ナコトヲ指シテ云フノデアルト云フコト

サヘ一言承ッタラソレデ分ルノデアアル、ドウカ尙ホ一ツ承リタウゴザイマス

而シテ續ケテ問ウテ置キマスルノハ、此一條ノ中ニ修正委員ガ即チ變ヘラレ

タ文字デアリマス、即チ此「包括」ト云フ字デアリマス、總轄ト云フ字ガ原案

ニナッテ居リマシテ「總轄」ト云フ字ト「包括」ト云フコトトハドレダケノ違ガ

アリマスガ、總轄ト云フコトハ殆ド働キカケノヤウニ思ヒマス、包括ト申シ

團體ト云フコトガ一條ニモ二條ニモ同ジコトガアル、然ルニ同ジ寺ヲ宗教團體ト定メテ其團體ガ法人ト爲ルノデアリマス、而シテ第一條ノ宗派ト云フモノハ同ジ宗教團體ト云フ方ナラハハ法人ト爲ルコトガ出來ナイト云フ所ノ理由ハ、追々此委員會ノ速記録杯ヲ見マスルケレドモ到底之ヲ其法人トスルコトガ出來ヌト云フコトガ斯ノ如クアルカシテ其理由ガ分ラナイ、少シ明ニ見エナイ、私モ是ハ餘程目ヲ光ラシテ見タ、其愈々出來ナイト云フ所ガ……私ハ敢テ公法人トシマセヌデ之ヲ財團ト云フコトニ定メテ置クト云フコトハ何ゼ之ヲシテ差支ヘルカ、法人トシタ所ガ法人ノ制限サヘ出來レバ一向差支ハナイ、或ハ世間ニ言フ如キ……私ハ要ラヌト考ヘテ居ル、此邊ノ所チ今一應承リタイ、尙ホ唯今御答辯ニナリマシタガ、宗義ハ敢テ要ラヌト云フ積リデ委員會デ是ハ決シタコトデアリマススト云フコトデアアルケレドモ、是ハ唯今此處ニアリマス眞宗本願寺ノ宗制杯ヲ見マスルト是ハ大變ニ大切ノヤウニ思フ、斯ウ云フモノハ各派ニ於テ是等ハ極ク大切ト思ウテ居ルダラウト考ヘル、ソレチ斯ノ如ク抹殺シテモ或ハ是デ感服スルモノデアラウカ、一向削ッデモ效能ガナイ、銘々宗義ト云フモノヲ誇張スルト云フコトハ是ハ宗制ノ然ラシムル所、ソレチ削ルト云フコトノ主意チモウ一ツ分ラヌカラ委シク伺ヒタイ

〔兒玉淳一郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 何デス、兒玉君ハ……

〔兒玉淳一郎君〕序ナガラ政府委員ニ一緒ニ答ヘテ御貫申シタイカラ、一緒ニ尋ネタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ」ト述ブ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○兒玉淳一郎君 此法案ノ第十二條ノ場合ニアノ注文ヲ讀ンデ見マシタガ、サッパリ私ニハ讀メナイ、ソコデチヨット文ヲ讀上ゲマスガ「教派、宗教、教會又ハ寺ノ禮拜ノ專用ニ供スル土地建物ハ差押フルコトヲ得ス」ト斯ウ書イテアル、ソレデ持ッテ伺ッタガ、随分解サレヌ、ソレデ民事訴訟法杯ニ比ベテ考ヘテ見ル所ガ我々ガ持ッテ居ル物デモ唯差押ヘルコトハナイ、目的ハ何ノ爲ニ差押ヘルカ其目的ガ示シテナイ、本員ガ持ッテ……債權ガアリマセウカ、此法文ハ何ノ爲ニ差押ヘルト云フノデアアルカ、唯差押ヘルナラソレハ半紙一枚デモ唯差押ヘラレル、印ヲ捺キ……是ハ何ノ爲ニ差押ヘルカ目的ガ分ラナイ、何ノ爲ニ差押ヘルカ之ヲ明ニ御答チ願ヒタイ

〔馬屋原彰君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 何デス、馬屋原君ハ……  
〔馬屋原彰君〕「チヨット序ニ私モ質問シタウゴザイマス、宜シウゴザイマスカ」ト述ブ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○馬屋原彰君 チヨット今ノ一條デスカ却ッテ一緒ニ御答辯ニナル方ガ御便利デアラウト思ヒマスガ、此第一條ノ唯今森山君ガ御尋ニナリマシタ「包括」ト云フ字デアリマス、是ハ原案ニハ「總轄」トナッテ居ッタデアリマスガ、今度委員會デ是ハ包括ト云フコトニナッタ、デ政府ハ此總轄ヲ包括ニ變ヘタノニ御同意ニナッデ、是デ不都合ハナイト云フノデ御同意ニナッタデアリマスカ、本員杯ノ考デハ變ニ思フカラ御尋スルノデスガ、教會又ハ寺ヲ包括スルト云フト詰リ宗派ト云フモノノ中ニ包マレテ教會、寺ト云フモノハ入レ子ノ中ニ這入ッタヤウニナル、政府案ノ總括ト云フコトニナッタナラバ自ラ上カラ能ク即チ統轄スルノデアアルカ是ハ餘程事實ニ適當スル話デアアル、今度ハマルデ包ンダノデ、是ハ先ノ原案トハ大變ニ違フヤウドウモ變デアアル、然ルニ一體此教派、宗派ト稱スル所カラシテ文ヲ取ッテ考ヘルニ矢張り包含ト云フ字ガ相當スルト私ハ思フガ、此下ニ行ッテ「宗教團體」トアルカラ最モ變ニ思フ、是ハ唯宗派ト云フモノハ一ノ無形物デアッテ唯斯ウ云フ派デアアルト云フコトナラバソレデ宜シイ、ケレドモ其下ヘ持ッ行ッテ又團體ト云フ字ガアルカラ、ドウモ益々變ニ思フ、其邊ハドウ云フモノデゴザイマスカ、是デ矢張り不都合ハナイ矢張り包括デ宜イト云フ御見込デゴザイマスカ、一應承リタイ

〔政府委員斯波淳六郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(斯波淳六郎君) 追々ノ御質問ニ對シテ御答致シマスガ、此先ノ森山サンカラノ御質問デ宗教上ノ儀式ヲ執行スルノモノノ實例ガアルカト云フ御話デゴザイマスガ、此第一條ニ附キマシテハ第一條ハ教派、宗派ト申スモノノ定義ヲ定メタノデアリマスルカラ、實例ガナクトモ如何ナルモノニ對シテモ差支ハナイト云フ所ノ定義ヲ舉ゲタノデアリマスルカシテ、左様御承知アルヤウニ願ヒタイ、ソレカラ又今ノ馬屋原サンカラ御話ノアリマシタ此包括ト申ス文字デアリマス、是ハ包括ト爲ッテモ政府ハ別段差支ナカラウト云フ考デアアルノデゴザイマス、何ゼ斯ウ書カレタカト云フ所ハ委員ノ諸君ノ中カラ御答ニナッタ方ガ明デアラウカト私ハ存ジマス

〔村田保君發言ノ許可ヲ求ム〕

ソレカラ又兒玉サンノ御質問ノ十二條ニ附キマシテ差押ヘルト云フコトハ單ニ差押ト書イテアッテハ文面ガ分ヲヌト云フ御質問デアリマスガ、此差押ト申スノハ民事訴訟法ニ謂フ所ノ差押デアリマス、外ニ差押ヘルト申シマシテ唯紙ヲ差押ヘルト云フヤウナコトヲ意味シタ譯デハナイノデアリマス

〔村田保君「本員ハ議長ニ特別ノ請求ヲ致シタイ」ト述フ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 何デス

〔村田保君「特別ノ請求ヲ致シタイ」ト述フ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 何ノ請求デアリマス

〔村田保君「是ハ其延期ノ請求ヲ致シタイ」ト述フ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 請求ト云フノハ動議デスカ

〔村田保君「動議デ宜シウゴザイマ、ス併ナガラ議長ノ職權デ此會ヲ延バスト云フコトハ議長ガ本員ノ説ヲ御採用下サレバ議長ノ權内ニ在ルソレカラ此……」ト述フ〕

〔「無用無用」ト呼フ者アリ〕

〔村田保君「諸君ニ御諮リシタイ」ト述フ〕

〔「無用無用」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハイケマセヌ

○村田保君 ト申シマスルモノハドウモ此委員會ノ報告ハ一體ノ慣例ニ背イテ居ルト思フ、何ゼト申シマスルニ聊ノ事デハゴザイマスケレドモ、委員ノ報告ト申シマスルモノハ修正ヲ致シマスルノハ朱字デ……原案ト朱字ニ書分ケテ一目シテ分ルヤウニ報告ニナッテ居ル、然ル處ガ此度ノ報告ハマルデ作リ更ヘテシマッタヤウナコトデ一向分ラヌ、又今日受取りマシタ所ガ成ル程前後條ハ分ッテ居リマススケレドモ、併ナガラドレガ原案ヤラドレガ修正ヤラ中ノ容易ニ我共ニハ分ラヌ、然ルチバ我共ノ熟考ノ實ハ時間ハナイ、直グニ直チニ之ヲ二讀會ヲ開クベキヤ否ヤト云フコトヲ極メマスノハ少シクドウモ早計デハナイカト思フ、何ゼト申スニ此案ト云フモノハ既ニ委員ニ於テモ六十日以上モ掛ッタ案デアル、ソレチバ此處デ直チニ之ヲ議サセルト云フコトハ殆ド盲判ヲ捺スヤウナモノデ、ソレノミニナリマセズ一體斯ウ云フ案ト云フモノハ實ニ國家ニ重大ナル問題デアル、既ニ外國杯デハ重大ナル法律ヲ出スニハ二三年前カラ一般ニ示シテ、サウシテ出ス、所ガ本邦ノハサウデナク秘密ニ秘密ニシテ突然ニ議會ニ出シテ騒ガセルト云フヤウナゴトデ、容易ニ我共ハ之ヲ決メル譯ニモ行カズ、又先刻來政府委員ノ御答辯ヲ聞キマスト實ニ

要領ナ所ハ逃ゲテシマッテチットモ要領ヲ得ラレナイ、我共ニ満足ナ與ヘテ居ラナイ、ソレデ本員ハ斯ノ如キ案ハ倉卒ニ此處テ決メヌデ明後日マデ延バシテ戴キタイト思ヒマス、若シソレガ出來ヌト云フコトナラ斷然否決スル方ガ宜イ、斷然本員ハ否決スル積リデゴザイマス

○男爵西五辻文仲君 段々先刻ヨリ質問モゴザイマシタガ、本員ハ貴族院規則ノ九十六條ニ依リマシテ質問終局ノ動議ヲ提出致シマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 西五辻男爵ノハ直チニ討論ニ移ルベシト云フ意味デアラウト思ヒマス

○子爵谷干城君 質問終局ト云フコトハ何ニアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) アリマス、西五辻男爵ヨリ直チニ討論ニ移ルベシト云フ、之ニ同意諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス

〔「分リマセヌト」呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ討論ニ入りマス

〔「子爵曾我祐準君演壇ニ登ル」〕

○子爵曾我祐準君 諸君、此案ハ非常ナ重大ナ案ニシテ且ツ議員ニ於テモ質問ガ盛ニ出マシタ、是ハ蓋シ鐵道敷設法案以來デアリマセウ、又質問終結ト云フモ昨年アタリ出來マシタガ、確カ此院ニ實行サレタノハ始メテデゴザイマス、是ハ誠ニ質問終結ニ諸君ガ御贊成ナサッタノハ御尤ダト思ヒマス、到底質問位デハ分ラナイト思ヒマス、分カラヌト云ッテハ失禮デハゴザイマスガ、皆サンノ中デモ分ル者ガ一人モナイトハ申シマセヌガ、私ハ此案ニ附キマシテハ絶對的反對デハナイノデアリマス、宗教法案ト云フモノヲ作ルコトニ附イテハ絶對的ニ反對デハナイノデアリマス、宗教ノ取締モ随分アラウト云フコトモ感ジテ居リマス、サリナガラ今此ニ提出サレタ如キ案ニ附イテハ反對ヲ致スノデアリマス、今村田君モ申サレタ通り實ニ重大ナル問題デアリマス、且ツ宗教上ノコトハ古クハ千年以上我ガ日本ニ擴ガッテ以來ノ歴史ヲ經テ變遷ナシテ來テ居リマス、ソレチ一朝法律ノ中ニ入レヤウト云フノハマダ案ノ新シキ三五年或ハ十年二十年コノカタ來テ居ル所ノ法律ト古イモノト新シイ所ノモノト一緒ニ規則ニ入レヤウト云フコトデアリマス、尤モ先刻政府委員ガ辯ゼラレタ如ク、此法律ハ宗義デハナイ、宗義ノ修正ヲ書イタモノデハナ

イ、宗規デアル、即チ宗教ノ取締法デアル、宗教ノ取締方デアルカラ一ツノ規則ニ入レテ入レテレヌコトハナイト云フ御議論デアリマシタガ、中々サウ巧クハ入レテレナイト思フノデアリマス、且ツ宗教ト云フモノハ人ノ精神ヲ支配スル所ノモノデアル、非常ニ人ノ感情ニ片寄ルモノデアル、斯ノ如キモノハ倉卒ノ間ニ決メルト云フコトハ餘程ムツカシイ問題デアラウト思ヒマス、依ッテ宗教ノ取締ト云フモノハ國家ノ上ニ一ツノ法律トシテ決メルコトニハ賛成デアリマスガ、此處ニ提出サレタ所ノ案竝ニ修正案ニシテ出テ居ル所ノ案ニハ賛成ヲ致サヌノデアリマス、先ツ第一此案ヲ御覽下サイマセ、政府カラ初出サレタ所ノ案ハ如何デアリマセウ、私ハ委員ノ一人デアリマスカラ普通ノ諸君ヨリハヨク此案ヲ見テ居リマス、ガ第一條ニ「公」ト云フ字ガアリマス、公ト云フ字ノ説明ガ政府ニ出來ヌ、第一番ニ第一條ノ「公」ト云フ字ガアル、其「公」ト云フ文字ガハヤ説明ガ出來ヌノデアリマス云ヤウナ譯デ、殆ド徹頭徹尾十分ナ説明ヲ得ナカッタノデアリマス、斯ノ如クムツカシイ案ト云フモノハ貴族院……帝國議會始ッテカラ恐ラク出タコトハナカラウカト思フ位ニ讀ミ難イ文章デアリマス、段々講釋ヲ聞キマス、ドウカ斯ウカ政府ノ意旨ノアル所ヲ我クハ聞得マシタ、從ッテ修正案ニナリマシタ所ノ即チ委員ガ調べラレタ所ノモノハ文字ニ附イテハ諸君モ御分リニナリマセウ、文字デ讀ミ難イ所ハナカラウト思ヒマス、是ハ偏ニ松岡委員ノ御盡力デアリマス、サリナガラ主旨ニ於テ諸君ノ御了解ノ出來ヌノハ御尤ナコトト存ジテ居リマス、而シテ其日モ長イ會デアッテ、主意ニ至ッテハ甚ダ明瞭ヲ缺イテ居ルノミナラズ政府ガ非常ニ自信ヲ缺イテ居ル、何トナレバ速記録ヲ御覽下サッテモ宜ウゴザイマスをガ非常ニ此案ト云フモノハ徹頭徹尾原案デナクテハナラヌコトト主張サレタ、此處ガ惡ルカッタ此處ニ誤ッタト云フヤウナコトハ質問ノ間ハ一言モ言ハレナカッタ、然ルニ之ヲ作り代リニナッタモノニ全然形チノ變ッタモノニ全部賛成デアルト云フコトデアアルガ、初ハ脱兎ノ如ク終ハ處女ノ如シデ孫子ノ兵法トハ全然逆ニナリマシタ、政府ハ非常ニ何故ニ此案ヲ急ガレマスカ、其急ガレマスノハ何カ國家ノ政治上言ヒ難イ點ガアッテ急ガレルノデアルカト思ッテ、秘密會ヲ要求シテ半日、會ヲ秘密ニ致シテ承リマシタ、サリナガラ一ツモ其秘密ラシキモノモ殆ド得ルコトハゴザイマセヌデ、其秘密會ハ殆ド無効ニ歸シマシタ、シテ見ルト外ニ急グ主意ハ表面ニ言ハレヌコトガアルカト云フコトト我々ガ思ッタハ我々ノ僻目デアッタト云フコトガ明ニナリマシタ、本案ニ於キマシテハ不満足ノ點ハ澤山アリマセウガ、私ニモ澤山箇條ハアリ

マスガ今事々シク之ヲ舉ゲテ論ズル必要モアリマスマイ、茲ニ最モ不同意ト云フ點ヲ特ニ舉ゲテ一々御話ヲ致シタイト思ヒマス、ソレハ十三條デス、十三條ノ免租ト云フコトニ附イテハ私ハ絶對的ノ反對ヲ以テ居リマス、今日本ニ於テ寺、寺院若ハ堂宇即チ佛ニ屬スル所ノ寺、佛堂ノヤウナモノ、凡テ敷地ハソレ位デアルカラト云フコトヲ政府委員ニ調査シテ貰ヒマシタ所ガ一萬四千三百五十七町バカリデアリマス趣デゴザイマス之ヲ石ニ直シマス十四萬石バカリニ大凡ナラウト思ヒマス、此中ノ過半ハ無論官地ニナッテ免稅デアリマス、今日此法律ガ行ハレテ縱シヤ皆悉ク免租ニナリマシテモ今新ニ政府ガ失フモノハ此一部分デアリマス、一萬四千九百五十七町ト云フ中ノ小部分デアリマス、サリナガラ是ヨリ先キ幾ラト云フコトハ誰モ豫期セラレヌコトデアリマス、ソレノミナラズ神道並外教ニ對シテ教會及此宗教ニ用ヒル所ノ地面ノ廣サト云フモノハ政府デハ御調ガ出來ヌト云フ御答デアリマス、大凡ドノ位アルカト問ヒマシタ所ガ、ソレモ分ラヌ、此半分位アラウカ、半分ヨリズット少カラウト云フコトデ、ソレニ附イテハ調ガナイサウデアリマス、何トナレバ教會ノ如キハ府縣ニ任カシテアリマスカラ中央政府ニ纏メテ居ラヌニ依ッテ今日直チニ調べルコトハ出來ヌト云フコトデアリマシテ、今此法律ノ精神デ見マスルト悉ク佛ニ屬スル所ノモノヲ免租ニスルト云フ主意デモナシ、今日失フ所ノモノハ澤山アリマセヌ、サリナガラ是カラ先段々開ケテ行ク所ノ……進ンデ行ク所ノ即チ多ク出來テ行ク所ノ如何ナル宗教デモ、佛デモ神デモ耶穌デモ總テソレニ對シテ免租ト云フ譯デアリマスカラ、ソレハ幾何アルカ、是ハ測ラレヌコトデアリマス、サリナガラ今日ヨリシテ免租ト云フコトヲ特別ニ許スト云フコトニ附イテハ私ハ非常ニ好マナイコトデアリマス、舊來カラアル所ノ佛寺ノ官有地ニナッテ居ルモノヲ引上ゲヤウト云フ論デハナイ、既得權デアアルモノハソレヲ存シテ置イテ宜イ、縱シヤ今日私有地ノ佛寺ナリ、ソレ等ノ如キハ免租ヲシタクナイ、況ヤ是カラ新ニ開ケテ來ルモノハ免租シタクナイ、其理由ニ附イテハ色々考モアリマスガ、之ヲグドクドシク申スノハ諸君モ御好ニナラヌト思ヒマス、最早質問終結サヘ出タ位デアリマスカラ、ソレヲ推察シテソレヨリ多クハ申シマセヌ、ソレカラモウ一ツ最モ酷イノハ第四章デアリマス、教師ノ制限、即チ先刻谷君ノ御問ニ對シテ政府委員カラ答ヘラレマシタ……答ヘラレマセナカッタト言ハケレバナラヌ、答ヘムトサレタ所、答ガ出來ナイ、即チ斯ノ如キ鹽梅デ教師ト云フモノニ於テハ實ニ曖昧タルモノデ、政府委員ノ答モ得ラレナイト云フヤウナ譯デアリマ

シテ、到底又二十七條ノ如キハ實行ノ出來ヌコトデアラウト思ヒマス、實行ノ出來ヌコトヲ強ヒテ實行セムト欲スレバ種々ノ障ヲ惹起スノデアアル、法律ガアツテ或ル有力ナ所ニ對シテハ法律ノ一部ヲ曲ゲテ置クト云フコトハ甚ダ殘念ナコトデアアル、行ハレヌヤウナ法律ヲ作ルト云フコトハ御互ノ罪デアアル、即チ法律ヲ作ル者ノ罪デアアルガ、又法律ヲ決メタ以上ハソレガ行ハレヌト云フコトハ國家ノ耻辱デアラウト思ヒマスカラ、第四章デスガ、教師ト云フ如キハ甚ダ私ハ贊成ガ出來ヌノデアリマス、先刻モ申シマシタ通り質問モ盛ニ起リマシタガ、是ハナカナカ此議會中、餘日モアリマセヌガ、一日ヤ二日諸君ガ御問ナサレテモ逆モ御分リニナリマスミト思フ、聰明ナル諸君ノコトデアリマスガ餘程御分リ惡クアラウト思ヒマス、御分リノ十分ニナイモノナ無理ニ可決シテ通サウト云フコトハ即チ我々ト諸君ハ其責ヲ負ハナケレバナラヌ、碌々ニ法文ノ主意モ分ラズニソレヲ贊成シテ通過サセテ若シ後悔ヲ來タスヤウナコトガアツテハ其責ハ諸君ト我々ガ御一緒ニ持タナケレバナラヌ譯ニナル、是ガ何故ニサウ急グカ、今明日ニ決メナケレバナラヌト云フコトハ一向見出シ得ラレヌ、來年デモ再來年デモ宜イ、能ク時間ヲ與ヘラレタ以上ハ諸君ノ御勸考モアルダラウ、世間ノ輿論モアルダラウ、其決マル所ヲ以テ時勢相當ノ法律ガ出來ルガ一番國家ノ爲ニ宜カラウト深ク信ズルノデアリマス、今諸君ハ可トモ否トモ決セラレヌト云フ御考ノ御方モアリマセウガ、若シ可ト御決シニナレバ中ノ理窟モ能ク分ラズ、法文ノ主意モ十分ニ分ラズ贊成サレテガ法律ト爲レバ其責ハ諸君ガ持タナケレバナラヌ、斯ノ如キ場合ハ十分了解ガ出來ヌトキニハ是ハ延期ノ主意ヲ以テ否決シタイノデアリマス、ドウゾ願ハクハ諸君モ延期ノ主意ヲ以テ此否決ニ御贊成アラムコトヲ萬々希フノデアリマス、又サウ急ガヌナラヌト云フ理由ナ一ツモ見出サヌ以上ハ重大ナ事件ヲ重大ニ處スル爲ニ延期ノ主意ヲ以テ此際否決シテ置クガ頗ル相當ノ決議デアラウト本員ハ考ヘマス願ハクハ諸君、否決ニ御贊成アラムコトヲ希フノデアリマス

〔穂積八東君演壇ニ登ル〕

○穂積八東君 私ハ特別委員ノ一人デゴザイマシテ、此大切ナ法案ニ附キマシテハ隨分勉強ナ致シマシテ鄭重ニ審査致シマシタ、其審査ノ結果、私ハ委員ノ修正ニ贊成ナ致シマシテ之ヲ此議場ヲ通シテ成ルベク速ニ法律ト爲ルコトヲ希望スル者ノ一人デゴザイマス、其理由ヲ少シク辯明致シタウゴザイマス、申上ゲタイコトハ種々ノ點ガ多クアリマスルケレドモ、既ニ今朝來ノ此

長イ議場デゴザイマスカラシテ成ルベク簡短ニ申上グル積リデゴザイマスガ併ナガラ何分私モ熱心ニ申上グルコトデアリマスカラ、人ヲ見テ其言ヲ捨テズ能クドウカ公平ニ御聽取ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ此宗教法律ガ成立スルコトハ特ニ必要ガアル、曾我子爵ハ之ヲ急グ必要ハナイト仰セラレマスガ、之ヲ急グ必要ガアルト思フノデアリマス、先ヅ第一ニハ立法制度上カラ特別ニ之ヲ必要トスル理由ガアリマス、ソレカラ之ニ亞ギマシテハ國家ノ政策上大層之ヲ必要トシ、是非斯ノ如キ法律ヲ作ラナケレバナラヌト云フ必要ガアルコトヲ申上ゲタイノデアリマス、政策上ト申シマスト何カ普通ノ所謂政治家ノ言フ政略ト云フ意味ニ御解シニナツテハ困リマス、私ハ人ヲ操ツテ一時ノ勝敗ヲ決スルヤウナコトノ意味ヲ以テ政略ト云フノデアリマセヌ、國家前途ノ大計ト云フ意味ヲ以テ政略ト申スノデアリマス、其所以ハ是ヨリ一應述ベマスデアリマセウ、何ガ故ニ立法ノ制度上、宗教法律ガ必要デアルカト云フコトハ能クドウゾ御勸考ヲ願ヒタイ、我ガ憲法ハ既ニ實施サレテ十箇年ヲ越エテ居リマス、其二十八條ニ「日本臣民ハ安寧秩序ヲ妨ケス及臣民タルノ義務ニ背カサル限ニ於テ信教ノ自由ヲ有ス」ト云フコトガ宣言シテアリマス、憲法ガ第二章ニ於テ臣民ノ權利ヲ保障シマスルコトニ附キマシテハ例ヘバ言論ノ自由デアレ、出版ノ自由デアレ、所有權ハ侵スベカラザルコトデアレ、總テ臣民ノ自由權利ヲ擔保シマスルコトニ附キマシテハソレゾレ法律ガ出來テ憲法ノ宣言ヲ執行スル手續ニナツテ居リマス、然ルニ最モ此精神界ニ於テ大切デアアル所ノ信教ノ自由ニ附イテハ憲法ニ其宣言アルノミニシテ未ダ我々ガ依ツテ以テ我々ノ自由ヲ保障シテ貰ハウト思フ所ノ憲法施行ノ法律ガマダ出來テ居ラヌト云フコトヲ諸君ハ考ヘテ下サラナケレバナリマセヌ、憲法ニ於テハ「信教ノ自由ヲ有ス」トアリマスルケレドモ我々ハ今日ノ如ク又從來今マデアッタ如キ政府ナラバ宜シウゴザイマセウケレドモ、是カラ先キ如何ナル政府ガ出來テ來テ如何ナル信教ノ自由ヲ妨ゲルヤウナコトナスルカモ知レナイノデアアル、其時ニハ唯憲法ニ書イデアアルカラト云フダケデハ議論ニナツテシマツテ、手續ガ足りナイノデアリマス、此自由ヲ擔保スル所ノ法律ガアリマスレバ其法律ニ依ツテ裁判ノ手續モアリマセウ、之ヲ訴ヘテ、實行スル手續モアリマセウ、我々ガ我々ノ貴重ナル所ノ信教ノ自由ヲ擔保スル一ツノ堤トシテ、堤防トシテ宗教法ナ一ツ設ケテ貰ハナケレバ不安心デゴザイマス、ソレカラ制度上、矢張り之ヲ必要トスル所以ハ我々ガ外國ニ對シテ近ク締結ニナリマシタル所ノ各國條約ノ明文デゴザイマス、其各國條約ノ明文ニ

於キマシテハ日英條約第一條ヲ始トシテ各種ノ條約ニ悉ク皆明ニ公私ノ禮拜  
信教ノ自由ガ宣言シテゴザイマスル、而シテ其條約ノ文面ニ何トアリマスル  
カ、相互ノ國民ハ各々法律勅令規則ノ定ムル所ニ依リテ信教ノ自由ヲ有スル  
ト云フコトガ書イテアリマスルノニ、外國ニ向ッテハ恰モ我國ニ於テ宗教ニ  
關スル法律ナリ勅令ナリ規則ナリガアルガ如クニシテ條約ヲ結ンデアリマス  
ルノニ、諸君今マデ宗教ニ關シテ何ト云フ法律ガ出來テ居リマスル、何ト云  
フ勅令ガアリマスル、私ノ薄識……淺識ニシテ全ク如何ナル法律ガアルト云  
フコトヲ知リマセヌ、何ヲ以テ宗教ノコトヲ支配シテ居ルカト言ヒマスレバ  
成ル程太政官ノ御達ト云フヤウナモノハアリマセウ、其以下ノモノニ至リ  
マシテハ薄弱ナル内務大臣ノ手心デ指圖サスル所ノ訓令省令以下ノモノデ此  
大切ナルコトガ規定サレテアルト云フコトハ如何ニモ條約ノ文面ニ對シテモ  
薄弱極マル根據デハナイカト云フ恐ガアルデハゴザイマセヌカ、ソレガ故ニ  
外國ニ對シテモ斯ノ如ク對等ノ條約ヲ結ビ、信教ノ自由ヲ宣言シタル以上ハ  
内ニ於テモ適當ニ信教ノ自由ヲ保障スル所ノ法律及勅令ガ定ッテ居ル、備ヘテ  
セザレバ外國ニ對シテモ私ハ不面目ナルコトデハナイカ、是ハ一日モ忽ニス  
ルベカラザルモノデアルト思ヒマス、ソレカラ又少シ細カイ必要ナ理由ガ  
アリマスル、此事モ大切デアリマスルカラ細カイコトデアリマスルガ御注意  
ヲ願ヒタイ、ソレハ民法施行ノ結果デゴザイマスル、此議場ニ於テ諸君ガ御  
議定ニナリマシタル所ノ民法千幾條ノ中ニ宗教團體ノコトガ實ハ規定シテア  
ルノデアリマスルケレドモ、ソレヲ施行法ニ於テ取除キマシタデアリマス  
ル、民法ノ三十四條ヲ見マスルト宗教ニ關スル團體ハ法人タルコトヲ得ルコ  
トガ明言シテアルニモ拘ラズ其施行法ノ二十八條ニ於キマシテ當分ノ内……  
當分ノ内デゴザイマスヨ、諸君、當分ノ内、神社、寺院、祠宇及ヒ佛堂ニハ之ヲ  
適用セス」ト云フコトヲ諸君ガ御議定ニナリマシタ、ソレ故ニ如何ナル有様  
デアアルカ、商賣ノ組合デアリマシテモ、學問ノ組合デアリマシテモ、技藝ノ組  
合デアリマシテモ、公益ニ關スルモノハサツタ法人ノ組織ヲ以テ行カレル世  
ノ中ニナリマシタルノニモ拘ラズ宗教ニ關スル社團、財團ハ諸君ガ「當分ノ  
内」ト云ウテ押ヘテ御置キニナリマシタカラ法人權ヲ得ルコトガ出來ナイ  
ノデアリマス、我々世上ノ者ハ當分ノ内トアルカラ今ニ之蓋ヲ取ッテ息ヲサ  
セテ下サルダラウト思ッテ居ル所デアアル、ソレヲ斯ノ如ク唯一ツノコ  
トガシテアリマスルカラシテ此法律ヲ出サナケレバイカヌト云フ實際上ノ  
必要ガ益々起ルノデアリマス、當分ノ内トシテアルカラ何分ニモ今日此法律

ヲ作ッテ、サウシテ民法ノ三十四條ヲ活シテ宗教ニ附イテハ斯ク斯クノ條  
件ハ斯ク斯クノ種類ノモノニ附イテハ法人權ヲ與ヘルコトガ出來ルト云フ途  
ヲ開イテアルコトガ施行法ニ於テ世上ノ約束シタ所ノモノヲ履行スルト同  
ジコトデアッテ、之ヲ一日モ忽ニスベカラザル理由ト言ハザレバ、外ニゴウモ  
急グト云フヤウナコトハ甚ダ少イモノデアラウ、最モ急グト言ッテ宜シイモ  
ノデアラウト思ヒマスル、且又少シク法律メイタ話デ御退屈デアリマセウ  
ガ、尙ホ此大切ナル國家ノ議事デアリマスカラ辛抱シテ聽イテ下サイマセ  
イ、ソレノミナラズ今日ノ如キ有様デハ外ニモ一ツ不都合ガアリマス、民法  
ノ施行法ニ於テ何ヲ取除ケタカト云フト神社ト寺院ト祠宇、佛堂ヲ取除ケタ  
ノデアリマス、ソレガ故ニ其結果ハ何デアアルカ、今日耶蘇教ノ會ガ法人ニナ  
リタイト申シテ内務省ニ願出レバ民法ノ三十四條ニ依テ許サナケレバナラヌ  
ノデアアル、佛教ノ寺ガ法人ニナリタイト云ウテ來ルト云フト内務省ハ施行法  
ノ二十八條ガアルカラオ前共ハ當分ハイケナイ言ッテ押ヘルノデアアル、耶  
蘇教ノ方ハ今日施行法ノ取除ノ中ニ合ンデ居リマセヌカラ是ハ民法ノ三十四  
條ニ依ッテ直接ニ法人權ガ得ラルベキ有様ニナッテ居リマス、甚ダ是ハ不公  
平デアリマスル、耶蘇教ト言ヒ佛教ト言ヒ共ニ公益ニ關スル所ノ宗教デアリ  
マスルカラ同等ノ地位ニ置カナケレバナナイノニ、今日ノ立法ノ不備ナル  
ガ爲ニ耶蘇教ノ如キ教會ハ法人權ヲ得ラレ得ベキ地位デアアルノニ佛教ノ寺ハ  
法人權ヲ得ルコトガ出來ナイト云フ有様ニアルト云フコトハ是ハ甚ダ異例ノ  
コトデアッテ、是ハ一日モ早ク除イテ平等ニシナケレバナラヌト云フ理由ガ  
アリマスカラ、此法律ヲ以テ總テモノヲ平等ニ法人權ヲ與ヘル所ノ仕組ヲ  
シヤウト云フノデアリマス、ソレデモ御賛成ハ出來マセヌカ、能クドウゾ諸  
君其處ヲノ所ハ言葉ヲ以テ意ヲ害セズ能ク是ハ御參考ニナッテ御決シテ願ヒ  
タイト思ヒマス、其外申上ゲタイコトハマダアリマスル、唯今マデハ專ラ法  
律制度不備ヲ補フ緊急ノ必要ガアルト申シマシタガ尙ホ進ンデ國家全體ノ上  
カラ考ヘテ見マスルト宗教ト國家トノ關係程世ノ中ニ於テ大切ナモノハ少イ  
ノデアリマス、内外ノ歴史ヲ見マシテモ宗教ト國家トノ軌轢程恐ロシイ結果  
ヲ見タルコトハ言ハズシテ諸君ノ皆御承知ノコトデゴザイマセウ何デアアルカ  
其所以ハ何デアアルカト云フト……

〔分テッ居ル〕ト呼フ者アリ

是ハ御分リデアリマスナラバ少々略シマセウ、ソレガ故ニ國家ガ宗教ニ對シ  
テ如何ナル方針ヲ執ルカト云フコトヲ決定スル必要ガ今日目前ニ迫ッテ居ル

ノデアリマス、或ル國ニ於キマシテハ國教ト云フ主義ヲ執ル國モアリマセウ、一ノ宗教ヲ我國ノ唯一ノ宗教トシテ他ヲ排斥スル國モアリマセウ、或ハ白耳義ノ如キ國家ト宗教トハ兩々相對峙スルモノト致シマシテ、國家ニモ法律ガアリ、國家ニモ裁判所ガアリ、宗教ニモ裁判所ガアルト云フヤウナ工合ニ宗教ナリノ大權力大團體ト認メマシテ國家ニ必要ナル一ノ團體ト看做シタル制度モアルデアリマセウ、又ハ所謂法治主義ノ立法デゴザイマシテ宗教ノ團體ヲ國家ノ法律ヲ以テ支配スルト云フ主義モアリマセウ、凡ソ近世ニ至リマシテ佛蘭西革命前後以來、此三ツノ制度ノ外ニハ出テ居ラヌデアリマス、然ルニ我國ハ如何ナル態度ヲ取ルト云フコトヲ永遠ノ策トシテ今日ニ於テ決定セザルトキニ於テハ先キニ如何ナル不都合ヲ見ルカモ知レヌト思フテ其事ヲ甚ダ危險ニ思フデアリマス、ソレデ我輩ノ見ル所ニ依リマスレバ既ニ國教主義ノ時代ハ過去ッテ居ルト思ヒマス、而シテ外國ノ例ヲ見マシテモ宗教ナリノ權力團體ト認メテソレニ統治ノ權力ノ一部ヲ割イテ國家ト對峙セシムルト云フ邦國モアリマセウガ、是ハ國家ノ中ニ小國家ヲ造ルノデアルカラスノ如キコトハ今日ニ於テ許スベカラザルコトデアリマス、其二ツノ主義ヲ執ルコトガ出來マセネバ法律即チ國憲ヲ以テ宗教團體ヲ支配シテ平等ニ信教ノ自由ヲ保護スルコト云フコトヲ全ウスル方針ヲ執ラナケレバナラヌデアリマス、此方針ヲ執テ行クコトガ即チ此修正案ノ主意デアリマス、修正案ハ大體ニ於テ唯字句ノコトノミノ規定ヲ見テ我輩ハ賛成スルノデアリマセヌ、修正案中往々ニシテ私ハ大不同意ヲ唱ヘタ箇條ガ澤山アリマス、アリマスルケレドモ抑々字句ノコトヲ本議場ニ於テ如何ヤウニモ御研究ニナリマセウ、併ナガラ今日日本ガ將來ニ於テ或ル宗教ヲ國教トスルカ或ハ宗教ニモ權力ヲ與ヘテ國家ノ權力ト相軋ルガ如キ有様ヲ持タセルカ、或ハ法律ヲ以テ宗教團體ヲ支配シ得ル所ノ狀態ニアラシムルコトヲ必要トスルカト云フ問題ヲ決スルニハ今日此法律ヲ作ッテ決シテ置カナケレバ不安心デアリマス、今日ノ有様ハドウデアリマスカ、先刻モ申ス通り内務大臣ノ監督ノ權力ニノミ許シテ居ルノデアリマス、故ニ内務大臣ガ幸ニシテ我々ト同様ナ感覺ノ人デアリマシタナラバ諸宗ヲ公平ニ取扱フデアリマセウ、併ナガラ若シ不幸ニシテ我々ト反對ノ主義ヲ持ツ人デアリマシテ、特ニ佛教ヲ保護シタイトカ、特ニ神道ヲ保護シタイトカ、或ハ特ニ耶蘇教ヲ保護シタイトカ云フヤウナ人デアッテ、不公平ナル取扱ヲスル人デナカッタトキニハ法律之ヲ抑ヘテ置ク箇條ハナイノデアリマス、何トナレバ總テ宗教ノコトハ内務大臣ノ行政權ニ任ジテアルノ

デアルカラ、ソレデ將來ヲ慮ッテ見ルト如何ナル人ガ内務大臣ニナッデ之ヲ處置スルカト云フコトハ實ニ不安心デアルカラ、之ヲ法律ヲ以テ根本ノ主義ヲ定メテ置カナケレバ、將來ニ於テ内務大臣ガ今日ノ主義ヲ改メテ或ル特別ナル宗教ヲ特ニ保護シタイトカ、或ル特別ナル宗教ヲ特ニ排斥シタイトカ云フ心持ガ起ッタトキハ、自分獨リノ手心デドウデモ出來ルノデアアル、所ガ法律トシテ其主義ヲ定メテ置ケバ、若シ其主義ヲ改メヤウトスレバ法律改正案トシテ諸君ノ意見ヲ聞イタ上デナケレバナラヌト云フ保障ガ殘ルノデアリマス、ソレ故ニ國家ガ宗教ニ對スル方針ヲ法律ニシテ置ク、即チ將來ニ於テ之ヲ變更スルトキニハ再び我々ノ意見ヲ聞ケト云フノト同ジコトデ、將來ヲ束縛シ政府ノ權力濫用ヲ取締ルト云フコトニ附イテハ諸君ガ我々ノ意見ニ御同意下サッテ此案ニ賛成ナサラネバナラヌコトト存ジマス、尙ホ是カラ申上ゲタイコトハ澤山アリマス、併ナガラ今マデ反對ノ諸君ノ御議論ハハマダ急ギニモ及バヌ、トガ出來ナイノデアリマスル、唯我輩我々ノ御議論デハハマダ急ギニモ及バヌ、絶對的反對デハナイケレドモト云フ、失禮カハ知リマセヌガ稍々曖昧タル御反對ノミデアッテ……

〔子爵谷干城君「イヤ、此處ニ鞏固ナル反對ガアル」ト述フ〕

是ハ尤デアルト云フ所ノ鞏固ナル反對ヲ承ッテ、ソレカラ後ニ演臺ニ登レバ甚ダ宜カッタノデアリマスガ、先キニ致シタノハ甚ダ殘念デアリマスガ、併シ先刻來谷子爵ノ御質問ニナリマシタ所ノ趣旨ヲ承ッテ見ルト云フト大ニ外教ガ這入ッテ來テ外教ヲ取締ル規定ガ此宗教法案ニナイノ御慨歎ニナッテ……

〔子爵谷干城君「大間違大間違、大誤解大誤解」ト述フ〕

ソレナラバ私ハ長クハ申シマスマイ、後ニマダ同志ノ人モ澤山アリマスカラ簡短ニ述ベル積リデアリマシタガ、熱心ノ餘リ長クナリマシタ、併ナガラ前ニ申上ゲマシタ所ノ憲法及條約ノ體面ノコトモ御考ニナリ、且又民法及施行法ノ關係ニ附キマシテ今日ニ於テ宗教法案ヲ作ラズシテ置クトキハ佛教及神道ノ二ツハ内務大臣ノ干涉ヲ受ケツ、アルニモ拘ラズ耶蘇教ハ大手ヲ振ッテ何ノ監督ヲ受ケナイト云フコトヲ能ク腦底ニ置カレテ……

〔子爵谷干城君「法律ガ出來テモ同シコト」ト述フ〕

此法律ガ出來タナラバ總テノ宗教ヲ同様ニ取扱ヒマスルカラ、ソレデ耶蘇教ハ法人ト爲ルコトガ出來ル、佛教ハ法人ト爲ルコトガ出來ナイト云フヤウナ不公平ハナクナル、併ナガラ今日ノ狀態デ太政官ノ達以來、内務大臣ガ宗教ヲ監督致シ來ッタノハ神佛二道ニ限ッタコトデアリマシテ、耶蘇教ニ對シテ

ハ監督ヲ致シマセヌカラ却ツテ耶蘇教ハ自由ニナテ居リマス、此三ツノモノ  
ヲ各々公平ニ取扱フテ公平ナル監督公平ナル保護ヲ與ヘタイト云フノガ此修  
正案ノ趣意デアリマス、私ハ此趣意ヲ贊成シテサウシテ夜明ケマデモ此處デ  
辯ジタイト思ヒマスケレドモ、ソレデハ却ツテ諸君ノ御煩デアリマセウカラ  
殘念ナガラ演壇ヲ退キマスガ、ドウカ人ヲ見テ辭ヲ輕重セズニ能ク私ガ申ス  
コトヲ御勘考ナサツテ此案ノ必要ヲ認メテ之ニ御贊成アラムヤウニ願ヒマス  
コトデアリマス

## 〔都筑馨六君演壇ニ登ル〕

○都筑馨六君 諸君、私ハ此案ニハ反對ノ一人デアリマス、先刻カラ段々御  
質問モ出マシタシ、又議事モ餘程長引キマシタコトゴザンスカラ、成ルベク  
簡短ニ申述ベヤウトハ思ウテ居リマス、ナリサガラ餘リ簡短ニ失シテ悉サヌ  
ト云フコトガアツテモ困リマスカラ出來得ルダケ簡短ニヤリマス、此案ニ反對  
シマスニ附キマシテハ、先ヅ第一ニ贊成スル理由ヲ見ルニ苦シム、唯今贊成  
者ノ御一人ハ曰ク、民法施行法ノ中ニ法人ニ關スル規定ハ當分ノ内神社佛堂  
杯ニハ適用セヌト云フコトガ書イテアル、然ルニ耶蘇教ノコトニ附イテハ何  
等規定ハナイカラ、佛教神道ノ方ニハ法人ノ資格ヲ得ラレナイノニ耶蘇教ハ  
其資格ヲ得ルノハ不公平デアアル、宜シイ、不公平ナラバ民法施行法二十八條ノ  
中ヘ教會ト云フ二字ヲ入レル案ヲ御出シニナツタラ是程ヤカマシイ議論ハ出  
ナイ、サウシテ今贊成者ノ述ベラレルヤウナ目的ハ十分ニ達セラレルト思フ、  
又宗教ニ關シテ神佛兩教ニ關シテ規定ガナイト云フコトハマサカニ仰ッシャ  
ルマイ、是等ノコトニ附イテハ御維新以後習慣ニ習慣ヲ積ミ、規定ニ規定ヲ  
積ミ或ハ布告ト云ヒ或ハ布達ト云ヒ種々ナ規定ガ今日澤山出來テ居ル、是等  
ニ附イテハ十分規定ガアル、耶蘇教ニ附イテノミ規定ガナイ、宜シイ、ソレ  
ナラバ耶蘇教ニ附テノ規定ヲ御設ニナツタラ宜カラウ、併ナガラ此耶蘇教ト  
云フモノハ昨年七月我ガ法權ノ下ニ立ツタノデアアル、ドウ云フ組織ノ下ニド  
ウ云フ活動ヲ爲シツ、アルヤ、從ツテ如何ナル點ガ取締ルベキ點デアルト云  
フ事實ガ政府ダカラト云ツテ十一月マデニ分リヤウ答ガナイ、凡ソ拘束スベキ  
事實ヲ知ラズシテ、仍ホ拘束スベキ規定ヲ設ケルト云フコトハ恰モ泥棒ガ何  
處ニ居ルカヲ知ラズシテ繩ヲ振回ハスト同様デアアル、能ク其事實ヲ調査シテ  
御出シニナルト云フコトハ決シテ不同意ヲ唱ヘルコトヂヤナイ、ソレカラ又  
神佛兩教ニ附イテハ今日色々其缺點ガアルト云フヤウナ御話デアアル、併ナガ  
ラ如何ナル點ニ附イテ缺點ガアルヤト云フト唯今ノ贊成者カラノ御話ヂヤナ

イ、ソレハ委員會ニ於テ政府ノ理由トシテサウ云フコトヲ述ベラレマシタガ、  
如何ナル點ニ附イテ不十分ナコトガアリ、如何ナル點ニ附イテ直サナケレバ  
ナラヌト云フ理由ハ承ラナカッタ、ソレカラ又贊成スル者ノ中ニハ、成ル程此  
法案ハ或ハ少シ早カッタカモ知レヌ、併ナガラ一旦出テ社會ガ是程ニ騷立ツタ  
以上ハ之ヲ此儘ニ延ベテ置ケバ來年マデニハドレダケ騷グカ、今押附ケテシ  
マハウ、其方ガ國家ノ爲ニナルト云フ御論モアルヤウニ見受ケル、併ナガラ  
他ノ一方ニハ斯ノ如キ論ガアル、斯ク激昂シテ居ルモノヲ無理ニ抑ヘレバ益  
激昂シハシナイカ、餘リ嵐ニ逆ウテ進行スルトキハ遂ニ帆柱ヲ折ル、寧ロ嵐  
ヲヤリ過シテ平穩無事ノ海ヲ乗切ツタ方ガ宜イト云フ論モアル、私ノ見マシ  
タ所デハドツチガ正シイ論カ正直ノ所、分ラナイ、無理ニ通シテ益々激昂ス  
ルヤラ、或ハ之ヲ通サナイデ騷動ガ激シクナルヤラ、其邊ノ所ハ中々人間ノ  
識力ヲ以テ未來ヲ測ツテ判斷スルト云フコトハムツカシイ、分ラヌト云フノ  
ガ一番正直デアラウト思フ、斯ノ如ク騷イデ居ル者ガ、教育ヲ受ケテ居ル者  
ガ騷イデ居リマスレバ理窟ヤ證據デ十分押ヘ附ケマスガ、中以下、中以下ノ  
何モ分ラヌ理窟モ分ラヌ證據モ分ラヌ殆ド眼前ノ事實ヲ解スルノ能力ノナ  
イ中以下ノ人間ガ騷イデ居ルノデアリマスカラ、通常ノ原則ヲ以テ推測ルコ  
トハ出來ヌ、私ハ分ラヌト云フノガ一番正直デアラウト思フ、ダカラ餘リ贊  
成スベキ理由ノ強イモノハナイケレドモ、今穗積君モ言ハレタ通り早晚、宗教  
法ト云フモノハ必要デアアルニ違ナイカラ、此處ニ出テ未タ修正案ガ良イモノ  
ナラバ私モ贊成スルニ躊躇シナイノデアアル、然ルニ先刻カラ段々御質問モア  
テ諸君モ略御推察デモアリマセウガ、此修正案ト云フモノハ隨分缺點ノ多イ  
モノデアアル、ソレデ時サヘアリマスレバ一條カラ三十六條マデノ間、三四箇  
條ヲ除クノ外ハ疑ナキ餘地ノアルト云フコトヲ申上ゲテモ宜シイノデ  
アリマスル、ケレドモ其處ハ無論略シマシテ大體ニ於キマシテ其一二ノ缺點  
ト認ムベキ點ヲ申シマセウ、第一先刻會我君モ仰セラレタ通り不明瞭デアアル、  
非常ニ不明瞭ナ法案デアアル、我々立法者ニスラスノ如キ不明瞭ナモノヲ、之  
ニ拘束サレル坊主杯ハ如何ニ之ヲ解シ得ルヤ否ヤ、例ヘバ一條デ、是ハ殆ド諸  
宗教派ノ死活ニ關スル箇條デアアル、其同ジ教ヲ奉ジテ居ッテ一ツノ宗教ト云  
フモノガ幾ツモノ宗教ニ別レ得ルヤ否ヤ、又一ツノ宗教ト云フモノガ例ヘバ  
東本願寺ナラ東本願寺ガ全國ヲ五ツ六ツノ區劃ニシテ各々ガ宗教ニナルカ分  
ラヌ一ツノ宗教ト云フモノガ日本國中ニ五六箇ノ宗教ニ分裂ガ出來ルヤ否  
ヤ、同シ宗教デアツテサウ云フヤウナ五六箇ノ宗教ニナリ得ルヤ否ヤ、サウ云

フヤウニ佛教ナラ佛教ノ死活ニ關スル問題ニ對シテ政府委員ノ解釋ガ前後矛盾シテ居ッタノデゴザイマス、ソレハ確ナ事實デアル、初ハ出來ルト云フ御答辯デアッタガ後ニハソレヲ取消サレタ、而シテ今度ハ出來ルト云フ案ニ政府ハ再ビ御同意ニナッテ居ル、ソレカラ宗制ト云フモノガ民法上ノ契約デアルカ、公法上ノ命令デアアルカ、宗制教規ヲト云フモノハ宗教ニ取ッテハ憲法トモ申スベキモノデアアル、其性質ガ分ラナイ、修正案ノ立案者ノ一人ハ契約ノ如キモノデアルト言ヒ、又唯今穗積博士ノ御論カラ考ヘテ見ルト契約デアルト見テ居ラレハシナイカ、權力團體ト認メタト云フ御考ナラバ、ドウシテモ私法上ノ規定ト見テ居ラル、ニ違ナイ、然ルニ今一人ノ提出者ノ御論ハ私法上ノモノモアルサウデナイモノモアル、ト云フ御答辯デ、政府ノ説明員ノ言フ所ヲ聞ケバ教規宗制ト云フモノハ命令デアアル、命令デアルト云フ以上ハ公法上ノ規定ト見テ居ラレルノデアラウト思フ、斯ノ如ク宗教團體ノ憲法トモ申スベキ教規宗制ニ附イテスラ私法上ノ規定ヤラ公法上ノ規定ヤラ、又宗派ガ分裂シ得ルヤ否ヤト云フ大問題ニ附イテスラ或ハ政府委員ノ間、特別委員ノ間ニ於テ絶對的ノ反對ノ解釋ヲ許スヤウナ不明瞭ナ規定デアアル、又諸君ハ案ヲ御持デゴザイマセウガ、六條二項ノ規則ト云フモノト、二十條デアリマシタカニ書イテアル寺規則ト云フモノトハ全ク性質ヲ異ニシテ居ルモノダサウデゴザイマス、一方ノ六條ノ方ハ寺ノ規則トモ言ヒマセウ、一方ハ寺規則ト速ク言フヨリ外、區別ノ立テヤウハナイ、ドウ違フカト言ヘバ六條二項ノ方ハ全ク民法上ノ……第七條ニ依ッテ御覽ニナレバ分リマスガ、民法上ノ定款ノ如キモノヲ指シタモノデアアル、ソレカラ二十條ノ方ニアル寺規則ト云フモノハ色々住職ノ任免トカ、寺ノ色々モノヲ、何々ヲ許シト云フコトニ書イテアル、全ク性質ノ違ッタモノダサウデゴザイマス、同じ名前デ……ソレカラ又其他ニモ不明瞭ナ所ハ文字ノ上ニデモ澤山アルノデス、併ナガラソレヲ一々此處テ舉ゲマスコトハ煩ハシウゴザイマスカラ宜イ加減ニ切上ゲマス、次ニ此修正案ト云フモノハ實ニ前後不揃デ、支離滅裂ト云フノハ少シ過激カハ知リマセヌガ、不揃トマデハ言ヘル、例ヘバ地域ヲ區劃シテ認可ヲ受ケルト云フコトガアル、所ガ結社ノ方ハ地域ヲ區劃センデモ認可ヲ受ケルコトガ出來ル、大キクテモ結社ナラバ宜イ、小サクテモ教會ナラバ認可ヲ受ケルト云フノデ、結局教會ト云フ方ヲ重クスル積リデアッタニ違ナイ、然ルニデス、結社ノ認可ヲ經ヌトキニハ罰則ノ規定ガアル、教會ノ認可ヲ經ヌトキニハ罰則ノ規定ガ遺レテアル、又此教派宗派教會等ノ認可ヲ取消サレタ、其取

消サレタニ拘ラズ寺ノ實ヲ舉ゲ教會ノ實ヲ舉ゲル者ニ附イテノ規定ガナイ、是ハ忘レタノダ、是ガ一方ノ結社ノ方ニハ定規ガアッテ罰則ノ中ニチャント載ッテ居ル、ソレカラ又結社ハ小サイモノノ御積リデアッタカモ知レヌ、又結社ト云フモノハ法人ノ御積リデナカタラウト思ヒマス、然ルニ後ノ方ノ箇條ニ於テ宗派ヲ維持スルモノ又寺ヲ維持スル團體ハ法人ニナレルト云フコトガアル、デアリマスルカラ……ソレカラ宗派教派ニハ法人ト爲ルノ資格ガナイガ宗派ヲ有スル結社ナラバ法人ニナレサウナコトガアル、ソコデ一ノ團體トシテ宗派教派ニ屬シテ居ル、例ヘバ一萬人ノ信徒ガアレバ、其信徒ガ宗派ニ屬シテ居ル人デアッテ結社ヲシタナラバ、其結社ガ此宗教ヲ維持シ教派ヲ維持スル結社デアアルカラ同ジ一萬人デアッテモ法人ト爲ルノ資格ヲ持テルト云フヤウナ前後不揃ヒナコトガアル、ドウモ合議體ト云フモノハ一體修正案ヲ作ッタリ又合議體ト云フモノハ物ヲ作ッタリスルコトハ下手ナモノデアアル、人ノシタ事ヲ批評スルコトハ上手ダケレドモ……ソレカラ又其他ニモ大分前後揃ハヌ點ガアルケレドモ、ソレモモウ委シクハ申シマセヌ、ソレカラ第三ニ此法案……此修正案ヲ此修正通りニ行ッテ往ッタナラバ今日ノ宗教界ノ秩序ト云フモノヲ國家ノ必要ナキニ之ヲ棄スト云フ虞ガアルト云フコトヲ斷言スルニ私ハ憚ラヌノデアアル、ソレハ何ゼカト云フト譬ヘバ一ノ佛教教例ヲ舉ゲテ申シマスレバ宗派ノ分合ニ附イテハ何モ規定ガナイ、第一條ニ依リマズレバ此教會ト寺トヲ包括シテ居リサヘズレバ宗派デアアル、デアアルニ第十四條ニ依リマスレバ何人ト雖モ此宗派トナルコトヲ願フコトガ出來ル、是マデハ濫ニ寺ノ分合ハ許サヌ、宗派ノ分合ト云フコトハ許サヌト云フ規定ガアッタノデス、勿論分合ナスル時分ニハ管長ノ手ヲ經テ來ルノデ、アルガ管長ガ正當ノ理由ナクシテ拒ンダトキハ直チニ出ラレルケレドモ、要スルニ正當ノ理由ガアルコトハ……理由ガアル以上ハ管長ノ手ヲ經テ出ナケレバナラヌカラ、一方ニハ分合ト云フコトハ濫ニ出來ヌト云フコトデアッタ、即チ一方ニハサウ云フ手續ト云フモノガアルカラ分離ト云フコトハ出來ナカッタノデアアルガ、今度ノハ其規定ガナクナッタ、即チ此法律ガ其代リニナッテ來ルト云フト宗派ノ分離ト云フコトガ第十四條ニ依ッテ何處デモ出來ルコトニナリマス、扱其分離ト云フモノガ宗教團體ノ靜謐上ニ餘程ノ影響ヲ及ボスト云フコトハ免レス、デ摩擦軋轢ト云フモノハ餘程激シクナッテ來テ、曹洞宗ノ騒ギガアッタノハ諸君ガ御承知ノ通りデアアルガ、是カラ先キニハサウ云フ騒ギガ段々出來テ來ヤウト思ハレル、モウ一ツ申シマスレバ此教派宗派ト云フモノハ寺

又ハ教會ヲ包括スル宗教團體ヲ謂フト云フコトガアル、包括ト云フコトハ二個以上ノ寺トカニ個以上ノ教會トカ又ハ寺ト教會トカ、何カ二個ナケレバ包括ト云フ字ハ出テ來ヌヤウニ思ヒマス、又是ハ政府ノ原案カラ……考カラ來ッタノデアリマセウカラ多分サウデアアラウト思ハレル、一宗一山ノ宗派ト云フモノガアリマシタ、其他又一山ノ外ニ七十ノ教會ノアッタモノモアル、デ此教會ト云フモノガ佛教ノ要素デハナイノデ、現ニ一山七十教會ノモノモアリ、又前カラ一宗一山デ宗派デアッタモノモアル、即チ教會ト云フモノハナクナッテモ一宗一山デ宗教デアル、第一條ニ依リマスレバ此宗派ト云フモノハ七十教會ガナクナッタラ宗派タルノ資格ヲ失フノデアル、ソレモ今日ノ宗派ハ十四條ノ第二項デアリマシタカ此法律施行前ニ許可ヲ得タル教派又ハ宗派ハ本法ニ依レル教派又ハ宗派トスト云フコトガアリマスルケレドモ、其未來永劫宗派ト認メルト言フノデハナイ、即チ宗派ノ條件ヲ備ヘテ居ル間ハ別段ノ手續ヲ要セズシテ此法律施行後モ其資格ヲ持ッテ居ルト申スダケデ、此法律施行後ニ爲スベキ手續ヲシナカッタラ矢張り其資格ト云フモノハナクナリマスノハ無論ノコトト思ヒマス、デ何ノ必要ガアッテサウ云フコトナスルカ、今マデハ一山一宗デ宗派デアッタ、ソレカラモウ一ツ今マデノ寺ノ中ニハ二ツノ宗派ニ同時ニ屬シテ居ル寺ガアル、ソレハドウモ此包括ト云フ字ヲ遣フト一ツニ屬セヌナラヌカノ感ヲ起スノデアリマス、善光寺ヲ御覽ニナッタラ分リマセウガ、漸ク品川子爵ノ盡力ヲ以テ二ツノ宗派ニ兩屬……同時ニ二ツノ宗派ニ屬スルト云フコトニ内務大臣ノ裁決ガアッテ漸クニ治ッタノデス、若シアレナドッチカ一ツニ屬スルト云フコトニシタラバ又大騒動ガ起テ來ルノデアル、獨リ善光寺バカリデナイ嵯峨ノ大覺寺デモ矢張り其通りデアル、ソレチビッタリ包括ト云フコトデ極メタラ餘程騒ギナ起スト云フコトヲ免レヌト思ヒマス、又神教ヲ御覽ナサイ、今日神教ト云フモノハ斯ウ云フ組織ヲ取ッテ居ルノデス、町村毎ニ講社ヲ立テテ居ル、其講社ヲ總轄スルノハ府縣ノ教會デアッテサウシテ府縣ノ教會ヲ總轄スルモノハ教派デアアル、サウシテ講社ト云フモノハ矢張り宗教ヲ宣布シテ居ルノデアリマス、所ガコンダハ宗教ハ宣布シテ居ルケレドモ教會所ヲ持ッテ居ナイ、隨ッテ第二條ニ依ル所ノ教會ト云フモノニハナレナイ、サウカト云ウテ宣布ヲシテ居ルカラ結社モ出來ナイ、詰リ丸デ從來ノ組織ヲ解カナケレバナラヌト云フコトニナリマス、假ニ此講社教會ヲ一ツ備ヘタ所ガ之ヲ總括スル所ノ宗教團體ハ教派デアルカラ、結局府縣ニ今日在ル……全國ノ教派ノ組織ヲ廢メルカ否ラザレバ府縣ノ教會ノ組

織ヲ廢メテ全國ノヲ教派ニスルカ、ドチヲカニツニ一ツヲ取ラナケレバナラヌノデアアル、耶蘇教デモ此規定ヲ推シテ及ボシタラバ迷惑ヲシヤセヌカト思フ、迷惑ヲスルセヌニ拘ラズ耶蘇教ニハ羅馬教ノ如キハびしよつぷりト云フモノヲ設ケル居ル、ソレヲ認メテ何ノ利益ガアルカ、却ッテ全國ヲ通ジテ代表ヲ許スヨリハびしよつぷりト認メタ方ガ國家ノ自衛上ニハ都合ガ宜シ、耶蘇教ノ方ニモ都合ガ宜イ、ソレヲ其十把一カラゲニ大人モ子供モ男モ女モ同ジ袴丈ノ著物ヲ縛ラウトスルノダカラ、出來タ著物ハチャンチャラ羽織ヤラ著物ヤラ分ラヌト云フコトニナルノデ、ソレデドウシテモ其内部ノ組織ガ非常ニ違ヒ、活動ノヤリ方ガ非常ニ違ヒ、又國家既往ノ關係モ違ヒ、又今日ノ勢力モ違ヒ、將來國家ニ及ボスベキ影響モ違フ、其三ツノ違フ宗教ヲ一ツノ規程デ拘束シヤウト云フノハ餘程是ハ無理ナコトデアッテ、公平ノヤウデアッテ却ッテ大人ニハ小サク子供ニハ大キイト云フ如ク、却ッテ不公平ヲ來タデスアラウト私ハ固ク信ジテ居ルノデアアル、ソレデ其縛ルベキ物物ニ副ウテ規定ヲ設ケナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラモウ餘リ長クハ述ベマセヌガ、今一ツ甚ダ懸念スベキ疑ガアル、ドウカト云フト此宗教法ノ第六條ノ二項ノ規則ト云フモノハ七條ニ依ッテ見マスト民法ノ定款ト同ジヤウナルモノデアアルカラ理事ノ任免ニ關スル件、或ハ資産ニ關スル件トカ、或ハ宗教法ノ三條ニ書イテアル目的トカ、サウ云フヤウナコトデ……民法三十七條ニ列記シテアルヤウナコトヲ書カナケレバナラヌ、斯ウ云フコトデアラウト思フ、然ルニ此案ノ方デ見マノト寺規則或ハ宗制ノ方ニモ矢張り同ジモノヲ書カナケレバナラヌ、併シ理事ノ任免ト云フ代リニ住職ノ進退或ハ教會長ノ解職トカ、即チ教會長ト云フモノハ法人ヲ代表シテ理事ノ仕事ヲスル者、事務所ノ位置トカ云フコトノ代リニ教會所ノ位置トカ云フコトガアル、ソレデ三十七條ニ教會ノ位置ト云フコトガアル、民法三十七條及宗教法第七條ニ依ッテ宗教法第六條ノ二項ノ規則中ニ書カナケレバナラヌ事項ト云フノハ宗教法第四條ニ依リ宗制ノ内ニモ書カナケレバナラヌモノガ澤山アル、而シテ是等ノ事項ニ關スル爭ハ何處ヘ行クカト云フト六條ノ規則ノ方ニ書イテアルノハ七條ニ依ッテ定款ト同ジ效力ヲ持ツカラ、マカリ間違ヘバ民事裁判所ニ行カナケレバナラヌモノデアアル、然ルニ宗制ニ書イテアル分ハドウデアアルカ同ジ事柄ガ書イテアルケレドモ、唯一方ハ理事ノ任免ト書イテアリ一方ハ住職ノ任免ト書イテアル、事柄ハ同ジデアアル、宗教委員會デハドウ云フノチャルカト云ヘバ重ニ懲戒ノコトチャル、懲戒ノコトデアレバ懲戒免職ニ關スル爭議ハ宗教委員會

ヘ行カウト思ヒマス、サウスルト同ジ事柄デアッテ宗制ノ方ニ書イテアレバ  
勅令ノ規定スル所ニ從ツテ是ガ宗教委員會ニ行ク、ソレカラ規則ナリ寺規則ナ  
リニ書イテアレバ同ジ事柄デアリナガラ民事裁判所ニ行クト云フ仕組ニナ  
テ居ル、其主意ハ何カト云フト委員會デ政府ノ説明委員ノ言ハル、所デハ  
一方ハ命令デアアル、即チ教規宗制ハ命令デアアル、一方ハ私法ノ契約ト云フ如  
キ規定デアアル、ソコデ私法ノコトハ民事裁判所ヘ行ク、命令ニ書イテアルコト  
ハ宗教委員會ヘ行クト云フヤウナ主意ガソレガ根本デアッタト見エ、ソレ  
デ結果ハドウナルカト云フト事柄ガ民事デアアルニ拘ラズ……民事ニ近ヅクベ  
キ事柄ト同シ性質ノ事柄デアアルカラ、命令ニ書イテアラウガ法律ニ書イテア  
ラウガ性質上、民事タルノ性質ハ失ハナイ、ソレデ民事タル性質ノモノデア  
ルケレドモ宗制ニ書イテアルカラ宗教委員會ニ行クト云フコトニナル、而モ  
尙ホ勅令デ之ヲ宗教委員會ノ權限ニ付スルカラ宗教委員會ヘ行クスウナッテ  
居ル、サウスルト憲法六十條ニ云フ所ノ特別裁判所ト云フノトドウ違フカ、憲  
法六十條ト云フモノハ特別裁判所ハ民事裁判所ノスルベキ仕事ヲ分ケテ特別  
ノ裁判所ニヤラセルト云フノガ六十條ニ云フ特別裁判所デアルト思フ、例ヘバ  
外國デ設ケテアル商業ニ關スル民事裁判所、ア、云フノガ即チ特別裁判所ト  
思フ、其特別裁判所ニ於テ管轄スベキ事項ハ法律ヲ以テ之ヲ定ムト書イテア  
ル、ソレチ今度宗教ハ勅令デアラウト云フノデアアル、ソレカラ此五十何條デ  
アリマシタカ民事裁判所ノ權限ヲ規定シテ居ル所ノ五十七條ノ二項デアリマ  
ス、憲法ノ五十七條ノ二項ニ曰ク「裁判所ノ構成ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム」此  
裁判所ノ構成ト云フ内ニハ無論裁判所ノ權限ハ這入ッテ居ル、其權限ヲ勅令  
ト宗制デ伸縮スルト云フコトニナル結果ガアル、法律デ以テ普通裁判所ノ  
權限ハ極ッテ居ル、ソレチ勅令ト宗制デ伸縮スルト云フコトニナレバ五十七  
條六十條ニ明ニ規定シテアルノニ如何ニシテ背カザルヲ得ルヤト云フ疑ヲ私  
ハ起ス、無論斯ウ云フ御論モアルカモ知レヌ、行政裁判所ノ權限デサヘ勅令  
デヤルデアナイカ、ソレハ大變違フ、憲法六十一條ニ書イテアリマスガ其  
方ハマルデ書方ガ違フ、別ニ法律ヲ以テ定メタル裁判所ト書イテアルノミ  
ナラズ此事ト云フノハ行政裁判所ニ行キハシナイ、法律ノ規定ガ無ケレバ民  
事ハ皆民事裁判所ヘ行ッテ、行政事件ノ内デ勅令デ裁判所ニ裁判權ヲ付與シ  
タモノダケガ行クノデアアルカラ、如何ニ勅令デ定メテアルト云ッテモ民事裁  
判所ノ權限ニハ少シモ影響ヲ及ボサヌ、然ルニ今度ノハサウハ行カナイ、就  
中政府提出ノ原案ヲ御覽ニナリマセ「前項ニ依リ宗教委員會ニ於テ裁決スヘ

キ爭議ハ民事裁判所ニ於テ受理スルノ限ニ在ラス」ト云フコトマデ書イテア  
ル、而シテ之ヲ消シタ理由ヲ問ヘバ決シテ精神ガ變ッタノデナク先刻モドナ  
タカ御述ニナッタヤウニ權限爭議ノ規定ガ出來タナラバ自ラ權限ノ爭ハ宗教  
委員會ニ勅令デ付與シタ事件ハ權限以內ノ事柄トシテ權限裁判所ガ裁決スル  
ト云フノハ疑ナイ、ソレデ外ノコトナラモ角モ苟モ憲法ノ正條ニ或ハ觸レ  
ハセヌカト云フヤウナ大ナル疑ガナルナラバ當然此急速ハ止メテ十分ニ練リ  
ニ練ッタ曉ニ通シタ方ガ宜クハアルマイカ、甚ダ是ハ懸念ニ堪ヘナイノデ、  
無論私モ政府ガ熱心此案ノ通過セムコトヲ希望セラレテ居ルノハ知ッテ居  
ル、而シテ政府ノ意思ニ反對スルノハ甚ダ好マヌ、私ノ立場カラ申シテモ甚  
ダ遺憾ニ思フノデアリマス、併ナガラ斯ノ如キ法案ヲ通過サセテ今日マデ大  
ナル過ナキ政府ナシテ斯ノ如キ案ノ公布ノ責任ヲ取ラセルト云フノハ決シテ  
政府ニ對シテ親切ナル所以デハナイ、却ッテ最負ノ引倒シニ過ギヌト思ヒ  
マスカラ、私ハ正直ニ私ノ信ズル所ヲ述ベテ此案ノ通過ニ反對ノ意ヲ表シテ  
置キマス

〔松岡康毅君演壇ニ登ル〕

○松岡康毅君 諸君、私ハ本案特別委員ノ一人デアリマシテ殊ニ其中ニ就イ  
テ又修正ヲ託セラレタル五人ノ委員ノ一人デアリマス、修正ヲ加ヘマシタ  
事柄ハ私ノ考ガ大分多クアリマス、ソレ故ニツヒドウカスルト松岡案ト云フ  
ヤウナ名ニナリマシテゴザイマスルガ、成ル程私ノ意見ガ多クタニハ違ナ  
イガ、併シ穂積博士ノ意見モ這入ッテ居リマスレバ吉川男爵ノモ無論アリマ  
ス、中ニハ都筑君ノ御意見モ這入ッテ居ルノデ、全ク都筑君ノ意見ノ通りニナ  
タモノモアルノデゴザイマス、ソレハ強ヒテ辯ジマス必要モゴザイマセヌガ  
固ヨリ私ハ熱心ニ此原案ヲ通過スルコトヲ希望スルノデアリマス、デ私ノ意  
見ヲ申上ゲルニ先チマシテ同ジク修正ヲ託ラセレマシタ委員ノ曾我君又同  
ジク修正ノ委員ヲ託セラレタ都筑君、此僅カ五人ノ中カラ反對ノ御方ガ二人  
アルト申スノハ悲ムベキコトデアアルガ、而モ其兩君ニ限ッテ反對ノ演説ヲ此演  
壇ニマデ持出サレルトコトニナリマシタノハ誠ニ私モ苦シイ場合ニナッテ居ル  
ノデゴザイマス、ソレデ私ノ意見ヲ述ベマス前ニ唯今都筑君ヨリ御遠慮ナ  
ク此修正案ノ非難ヲ御並ベ下サッタコトデゴザイマスルガ、如何ニモ法文ノ間  
等ニハ不十分ナ廉モ極メテ多ウゴザイマセウ、決シテナイトハ自負スル譯ニ  
ハ參リマセヌ、唯一口ニ惜シイコトヲ致シマシタノハ都筑君ノ意見書ト云フ  
モノガアルノデゴザイマス、ソレハ諸君ノ御手許ニモ同ッテ居リマスシ私杯モ

二箇所ヨリモ受取ッテデゴザイマス、此意見書ト云フモノヲモウ少シ早ク委員會ニデモ御出シニナッテ此修正案ニデモ澤山這入ルカ若クハ全ク都筑君ノ意見ノ通りニ修正ニデモナッテ宜カッタカモ知レマセヌ、所ガ都筑君ノ意見ト云フモノモ、エライ異リハナイノデ、即チ特別委員會ニ於テモ逐條毎ニソレヲ並ベテ置イテ各熟考シテ、サウシテ私共ノ差出シテ修正案ニ對シテ都筑君ノ意見ノ取ルベキ所ハ成ルタケ取ラウト云フノデ、隨分ソレガ爲ニハ所々長イ議論ヲ闘ハシタコトモアルノデゴザイマス、ソレハ最早諸君モ御承知ニナッテ居リマスル通りノ意見デ都筑君ノハ大體、神道、佛教、耶蘇教ト斯ウ三ツニ分ケテ、サウシテソレゾレニ組織ヲ變ヘヤウト斯ウ云フノガ立意デアッタノデ、然ルニ本案ノ如ク一ツノ法ヲ以テ三ツノ宗教ヲ支配シヤウトスルノハ大人ニモ小兒ニモ合ハナイ著物ヲ以テ皆ニ著セヤウトスルヤウナモノデアルト云フ非難デゴザイマスガ、本員杯ハ又耶蘇教ノ組織ヲ外國風ノモノナ餘リ取込デ茲ニ法文トシテ陳列スルノハ宜シクナイト云フ考モアリマシタ、隨分特別委員ノ諸君ノ多數モサウデアッタラウト考ヘマス、ソレモ先ヅ格別惜ムベキ程デモナケレバ爭フベキ程デモアリマセヌガ、唯此修正案ニ附イテ大イニ攻撃セラレマシタ其事ガ立法上ノコトヤ或ハ司法ノ裁判、行政ノ裁判ト云フ所ニ關係スル法律上ノ議論等ニ對シマシテハ私ハ最早今日茲デソレヲ辯ズルノ時間モ餘リナイト信ジマスルガ、唯此況ク此頃ノ時勢ニ際シマシテ各宗派ガ壞レデシマフ、佛教徒ガ紊亂スルト云フヤウナ一點ハ關係スル所ガ甚ダ廣ウゴザイマスルカラ先ヅ以テ聊カ辯ジテ置ウカト存ジマス、外デモゴザイマセヌガ都筑君ノ說ニ此宗派ノ分合ト云フモノハ決シテセラル、モノデハナイ、一宗一團ト云フモノガ原則ニナッテ居テサウシテ今マデハ法規モアルコトデ分合ガ出來ナイノデアアル、然ルニ修正案見ルト第六條トカノ所デ、イヤ十四條トカ仰ッシャッタ、ドレデモボンボン宗派ガ岐レテシマフヤウナコトニ……分合スヤウナコトニナルデアラウト云フコトデゴザイマシタガ、是ハ少シ大間違デアラウト思フノデ、其ヤウナコトナ此頃ノ佛教僧徒ヤ信徒ガ聞キマシタルト定メテ此上ノ恐慌ヲ起ステアラウカト思ヒマスガ、決シテ此法律ヲ施行ニナリマシテモ其以前ト以後トノ區別ハナイノデアリマス、從來ノ所ニ於テモドコドコマデモ分合ノ相成ラヌト云フ法律ハ決シテアリハシマセヌ、分合ノ出來ナイト云フ法律モナケレバ規則モ無イ、明治十七年ノ布達第十九號ハ妄ニ分合喧嘩スベカラズ妄ニスベカラスト云フデアッテ、ソレダケノ道理ヲ具ヘテ認可ヲ受ケレバ出來ルノデアアル、出來ナイト一概ニ禁ジタノデハナイ、

其時分ノ法文デアアルカラ少シ文章ガチカシイガ妄ニ分合喧嘩スベカラスト云フノデ、分合スベカラズト申シテモ、スベキ道理ガアッテスルノナラバ認可ヲ受ケレバ許サヌコトハナイノデ、併シ妄ニサセナイト云フノハ適當ノコトデアリマシテ、妄ニ本山ヲ離レテ獨立スルト云フヤウナコトハ是ハ既往ト雖モ將來ト雖モ我國ノ宗教ノ有様ニ於テハ宜シクナカラウト本員モ固ク信ズルノデアリマス、ソレ故ニ此修正案ニ於キマシテモ政府原案ノ通りニ致シマシテモ濫ニ分合サセルト云フコトハ決シテアリマセヌ、併ナガラ此文字ノ書キ方ニ依レバ分合ノ出來ナイコトモナイ、サウシテ見レバ幾ラモスルカモ知レヌト云フヤウナ解釋モ隨分出來得ラレマセウ、併シソレニ反シテ如何ナル事タリトモ分合ハ相成ラヌト云フヤウナコトハ又今日物ノ進化シテ參リマスル所ニハ餘程ムツカシイコトデアアル、殊ニ之ヲ既往ニ徵シテ見マシテモ同一安神ヲ持ッテ居ル所ノ宗教ト雖モ必ズ一派ニハ止ッテ居ラナイノデアアル、禪宗ノ中ニハ少シモ異ラナイ教規宗制ヲ出シテ居ル所ノ……意味ニ於キマシテ其教規ト云フモノハ少シモ異ッテ居ラナイデ禪宗何派何派ト三派ニモ四派ニモ岐レテ居リマス、以前ニ於テモ同一派ノモノデ其通り數派ニナッテ居ルノデアアル、已ニ既往モサウデアアル、將來モ何處ドコマデモ同一派ノモノハ同一ニ止メテシマフト云フコトヲ法律ガ羈束スルト云フコトハ餘リ宜シクナイト思フ、ケレドモ歸スル所妄ニ分合スルノガ宜クナイトハ御同感デアリマス、法文ノ上ハ妄ニサセル趣意デモナケレバ現今マデノ所ト違フ程ノ意味ヲ以テ拵ヘタモノデハナイノデアリマス、是ハ大キニ世間ヘ影響致シマスルカラ特ニ都筑君ノ御說ニ對シテ一ト通り辯ジテ置キマスル扱此法律ヲ今日制定スルノ必要ノ有無等ニ附キマシテハ穂積君ヨリ先刻誠ニ明ニ詳ニ御演說ニナリマシタカラ私共ハ最早其事ヲ申ス必要ヲ免レマシテゴザイマスガ、抑、本案ノ議會ニ提出サレマスルニ先ヅテ餘程以前ヨリ世間ニ於テモ此度ノ議會ニ宗教法ト云フモノガ出ルト云フコトハ世間デ相傳ヘテ分ッテ居マシタコトデアリマシタ、其時分ニ私共ハ宗教法ト云フモノガ出タナラバ誠ニ是ハ困難ナモノデアアル、尋常普通ノ法律規則デアアルナラバ法律ノ理窟ナリ議論ナリト云フモノハ大抵筋ノ極ッタモノデアリマスルカラ其方ハ先ヅサウムツカシイヤウデモムツカシクナイ、唯宗教ノ關係、宗教ニ關係スル所ノ法律デアレバ餘程ムツカシイコトニナルデアラウ、如何トナレバ宗教ノ信徒者ト申スモノハ比較シテ見マスルト其大多數ト云フモノハ所謂頑冥ト云フヤウナ方が多イノデアリマス、宗教ノ果シテ具意蘊奧ヲ能ク究メテサウシテ信ズルモノハ極ク少イ、多數ハ皆ナ所謂迷

信トカ頑冥トカ云フヤウナ譯デアリマスルカラ、夫故自己ノ信ズルコトニ厚クシテ他ヲ排撃スル念慮ノ盛ナルト云フコトハナカナカ常理ヲ以テ論ズルコトモ諒スコトモ出来ナイデアルト云フコトハ是ハ今日ニ始ッタコトデモゴザイマセズ、古今内外國ノ事歴ニ徴シマシテモ孰モ其通リノコトデゴザイマスル

○議長(公爵近衛篤磨君) ドウカ議場ノ入口デ話ハ御免ヲ蒙リマス

〔子爵谷干城君〕モウ大抵デ宜シウゴザイマス……私モ言ハウト思ヒマスガ鞏固ナ反對ガ出タカラ、ソレデ宜イト述フ

○松岡康毅君 御尤デゴザイマス、成ルタケ短ク簡單ニ致シテ私モ壇ヲ降ルコトニ致シマスガ……

〔子爵谷干城君〕ヤラウト思ヘバヤレル……簡短簡短ト述フ

此案ノ知レ渡リマシタ以來ト申スモノハ如何ナモノデゴザイマセウカ、此世間ノ騷ヤシイコト、先ヅ各宗僧徒ノ狂奔スルコト又其檀信徒ノ集合チスルコト……

〔子爵谷干城君〕ソレハ御説デナウデモ分ッテ居ルト述フ

其甚シクナッタ所ト云フモノハ如何ナル所ニ原因シテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見ルコトハ最モ必要デアル……

〔簡短ト呼フ者多シ〕

其所ヲ追究シテ見マスレバ第一政府ノ原案ノ文辭ガ不明瞭デアッタト云フコトハ一ツノ責ヲ免レナイコトデアアル、其次ニハ法文ヲ解釋スル知識ニ乏シイ徒ガ大變ニ驚イテ騷イダノガ是ガ又廣大ニアアル、モウ一ツ惡意ノ者ヲ見出しテ見ルト故ラニ法文ヲ曲解シテ分ッテ居ナガラモ分ラナイヤウニ無理ニゴザ附ケテ曲解チシテ、サウシテ知ラナイ所ノ多クノ信徒ヤ俗人ヲ誘導シテ其勢力ヲ利用シテ、サウシテ一ツノ目的ノアル所ニ到達セムトスルト云フコトガアルノデアリマス、又甚シキニナリマスルト此學者ノ中ニ國ノ情態モ歴史ノ事實モ能ク辨ヘズシテ妄ニ外國ノ外形ヲ見テ來テ、サウシテ自分ノ思フ所ノ學說ヲ僧侶ノ頭ニ注ギ込シテ公法人……宗教ノ團體ト云フモノハ公ケノ法人組織ト爲ルモノデ私法人杯ニスルモノデナイゾト云フヤウナコトヲ僧徒ノ頭ヘ注入シタ、僧徒ハ元來法律杯ニハ餘リ長ジテ居ナイノガ當然デアリマスル、所ガサウ云フ生學者ノ説ガ行ハレテソレヲ僧徒ノ頭ヘ注ギ込シテ第一番ニ國教ヲ言ヒ出シ、ソレカラ公認教ヲ言ヒ出シ、ソレカラ公法人ト云フコトヲ言ヒ出スト云フヤウナコトニナリマシタ、是等ガ皆此誠ニ世間ヲ騷ヤシク

スル所皆此種デアリマスルガ……

〔簡短ト呼フ者多シ〕

唯今其法文ヲ誤解シテ居ル所ノ一二ヲ申サヌケレバナラヌト存ジマスルノハ、原案ハ寺ヲ單位トスルカラ惡イ、寺ヲ法人トシテ宗派ヲ法人トシナイカラ惡イ、本山末寺ノ關係ヲ打破シテ居ルカラ惡イ、ソレカラ獨リ佛教ヲ殊更ニ優等ノ地位ニ置カズシテ新來ノ宗教ノ纔ニ成立ッタ所ノモノモ神道モ同様ニ扱ハウトスルノガ甚ダ當ヲ得ナイ、殊ニ耶蘇教杯ニハ何程カノ條件ヲ附ケテ之ヲ認可スルニハ幾分カノ不自由ヲ與ヘルヤウニシナイノガ惡イ、斯ウ云フ……

〔子爵谷干城君〕サウ議論ヲ並ベ立テラレテハ困ルデス……採ルニ足ラヌト述フ

採ルニ足ラヌト云フコトヲ能ク御認メ下サレバ満足致シマスガ、斯ウ云フ趣意デアリマシタ、今ノヤウナ議論ヲ以テ多クノ人ヲ惑ハシテ居ル所ノ人ハ此修正デ總テ満足ヲ得ルデアラウト思ヒマス……

〔子爵谷干城君〕シテ居ナイト述フ

ソレ故ニ分ッタト云フ人モ分ラナイ、此本案ノ大體ニ於キマシテハ政教ヲ分離シタ、政教分離ト云フ所ニ大原則ヲ取リマシテ全編ニ互ッテ其趣旨ハ貫徹シテ居リマス、是ガ佛教ノ僧徒杯ガ動モスルト獨リ權利ヲ獨占シヤウト云フ希望ニ符合スルコトノ出来ナイ所以デアリマスノデゴザイマシテ、故ラニ佛教徒ニ便利ヲ與ヘルトカ優待チスルカ云フヤウナコトニナリマスレバ據ロナク外ノ者ニ向イテソレダケノ薄待チスルカ虐待チスルカト云フコトヲ與ヘヌケレバナリマセヌ、ソレ故ニ此通リ分離チサセテ其意義ノアル所ヲ明ニシテ置クコトハ最要用ナ譯デアアルノデ……

〔モウ分タ分ッタ、ト呼フ者アリ〕

然ルニ此先ヅ第一ノ箇條ニ附イテ申シマスレバ先刻都筑君杯ノ世間ヲ嚇カスヤウナ御演説ガアリマシタケレドモ、決シテ唯今ノ此教派ダノ宗派ダノト云フモノニ驚慌ハ來タサナイ、即チ十四條ニ於キマシテモ「本法施行前許可ヲ得タル教派又ハ宗派ハ本法ニ依レル教派又ハ宗派トス」ト云フコトニナッテ居ルノデアアル、ソレカラ後ニナリマシテ……

〔議場騷然〕

〔三浦安君〕議場ノ整頓ヲ希望スルト述フ

四十三條ノ所ニ參リマシテモ、唯今アル教派宗派ト云フモノハ取モ眞サズ此

法文ニ通ッテ居ルモノデアルガ、若シヤ此法律ト違フ廉ガ今ノ教規宗制ノ中ニアルナラバ其違フ所ダケヲ改メテ、一年ノ間ニ出セト云フコトニナッテ居リマス、ソレ故ニ此法律ガ行ハレタラバ今ノ教派モ宗派モ打破サレルダノ、本山末寺ノ關係モ皆絶エルダノト云フコトハ見ナイ所ノ論デアリマス

〔ソハハ大分見テ居ル〕ト述フル者アリ

是ガ苟モ公平ニ此文字ヲ讀ミサヘスレバ、サウ云フヤウナ疑惑ハ起ラヌ、文字ヲ讀マナイデ、自分ノ心ニ豫メ門ヲ致シテ置イテ、人ノ説ナリ何ナリヲ判斷シヤウト云フコトダカラ、事實ニ出會ハナイノハ尤ノ譯ナンデアリマス、ノミナラズ此本法ニ於キマシテハ二十條……先キノ十四條、十九條、二十條ト申シマスルモノデ、先ヅ今日マデ神道、佛法ノ……佛道ノ各宗派ノ兎モ角モ秩序立ッテ居タ所ノ法律規則ハ何デアルカト申セバ、明治十七年第十九號ノ太政官達デアリマス、是ハ御承知ノ通り誠ニ簡單ナルモノデアリマス、其簡單ナモノヲ基本トシテ、各宗派ヨリハ各ノ教規宗制ト云フモノヲ作ッテ出シデアリマス、其事ヲ原案ニ於テハ出サセテ認可スルト云フコトニシテ居リマシタガ、何分其中ニ陳列スル所ノモノヲ法文ニ載セテ吳レナケレバ不安心ダト云フ先ヅ望ガ多クアリマシタ、之ヲ親シク書面モ多ク受取り、又面會ヲシタノモアリマシテ、其意見ハ能ク分リマシタケレドモ、入レテモ入レナクテモ者ハ同ジコトデアアル、ソレヲ強ヒテ好ミマスル故之ヲ入レ、バ却ッテ害ノナイコトデアアル故ニ十四條、十五條、十九條、二十條アタリヘ入レマシタ、之ヲ書イテ見マスレバ、所謂管長ノ權利ト云フモノモ本教會、分教會ノ關係ト云フコトモ、本山末寺、末寺ノ關係ト云フモノモ、寺法ト云フモノモ、其外ソレゾレ重要ト認ムルモノハ、何デモ書イテサウシテ認可ヲ受ケルコトノ出來ルヤウニ確メマシタノデアリマス、ソコデ……

〔子爵谷干城君〕モウ宜カラウモウ宜カラウ〕ト述フ

〔簡單簡單〕ト呼フ者アリ

此事ニ附イテハ、私ハ誠ニ特別委員ニナリマシテ、色々ノ難義モ受ケ、又相當ノ勉強モシ、サウシテ今日ニ至リマシタモノ故、實ハ二時間カ三時間グラホハ私ノ胸臆ヲ述ベテ、諸君ノミナラズ此社會ニ唯今騒イデ居ル者ニ知ラセタイト云フ考ガアリマシタケレドモ、最早斯ウ時刻モ遅レ、有名ナル諸先生達ガ、能ク分ッテ居ルカラ止メロト云フ強ヒテノ御注意デアリマスカラ、マサカ分ラナイデ分ッタトハ仰ッシヤリハシマスマイシ……

〔子爵谷干城君〕分ラヌト分ッテ居ル〕ト述フ

サウ云フドウモ此貴重ナル案ニ對シテ、兒戲ニ類スルヤウナコトヲ仰セラルルノハ甚ダ本員杯ノ悲ム所デアリマスガ、此唯今申ス通り二時間三時間ハ要スルト思ヒマシタケレドモ……

〔モットヤリタマヘ、ヤリタマヘ〕ト述フル者アリ

最早申シタ所ガ無益デアリマセウシ、又機會モアリマセウカラ、兎モ角モ私ハ此修正ヲ持ヘテ各宗管長ノ總代ト申ス人ガ連名デ私ニ書面ヲ寄越シテ、私ニ希望ヲ述ヘタモノヲ、其一々當ッテ僅ニ外國カラ來ル……新規ニ來ル宗教ヲ抑ヘテ吳レロト云フヤウナ一條ハ取ラナカッタ、ソレカラ公法人トシテ吳レト云フヤウナ事項ハ取ラナカッタ、事實ハ多ク採用ニナッテ居ル、其外ノモノハ管長其者ノ望ト云フモノハ此法案ノ中ニ含ンデ居ルモノデアルソレヨリ外ニ彼是言フノハ管長ノ意思ニモ違フシ、其今度運動ハ皆シナ其俗僧等ノ爲ニ誤ラレテ居ル、其信徒ニ對シテハ氣ノ毒デアアル、如何ナル管長モ此法案ニ對シテハ彼是言フコトガ出來ナイノデアアル、若シ言フナラバ松岡ノ家ニ來タラバ十分ニ言ッテ聞カスル……

○子爵小笠原壽長君 討論終局ノ動議ヲ提出致シマス

〔賛成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 討論終局ノ動議ニハ定規ノ賛成ガアッタト認メマス

〔大アリ大アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 討論終局ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

〔満場一致〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、此案ヲ二讀會ニ移スベキヤ否ヤト云フ決ヲ採リマスルニ記名投票ニ依ルベシト云フノト、無記名投票ニ依ルベシト云フノトニタ通り要求ガ出デ居リマス、ソレカラ又更ニ其記名投票ニスルカ無記名投票ニスルカ決スルニハ、無記名投票ニ依ルベシト云フ請求ガアリマスカラ、無記名投票ニ依ッテソレヲ決シマス

○子爵曾我祐準君 チョット伺ヒタウゴザリマス、記名投票、無記名投票ト兩方カラ出マシタト云フコトハ今議長ノ御宣告デ始メテ分ッタ、然ルニ又ソレヲ決スルニ無記名ニシヤウト云フコトハ此問題ノ起ラヌ前キニ後ノコトヲ出シタノデアアルカラ、御取消ニナッテ宜カラウト思ヒマス、何トナレバ記名投票無記名投票ノ問題ガ今兩方カラ生ジタモノデアアル、ソレヨリ先立ッテソレ

ヲ決スルニ無記名ニセヨト云フ請求ノ出テ居ルト云フノハ譯ノ分ヲ又話デア  
ル、ソレハ御取消ニナッテ記名ニスルカ無記名ニスルカハ起立ニ諮ウテ宜カ  
ラウト思フ、記名カ無記名カノ問題ノ出ヌ前キニ出タコトト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ條件附ノ要求ト認メテ居ルノデアリマス

○子爵曾我祐準君 ソレデアリマスカラ、記名ニスベキヤ、無記名ニスベキヤ  
ハ、起立ナリ點呼ナリデ、議長ガ御探リナサッタ宜カラウト思ヒマス、ソ  
レニ附イテ又モウ一ツ記名ニスルカ無記名ニスルカヲ記名ニシテ吳ロト云フ  
請求ガ出マシタラ如何デアリマス、其要求ハ此問題ヲ宣告セヌ前キニ出タラ  
ウト思ヒマス

〔男爵伊達宗敦君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット御待下サイ、記名投票、無記名投票ノ兩  
方ノ請求ノアッタ場合ニハ無記名投票ニ依レト云フコトト議長ニ於テハ認メ  
テ居ル

○子爵曾我祐準君 是ハ先決問題デア  
ル

〔例ガアルト呼ブ者アリ〕

ソレハ問題ガ出ヌ前キニ、豫メ斯ウ云フゴトガ……斯ウ云フ問題ト云フモノ  
ヲ出スト云フコトハ譯ガ分ラヌト思ヒマス、私ハドウモ先ヅ其御採決ニ……

○松平正直君 既ニ昨年モ例ガアルノデアリマス

〔秩序ヲ誤ッテ居ルト呼ブ者アリ議場騒然〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 靜ニ願ヒマス

○松平正直君 秩序ヲ誤ッタ譯デモナイコトデアリマス、隨分記名無記名ノ  
請求ガ兩方カラ出ル、之ヲ決スルニハドウナルカト云フコトハ豫メ考ヘラレ  
ル、問題ニナラザルモ其要求ヲシテ置キマシタノハ決シテ不當デナイ、又不  
都合デハナイ

○子爵曾我祐準君 松平サンニ承リタイ、無記名ト記名ト又ソレヲ無記名  
又ハ記名ト云ウテヤッタナラバ何遍モヤレル、百モ二百モソレヲ澤山連署シ  
テ、ソレヲ亦記名デヤッテ吳レ無記名デト云フコトニナル

○松平正直君 是ハ先例モアルコトデゴザイマスカラ、其以上ハ議長ノ御判  
斷ニ依リタイト存ジマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ニ申シマスガ、是ハ先例ノナイコトデハ  
ナイノデアリマス

○子爵曾我祐準君 私ハ其先例ハ甚ダ不法ナ先例ト思ヒマス、此際議場ノ多

數ヲ以テ之ヲ採ルベキカ、採ルベカラザルカト云フコトヲ御諮ヒニナッタラ  
相當ト思ヒマス

〔贊成ト呼ブ者多シ〕

○男爵伊達宗敦君 記名、無記名ヲ決スルニ無記名ヲ以テ定ムベシト云フコ  
トハ何人カラ出テ居リマスカ、ソレヲ聽イタ上デ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 松平正直君外何名デアリマス

○男爵伊達宗敦君 ソレデハ松平君ニ御相談シタイノデアリマスガ、此贊否  
兩方共ニ記名ナリ無記名ナリト云フモノガ出テ居ルノデアリマスガ、之ヲ無  
記名デ決スルト云フコトハ徒ニ時間ヲ延バスコトニ止マルコトデアラウト思  
ヒマスカラ、願ハクハ是ダケハ起立ニ問フコトニ御直シテ願ヒタウゴザイマ  
ス

〔議場騒然〕

○松平正直君 是ハ既ニ昨年何ノ問題デアリマシタカ、既ニソレヲ以テ議長  
ガ採決ニナッタ例モアリマスカラ、本員ハドウゾ二十名ノ請求デ成立ッテ居  
ル末デアリマスカラ是ハ御採ニナラムコトヲ願ヒマス

○平田東助君 唯今ノ記名無記名ヲ無記名ニ決スルコトノ御論ガ起ッタヤウ  
デアリマスガ、既ニ記名、無記名ト云フコトヲ請求スルコトガ出來ル以上ハ  
其記名、無記名ヲ無記名デ決スルト云フコトハ何ノ不當ナコトハナイダラウ  
ト思ヒマス、是ハ既ニ先例モアル以上ハ先例トシテ議長ガ御採用ニナルコト  
ハ何ノ御差支モナイコトダラウト思ヒマス

〔發言ノ許可ヲ求ムル者多シ〕

○子爵谷干城君 ドウゾ無記名ト云フ請求ノ人ノ姓名ヲ御讀上テ願ヒタイ、  
ドウ云フ人ガ無記名ヲ出シテ居ルカ、甚ダ無記名說ハ怪シイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 谷子爵ニ御尋シマスガ、ドノ無記名デスカ、無記  
名ノ要求ハニツアリマスカラドウチヲ讀ミマスカ

○子爵谷干城君 兩方共ニドウゾ願ヒタイ

○子爵内藤政共君 今此處デ記名デ決スルカ、無記名デ決スルカト云フコト  
ヲ無記名ヲ以テ決スルト云フコトノ請求ガ出テ居ルト云フコトヲ御宣告デゴ  
ザイマス、サウ致シタナラバ矢張り定規ノ贊成ヲ得タナラバ記名無記名デ決  
スルト云フコトヲ今度ハ記名ヲ以テ決スルト云フコトヲ此處デ請求スルコト  
ガ出來ルモノデゴザイマセウカ如何デゴザイマセウ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ無論出來ルノデアリマス

○子爵内藤政共君 ソレデハ本員ハソレヲ記名ヲ以テ決スルト云フコトナ……

〔贊成〕ト呼フ者多シ

〔議場騒然〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 更ニ記名ヲ以テ投票ヲ決スルト云フ要求が出マシタ是ニハ……

○子爵岡部長職君 實ニドウモ甚ダ本員ハ愚カナ説ガ諸君カラ出ルト存ジマス、實ニ松平君ハ記名カ無記名カナ決スル爲ニ無記名ヲ以テヤラウト云フヤウナコトハ唯議事ノ進行ヲ妨グルノミデアル

〔然リ然リ〕ト呼フ者アリ

本員ハ記名投票ヲ贊成スル積リデアリマス、諸君、明ニ御贊成ニナルナラバ贊成、反對ニナル者ハ反對ニナルガ宜シ

〔ノーノー〕ヒヤヒヤト呼フ者アリ

ドウゾ松平君ハ是ハ御撤回ヲ願ヒタイト思ヒマス、甚ダドウモ議事ヲ徒ニ延ベルダケデアル、甚ダドウモ取ルベカラザルト考ヘル、唯斯ノ如ク議事ヲ延ベテ、唯採決ヲスルニ對シテ斯ノ如キ無益ナ手數ヲ取ルト云フコトハ甚ダ贊成ノ出來ヌ所デゴザイマス

〔贊成〕ト呼フ者多シ

〔渡邊洪基君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 何デスカ

○渡邊洪基君 本員モ撤回ニ贊成デアリマスガ、本員ハ無記名ヲ主張シマス、何ゼ無記名ヲ主張シマスかと云フト全體、投票ト云フモノヲ束縛スルノハ宜シクナイ、自由ニスルガ宜シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 一體、記名ニスルカ、無記名ニスルカト云フコトハ是ハ討論スベキ問題デハナイノデアリマス

〔發言ヲ求ムル者多ク議場騒然〕

○村田保君 松平君ハ撤回サレタノデアリマスカ

○男爵西五辻文仲君 松平君ガ撤回サレ、バ本員ノ出シタノモ撤回ハシマスガ、松平君ガ撤回シナケレバ本員ノ出シタノモ撤回ハマシセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) 松平君ガ撤回サレナイ以上ハ是ニ依ルノ外ナイ、西五辻男爵カラモ内藤子爵ノ言ハレタ通り同シヤウナモノガ出テ居リマスガ、是ハ宣告ノ後デアリマスカラ採用ノ限リデアリマセヌ

○村田保君 是ハ起立ニドウカ願ヒタイ

〔議場騒然〕

○議長(公爵近衛篤磨君) サウ云フコトハ出來マセヌ、要求が出テ居ル以上ハソレニ依ラナケレバナラヌノデ貴族院規則ガ許シマセヌ

〔松平正直君發言ノ許可ヲ求ム〕

○子爵曾我祐準君 松平君ニ御尋致シマスガ……

○松平正直君 此問題ハ起立ニ御諮ヒ下サイ

○議長(公爵近衛篤磨君) サウスルト撤回ニナリマスカ

○松平正直君 ソレハ撤回デハナイ起立ニ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) サウ云フコトハ出來マセヌ、松平君ハ……

〔議場騒然、發言ヲ求ムル者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御靜ニ願ヒマス、御靜ニ願ヒマス……今議長ガ宣告サスル所デアリマスカラ暫ク御待ナ願ヒマス、チヨット御待下サイ、議長ガ一言スルンデス、松平君ハ之ヲ採ルヤ否ヤト云フコトヲ起立ニ問ヘト云フコトデアリマスガ、是ハ貴族院規則ガ許サヌ、規則ニハ要求ガアッタトキニハ其要求ヲ採ラナケレバナラヌコトニナッテ居リマス、二ツ出タトキニハ採決シナケレバナラヌ、ソレデアリマスカラ、アナタガ撤回ナサラヌ以上ハ之ヲ採ラナケレバナラヌト云フコトニナルノデゴザイマス

〔撤回スベシ、撤回撤回〕ト呼フ者多シ、議場騒然

○議長(公爵近衛篤磨君) 松平君ガ撤回ニナリマセヌカラ……

〔撤回撤回〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔議場騒然〕

〔發言ノ許可ヲ求ムル者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 發言ハ許シマセヌ

○公爵二條基弘君 サウスルト松平君ノ無記名投票決スルト云フコトガ今採決ニナルノデアリマセウ、ソレニ反對ノ者ハ青札ヲ入レ、贊成ノ者ハ白札ヲ入レルノデアリマセウ、ソレヲ今採決ニナリマスカ、ソレヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) チヨット御待下サイ、今宣告ヲ致シマスカラ……本案ヲ二讀會ニ移スベシトスル方ハ白イ球デゴザイマス……白イ球ヲ御入レ下サイ

〔發言ノ許可ヲ求ムル者多シ議場騒然〕

○子爵曾我祐準君　チヨット私ハ松平君ニ御尋シマス、斯ノ如キ例ヲ御開キナサツタ以上ハ……

〔議場騷然〕

松平君ニ一言申シ置キタイ、斯ノ如キモノヲ撤回ナサナカッタ以上ハ此後十デモ二十デモ又先決問題トシテ兩方カラ出マスゾ、ソレガ例トナツタラドウナサイマス、ドウカ……

○議長(公爵近衛篤磨君)　曾我子爵、チヨット御待下サイ、私ハ今宣告ヲ誤リマシタ、記名投票ニスルヤ無記名投票ニスルヤト云フコトヲ無記名投票デ決スル場合ニナツテ居ルノデアリマスカラ、記名投票ニスルト云フコトニ賛成ノ方ハ白イ球ヲ御入レ下サイ、ソレカラ無記名投票ヲ望ム御方ハ黒イ球ヲ御入レ下サルヤウニ……

○男爵西五辻文伸君　サウシマス本員ハ記名投票ニ賛成デアリマスカラ白イ球ヲ入レマシテ宜シイノデゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君)　札デハアリマセヌ、白イ球デゴザイマス

○男爵西五辻文伸君　白イ球ヲ入ルノデゴザイマスナ

○議長(公爵近衛篤磨君)　左様デゴザイマス……モウ分リマシタカ

〔分リマセヌ、モウ一度御宣告ヲ願ハマス〕ト述フル者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君)　ソレデ　茲ニニツ……

〔議場騷然〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　チヨット御靜ニ願ヒマス、靜ニナサヌト尙ホ分リマセヌ、記名投票ヲ望ム人ト望マナイ人トアル、記名投票ヲ望マナイ人ハ無記名投票ヲ望ム人デアアル、ソレデ記名投票ヲ望ム人ハ茲ニ來テ白イ球ヲ御入レ下サイ、ソレカラソレニ反對ノ即チ無記名投票ヲ望ム御方ハ黒イ球ヲ御入レ下サイ、是デ分リマセヌカ

〔分リマシタ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君)　ソレデハ尙ホ附加ヘテ申シテ置キマス、名刺ヲ御忘下サヌヤウニ願ヒマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　是ヨリ開函ヲ致シマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　無記名投票ノ結果ヲ御報道致シマス、出席總數二百二十一人、白球ヲ投ジタル議員百十七人、黒球ヲ投ジタル議員百四人、記

名投票ニ依ッテ採決スルト云フコトニ……

○子爵谷干城君　チヨット是ハドウナリマスカネ、分リ兼ねマスガ

○議長(公爵近衛篤磨君)　是カラ宣告致シマス、御急ギニナラヌデモ宜シウゴザイマス、是ヨリ二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ採ルノデアリマス、二讀會ニ移スベシトスル方ハ白イ名刺ヲ御持下サイ……名刺ト云フノハ穩當デナイカモ知レマセヌ、白イ札ヘ名前ヲ書イテ、ソレカラ二讀會ニ移スベカラズトル諸君ハ青イ札ニ名ヲ書イテ……

〔子爵谷干城君反對ハ此青デスカ〕ト述フ

○議長(公爵近衛篤磨君)　是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　是ヨリ開函ヲ致シマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　記名投票ノ結果ヲ御報道致シマス、出席總數二百二十一人、白票ヲ投ジタル議員百人、青票ヲ投ジタル議員百二十一人、本案ハ否決ニナリマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君)　次ニ徵兵令中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

○侯爵黑田長成君　宗教法案ガ否決ニナリマシタ以上ハ此徵兵令中改正法律案モ猶更否決ニナラナケレバナラヌモノト思ヒマス、ソレデナクトモ此法律案ハ特別委員ニ於テハ否決スベキモノト決シタノデアリマス、第一讀會ノトキ議員ノ中ヨリ質問ガアリマシテ政府委員ノ答辯ガ甚ダ明瞭ヲ缺イテ居ルトハ速記録デモ御承知ノコトト思ヒマスカラ、今更ソレヲ繰返ス必要ハナイト思ヒマス、斷然是ハ否決スベキモノト考ヘマスカラ、簡短デアリマスガ此處デ報告ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君)　本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　少數

○議長(公爵近衛篤磨君)　少數ト認メマス、本案モ否決ニナリマシタ

○子爵岡部長職君　本日ハ午後四時ヨリ郵便法案ニ附キマシテ兩院協議會ヲ催シマスコトニ相成ッテ居リマス、御差支ガゴザイマセヌケレバ是ヨリ退席ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 今日ハモウ時刻モ遅レマシタカラ散會ナスル覺悟  
デ居リマス、衆議院ヨリ豫算ニ附イテ兩院協議會ヲ求メテ參リマシタニ附キ  
慣例ニ依リマシテ十名ノ委員ヲ選ビマス、議長指名デ御異議ハゴザイマセヌ  
カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ直チニ指名致シマス

〔太田書記官長朗讀〕

明治三十三年度歳入歳出總豫算追加案及豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約  
ヲ爲スヲ要スル件兩院協議會委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵岡部 長職君 松平 正直君  
男爵千家 尊福君 渡邊 洪基君 男爵吉川 重吉君  
西村 亮吉君 武井 守正君 木下 廣次君  
天春 文衛君

○議長(公爵近衛篤磨君) 明後日ノ議事日程ヲ報告シマス

〔太田書記官長朗讀〕

午前十時開議

第一 衆議院議員選舉法改正法律案(政府提出)  
第一讀會ノ續(特別委員)

第二 臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶  
助料ニ關スル法律案(政府提出)  
第一讀會ノ續(特別委員)

第三 臺灣ニ服役スル軍人ノ恩給及遺族扶  
助料ニ關スル法律案(政府提出)  
第一讀會ノ續(特別委員)

第四 臺灣ニ在勤スル地方稅支辨ノ俸給ヲ  
受クル文官判任以上ノ學校職員ノ退  
給料及遺族扶助料ニ關スル法律案  
(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第五 明治三十年法律第三十九條中改正法律案(政府提出)  
第二讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
明治三十一年度豫備金支出ノ件外三件(政府提出)  
會議(特別委員)

第七 明治三十一年度歳入歳出總決算及明治三十一年度  
各特別會計歳入歳出決算(政府提出)  
會議(特別委員)

第八 明治三十一年度歳入歳出總決算及明治三十一年度  
各特別會計歳入歳出決算(政府提出)  
會議(特別委員)

第九 市制中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十一 市制町村制中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十三 印紙稅法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十五 救育所ニ在ル孤兒ノ後見職務ニ關スル法律案  
(衆議院提出) 第一讀會

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十七 舊斗南藩士族家祿處分法案(衆議院提出) 第一讀會

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十九 未成年者喫煙禁止法案(衆議院提出) 第一讀會

第二十 家祿引直處分法案(衆議院提出) 第一讀會

第二十一 古物商取締法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十二 臨時帝國議會建勅中舊御便殿保存費國庫補助  
ニ關スル建議案(伯爵坊城俊章君外二名發議) 第一讀會

第二十三 酒造稅法中改正ノ請願 第一讀會

第二十四 區裁判所出張所設置ノ請願 第一讀會

第二十五 鐵道敷設第一期線線上ノ請願 第一讀會

第二十六 蘇州居留地道路ノ請願 第一讀會

第二十七 國字國語國文ノ改良ニ關スル請願 第一讀會

第二十八 復族及復祿ノ請願 第一讀會

第二十九 ベスト病ニ感染シタル醫師救助ニ關スル  
請願 第一讀會

第三十 下總國舊牧場開墾地ノ請願 第一讀會

第三十一 定期郵便發航起點ヲ敦賀港ニ延長ノ請願 第一讀會

第三十二 燈明臺設置年度線線上ノ請願 第一讀會

第三十三 電信局設置ノ請願 第一讀會

○議長(公爵近衛篤磨君) 本日ハ散會  
午後五時五分散會